

平成29年度
澁川市市民意識調査結果報告書

平成29年9月

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査票の配布・回収状況	1
4	グラフ中の表記	1
II	調査結果	2
1	回答者の属性について	2
(1)	性別	2
(2)	年代	2
(3)	職業	2
(4)	家族構成	3
(5)	居住地区	3
(6)	居住年数	3
2	市政との関わりについて	4
問1	合併後のまちづくり	4
問2	合併後の市民サービス	7
問3	今後の定住意向	10
3	市の現状の評価について	12
問4	市の取組の満足度・重要度	12
(1)	都市基盤分野	14
(2)	自然環境分野	16
(3)	生活環境分野	18
(4)	健康・福祉分野	20
(5)	教育・文化・スポーツ分野	22
(6)	産業分野	24
(7)	コミュニティ・市民参加分野	26
(8)	行財政分野	28
(9)	49項目の満足度と重要度の関係	30
4	都市整備について	32
問5	重要な道路の機能	32
問6	将来住みたい場所	34
5	観光の取組について	36
問7	取り組むべき観光振興	36

6 市政について.....	38
問8 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと	38
資料.....	42
1. 49項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）	42
2. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値 マトリックスグラフ）	58
3. 市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較.....	66
【調査票】	87

1 調査目的

この調査は、市民の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするため実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内に居住する 18 歳以上の市民 4,000 人を無作為抽出
- ③ 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- ④ 調査時期 平成 29 (2017) 年 5 月 22 日～6 月 12 日
- ⑤ 配布回収方法 郵送による直接配布、直接回収

3 調査票の配布・回収状況

- ① 配布数 4,000 通
- ② 回収数 1,438 通
- ③ 回収率 36.0%

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
- ② 数値は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- ③ 市の取組の満足度・重要度（問 1）の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は 2 点から -2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど評価が高く、-2 点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
オ	不満	重要ではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 本文中の「前回調査」は以下を示し、グラフ中では「平成 28 年度」と示しています。

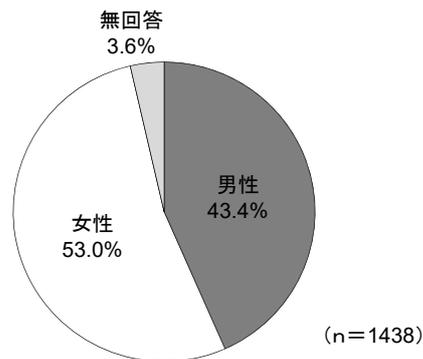
前回調査の概要	平成 28 (2016) 年 6～7 月実施 配布 4,000 通・回収 1,378 通（回収率 34.5%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）
---------	--

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

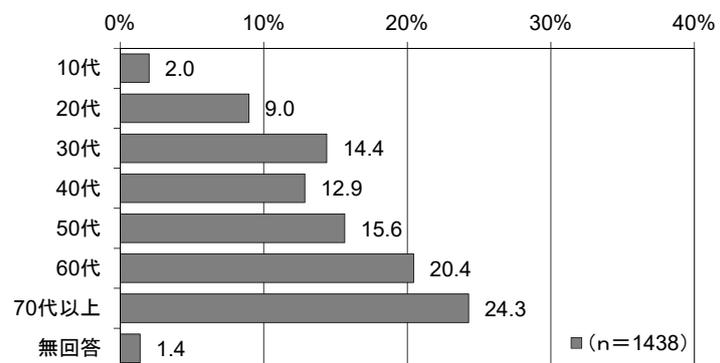
(1) 性別

男性（43.4%）が4割以上、女性（53.0%）が5割以上となっています。



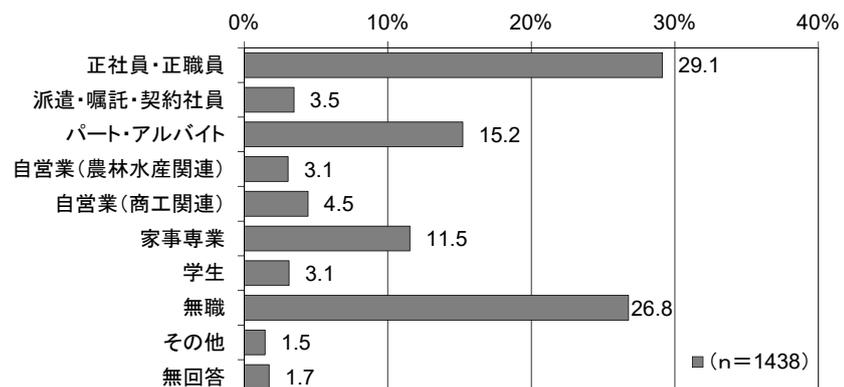
(2) 年代

70代以上（24.3%）が最も高く、次いで60代（20.4%）、50代（15.6%）となっています。



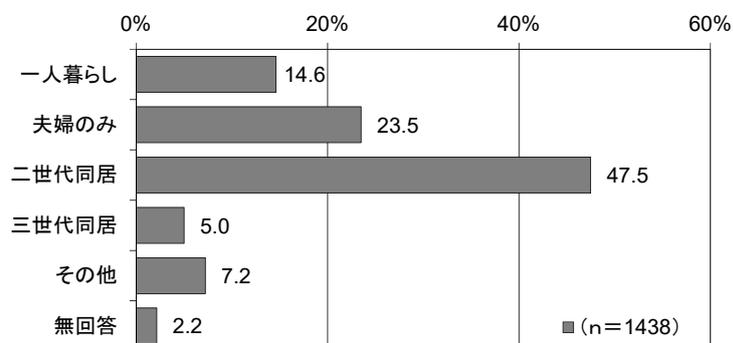
(3) 職業

正社員・正職員（29.1%）と無職（26.8%）が約3割で同程度に高く、次いでパート・アルバイト（15.2%）、家事専業（11.5%）となっています。



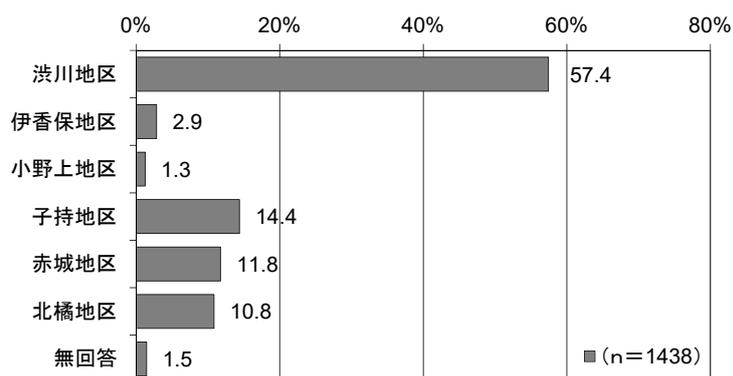
(4) 家族構成

二世帯同居（47.5%）が約5割で最も高く、次いで夫婦のみ（23.5%）、一人暮らし（14.6%）となっています。



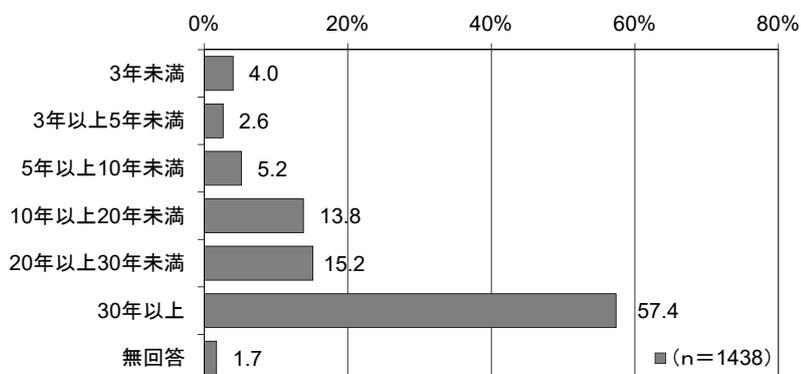
(5) 居住地区

渋川地区（57.4%）が約6割で最も高く、次いで子持地区（14.4%）、赤城地区（11.8%）、北橋地区（10.8%）となっています。



(6) 居住年数

30年以上（57.4%）が約6割で最も高く、次いで20年以上30年未満（15.2%）、10年以上20年未満（13.8%）となっています。



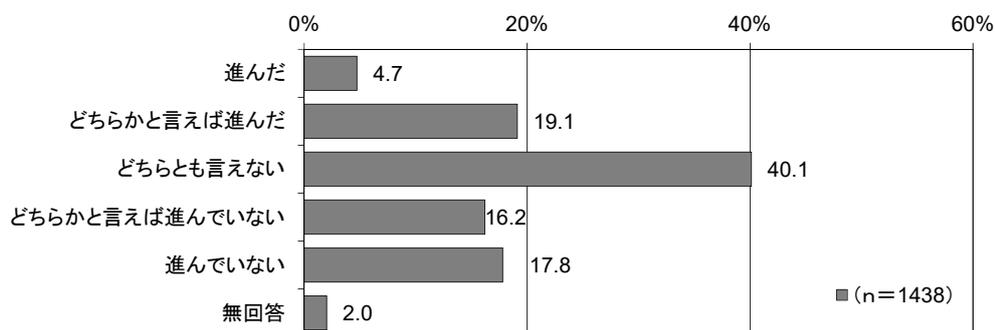
2 市政との関わりについて

問1 合併後のまちづくり

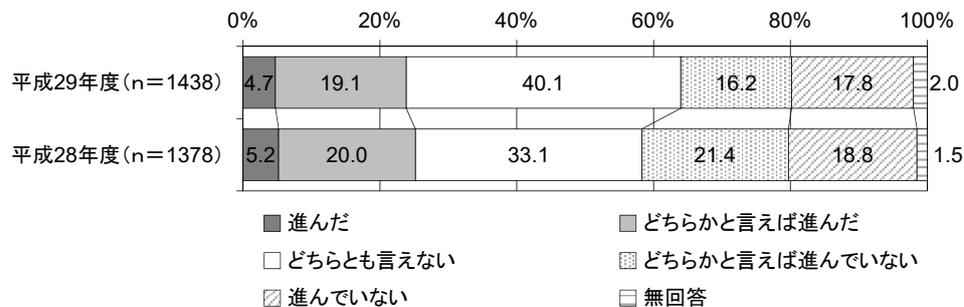
あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。(1つ選択)

「どちらとも言えない」(40.1%)が4割以上で最も高くなっています。

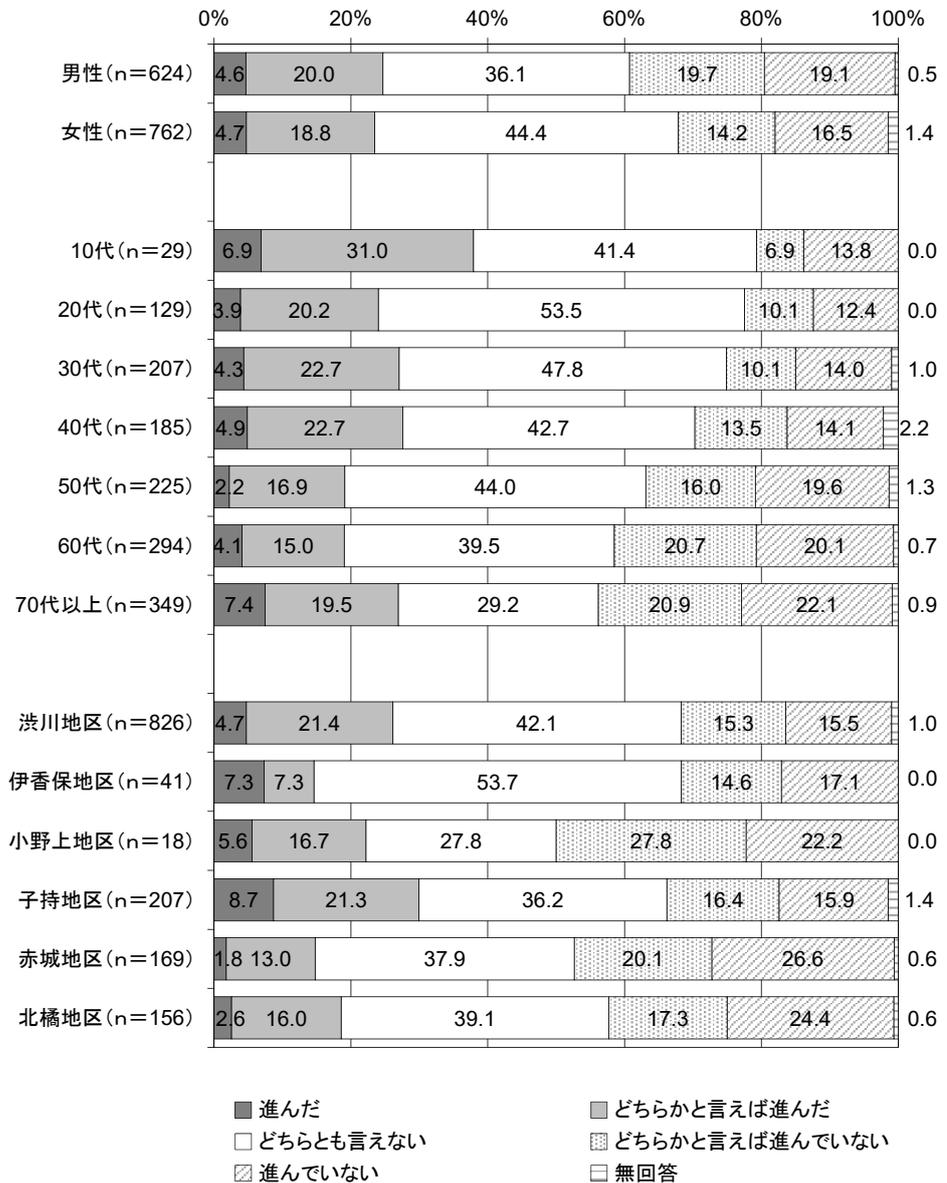
「進んだ」(4.7%)と「どちらかと言えば進んだ」(19.1%)の合計値『進んだ』(23.8%)は2割以上、「どちらかと言えば進んでいない」(16.2%)と「進んでいない」(17.8%)の合計値『進んでいない』(34.0%)は3割以上となっています。



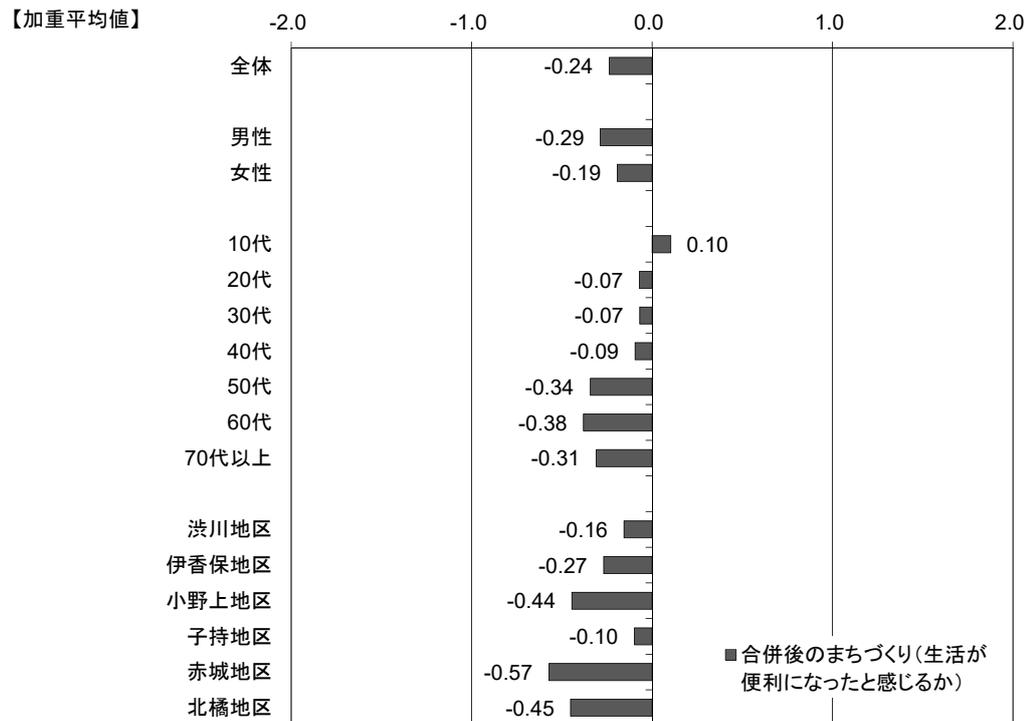
前回調査と比較すると、合計値『進んだ』(今回 23.8%、前回 25.2%)に大きな変化は見られません。一方、合計値『進んでいない』(今回 34.0%、前回 40.2%)は減少しています。



属性別に見ると、「進んだ」と「どちらかと言えば進んだ」の合計値『進んだ』は、性別では大きな差は見られません。年代別では10代（37.9%）が約4割で高い一方、50代、60代（19.1%で同値）は2割未満となっています。地区別では子持地区（30.0%）が3割で比較的高い一方、伊香保地区（14.6%）、赤城地区（14.8%）は1割程度となっています。



加重平均値を見ると、全体（-0.24 ポイント）ではマイナス値となっており、10代（0.10 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では40代までと50代以上で差が見られ、50代以上ではマイナス値が大きくなっています。地区別では赤城地区（-0.57 ポイント）のマイナス値が特に大きく、小野上地区（-0.44 ポイント）、北橘地区（-0.45 ポイント）も比較的マイナス値が大きくなっています。



問2 合併後の市民サービス

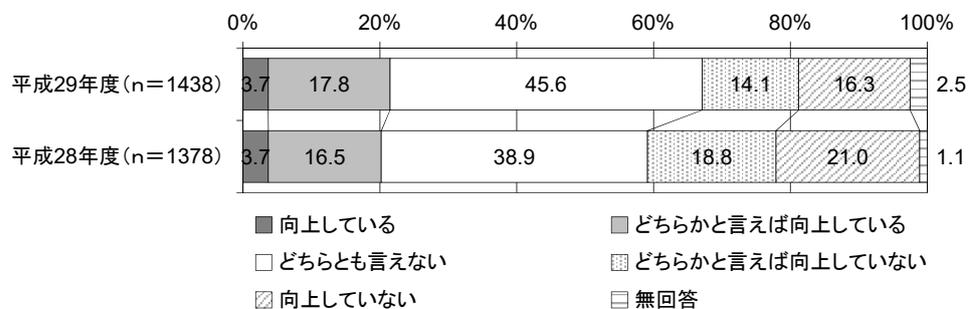
あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。(1つ選択)

「どちらとも言えない」(45.6%)が4割以上で最も高くなっています。

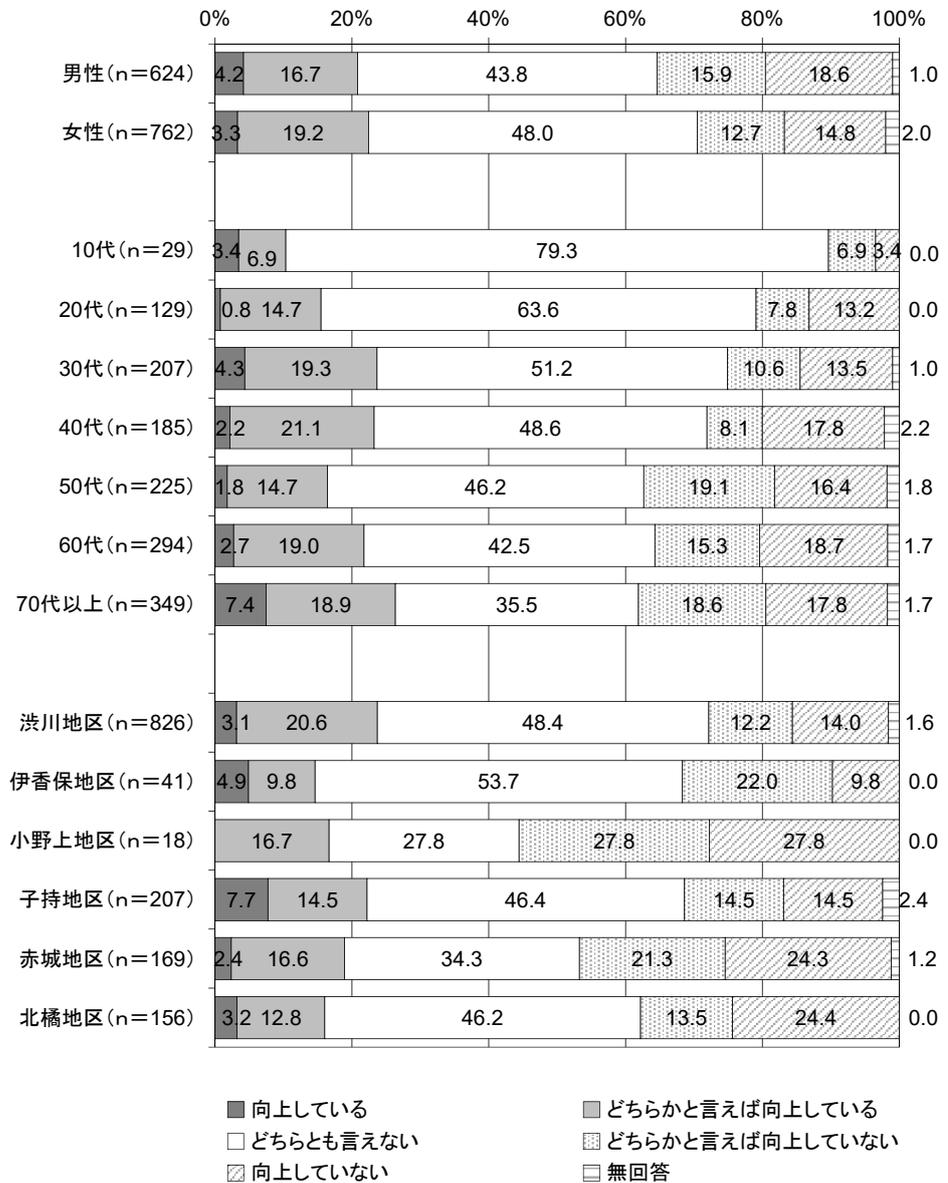
「向上している」(3.7%)と「どちらかと言えば向上している」(17.8%)の合計値『向上している』(21.5%)は2割以上、「どちらかと言えば向上していない」(14.1%)と「向上していない」(16.3%)の合計値『向上していない』(30.4%)は3割以上となっています。



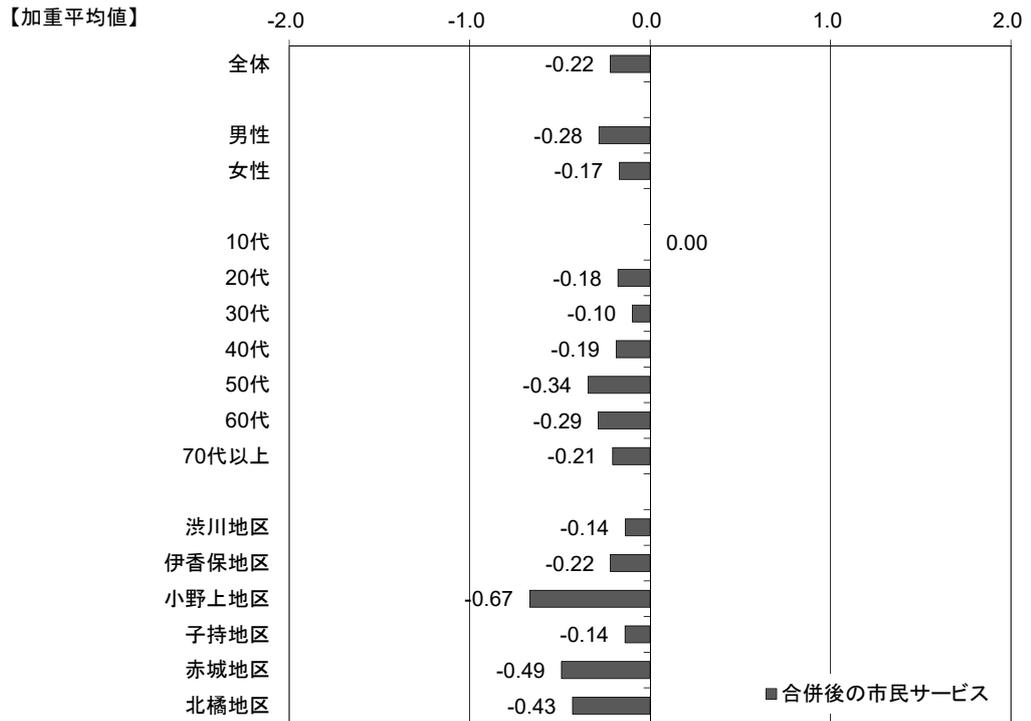
前回調査と比較すると、合計値『向上している』(今回 21.5%、前回 20.2%)に大きな変化は見られません。一方、合計値『向上していない』(今回 30.4%、前回 39.8%)は減少しています。



属性別に見ると、「向上している」と「どちらかと言えば向上している」の合計値『向上している』は、性別では大きな差は見られません。年代別では10代（10.3%）が1割程度で低くなっています。地区別では渋川地区（23.7%）、子持地区（22.2%）を除き2割未満となっています。



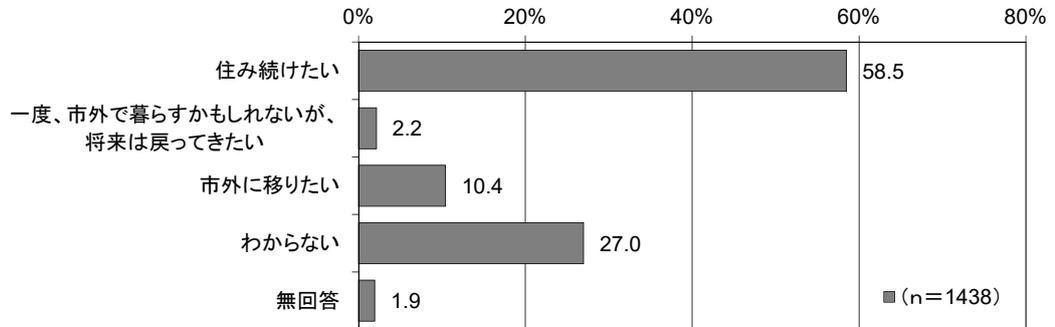
加重平均値を見ると、全体（ -0.22 ポイント）ではマイナス値となっており、10代（ 0.00 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では50代（ -0.34 ポイント）、60代（ -0.29 ポイント）のマイナス値が大きくなっています。地区別では小野上地区（ -0.67 ポイント）のマイナス値が特に大きく、赤城地区（ -0.49 ポイント）、北橘地区（ -0.43 ポイント）も比較的マイナス値が大きくなっています。



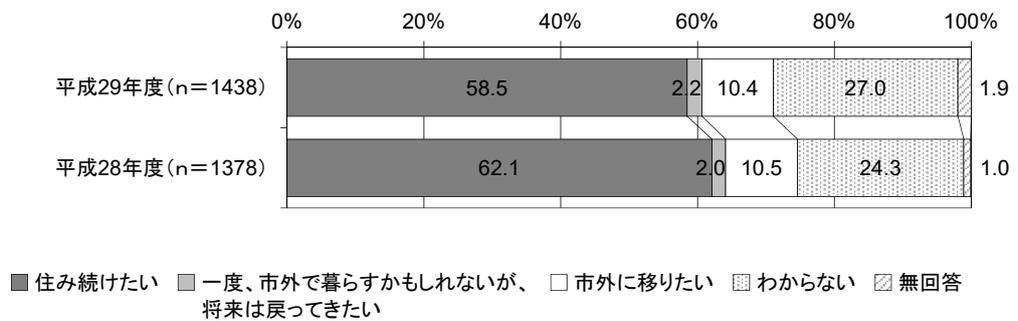
問3 今後の定住意向

あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。(1つ選択)

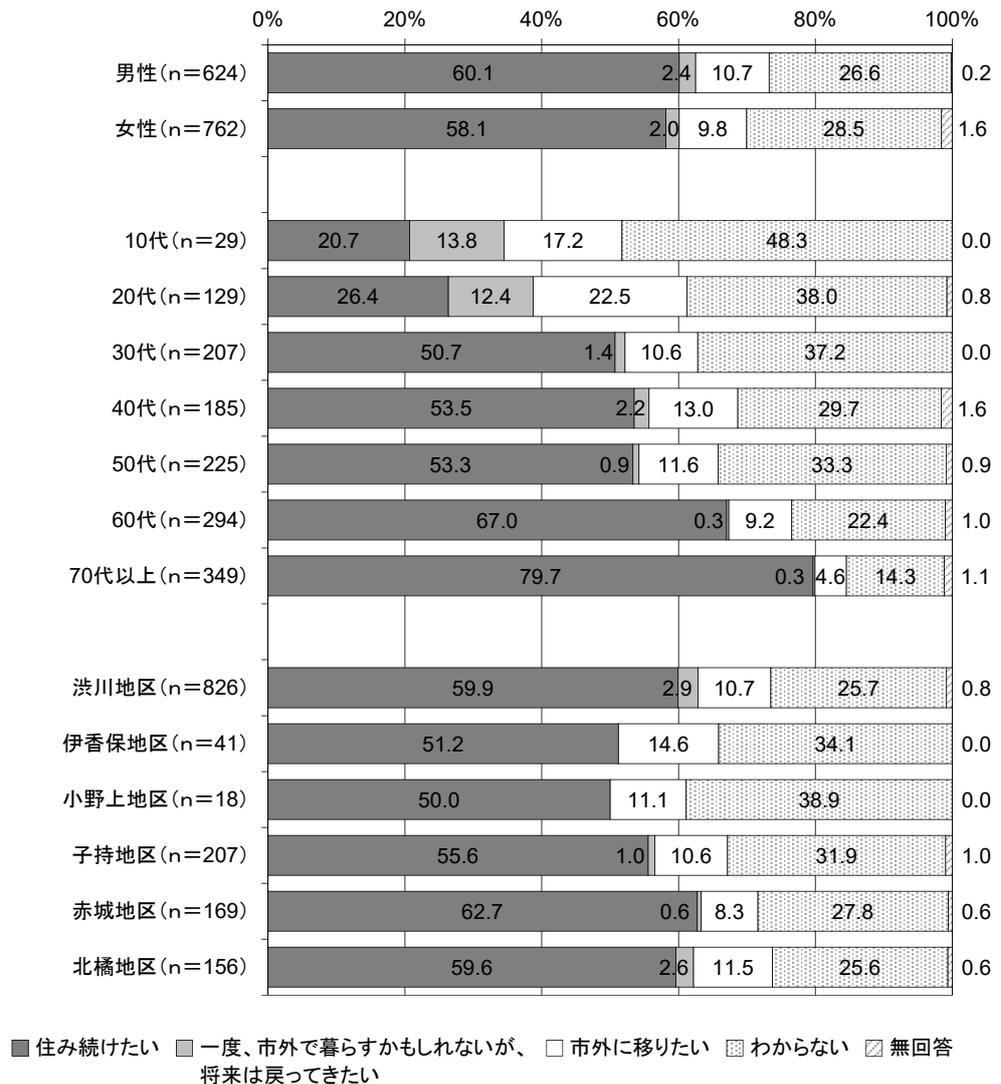
「住み続けたい」(58.5%)が約6割で最も高く、次いで「わからない」(27.0%)が約3割、「市外に移りたい」(10.4%)が1割以上となっています。



前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



属性別に見ると、「住み続けたい」は年代別で差が大きく、おおむね高い年代ほど高くなっています。特に70代以上（79.7%）は約8割、60代（67.0%）は約7割と高い一方、10代（20.7%）、20代（26.4%）は3割未満となっています。10代、20代は「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」（それぞれ13.8%、12.4%）が1割以上、「市外に移りたい」（それぞれ17.2%、22.5%）が約2割で比較的高くなっています。

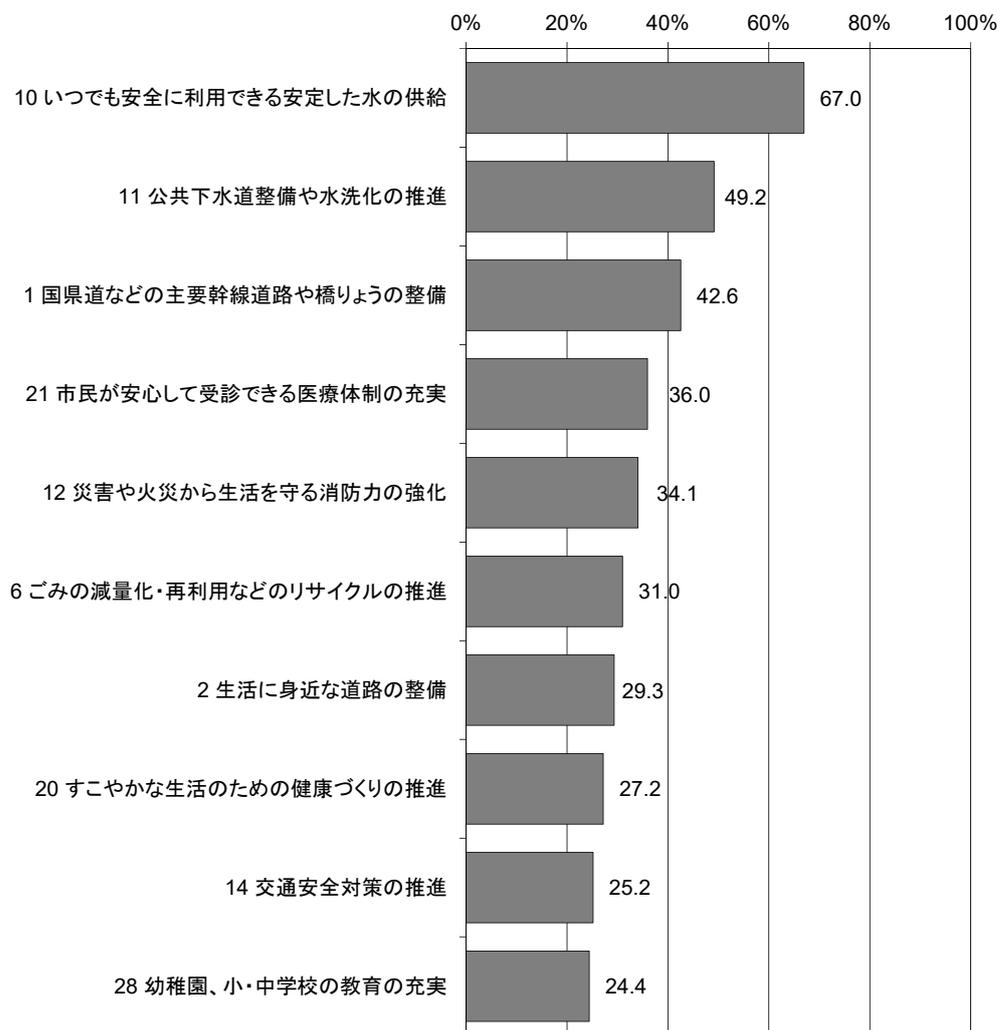


3 市の現状の評価について

問4 市の取組の満足度・重要度

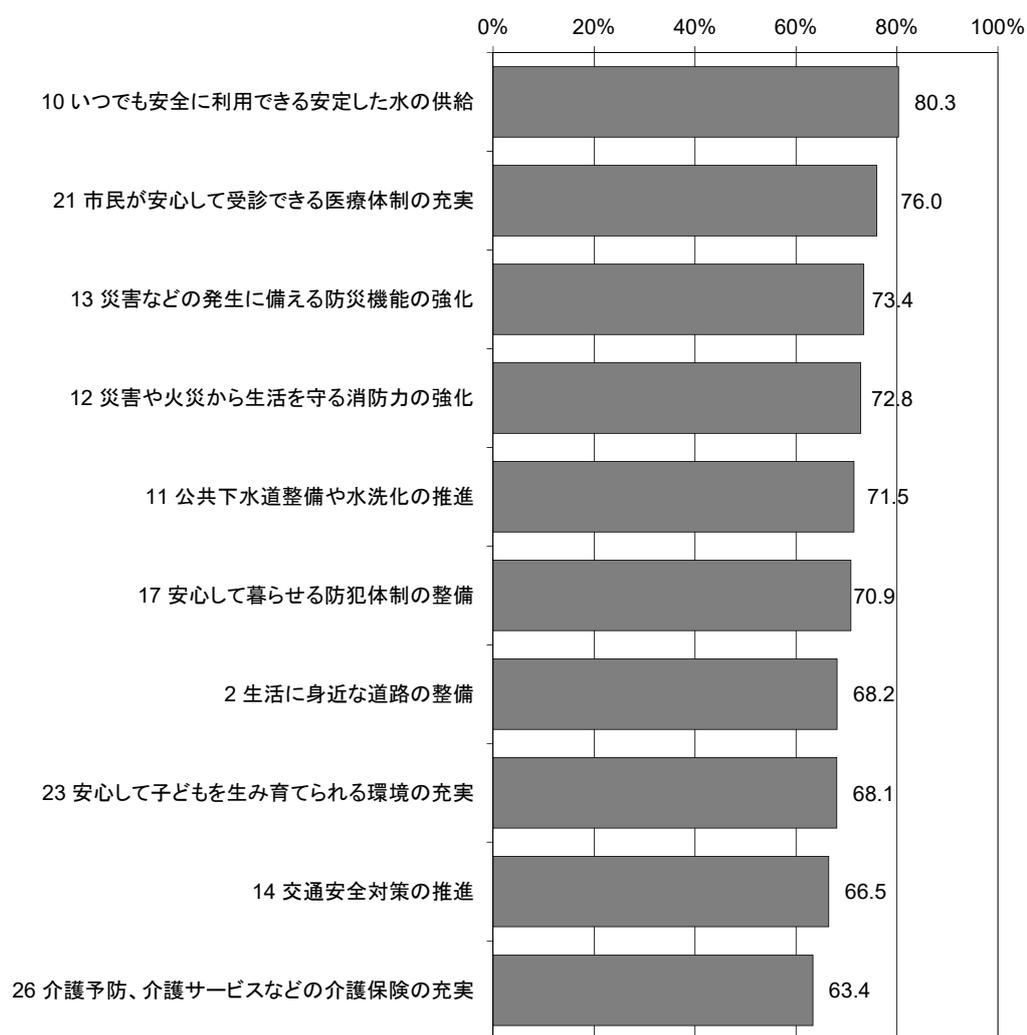
あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。(各項目の「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選択)

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』の上位10項目を見ると、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(67.0%)が約7割で最も高く、次いで「11 公共下水道整備や水洗化の推進」(49.2%)が約5割、「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」(42.6%)が4割以上なっています。



■ 合計値『満足』(「満足」+「どちらかと言えば満足」)

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』の上位10項目を見ると、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(80.3%)が8割以上で最も高く、次いで「21 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(76.0%)、「13 災害などの発生に備える防災機能の強化」(73.4%)など5項目が7割以上となっています。

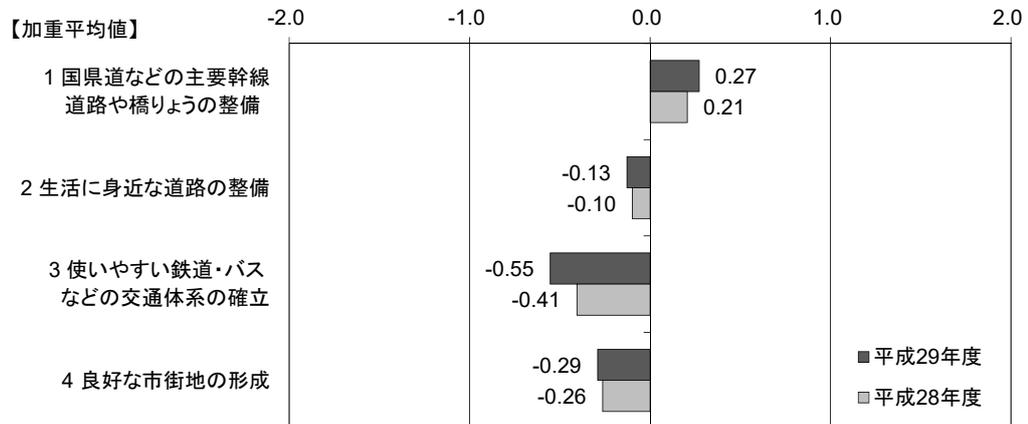


■合計値『重要』(「重要」+「どちらかと言えば重要」)

【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」(0.27ポイント)が最も高くなっています。他の3項目はいずれもマイナス値で、「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立」(-0.55ポイント)が最も低くなっています。

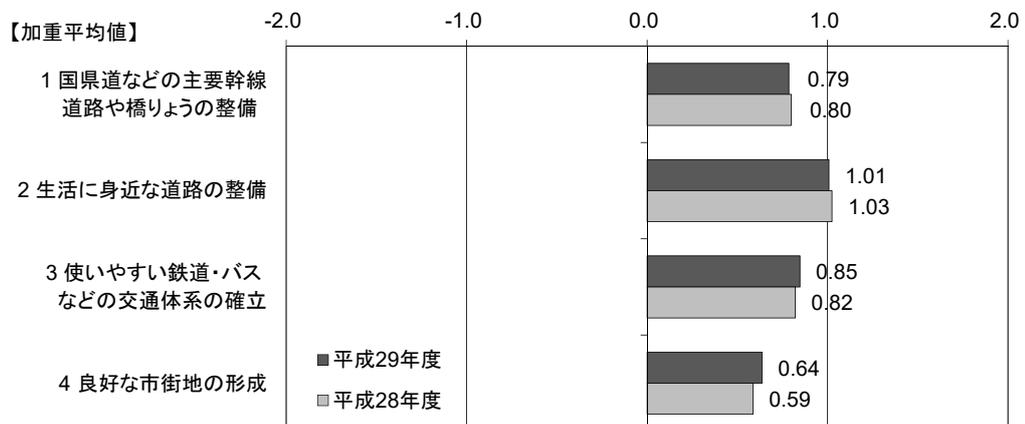
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「2 生活に身近な道路の整備」(1.01ポイント)が最も高くなっています。

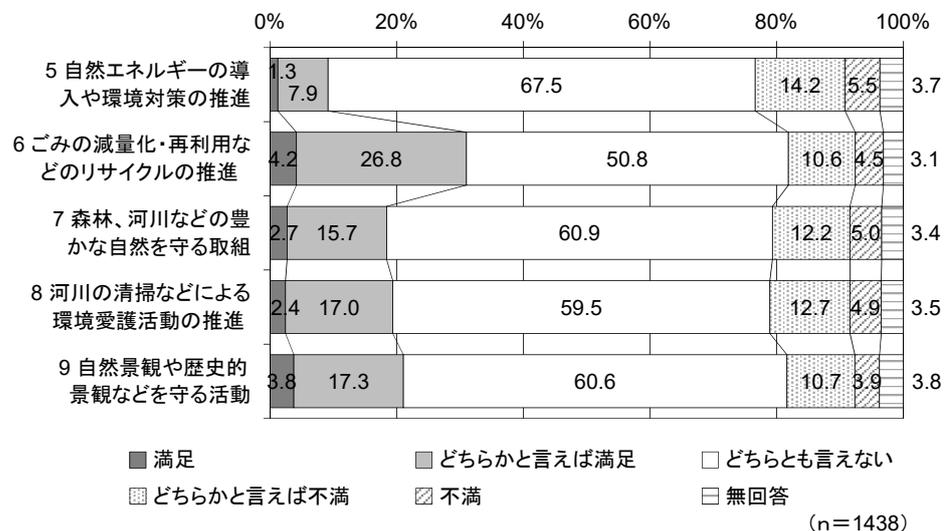
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(2) 自然環境分野

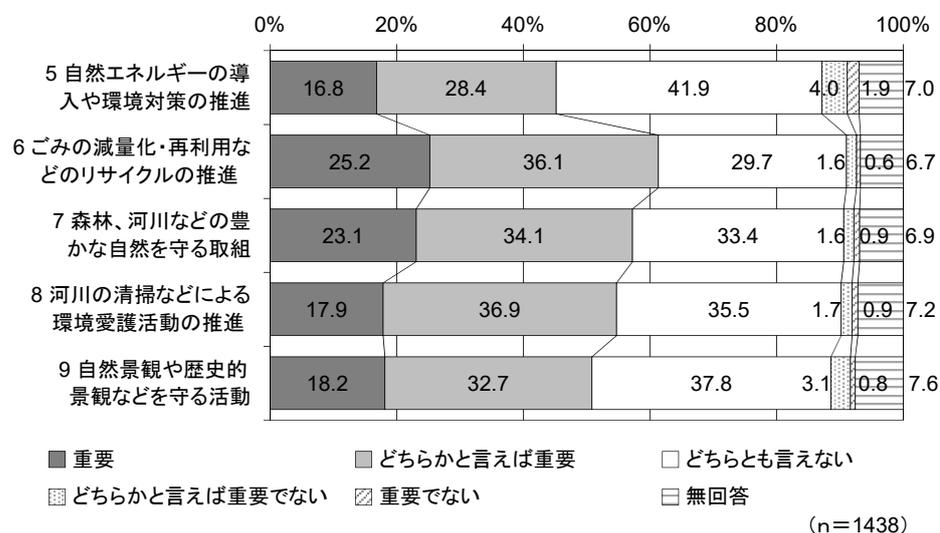
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(31.0%)が3割以上で最も高くなっています。



【重要度】

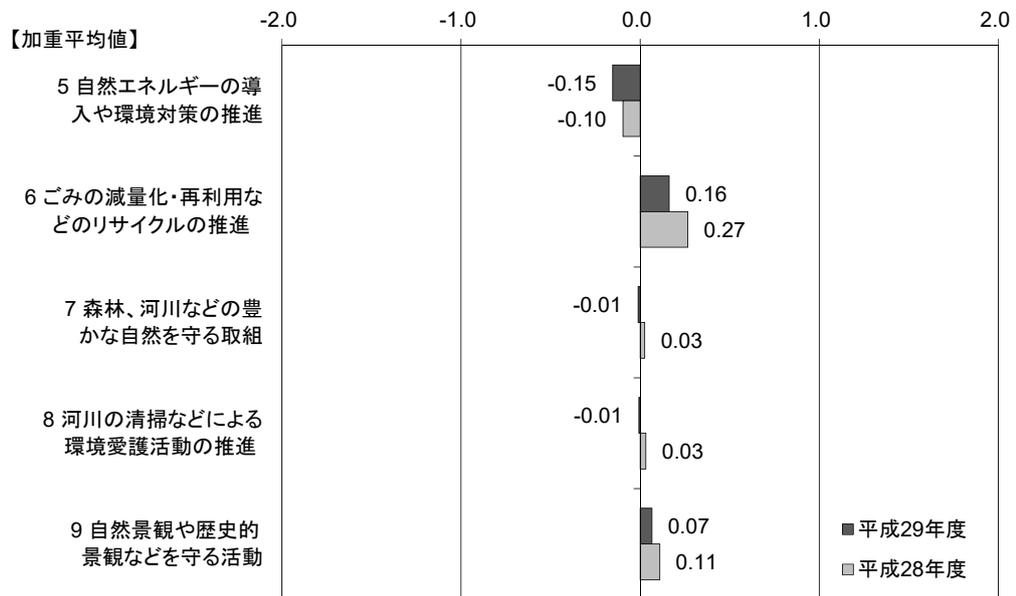
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(61.3%)が6割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(0.16 ポイント) が最も高くなっています。

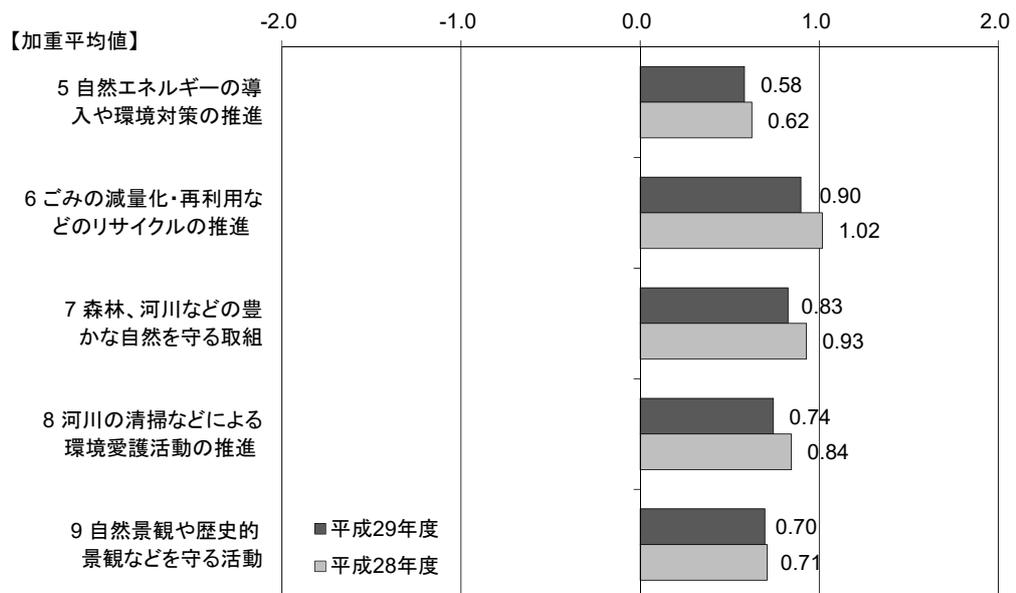
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(0.90 ポイント) が最も高くなっています。

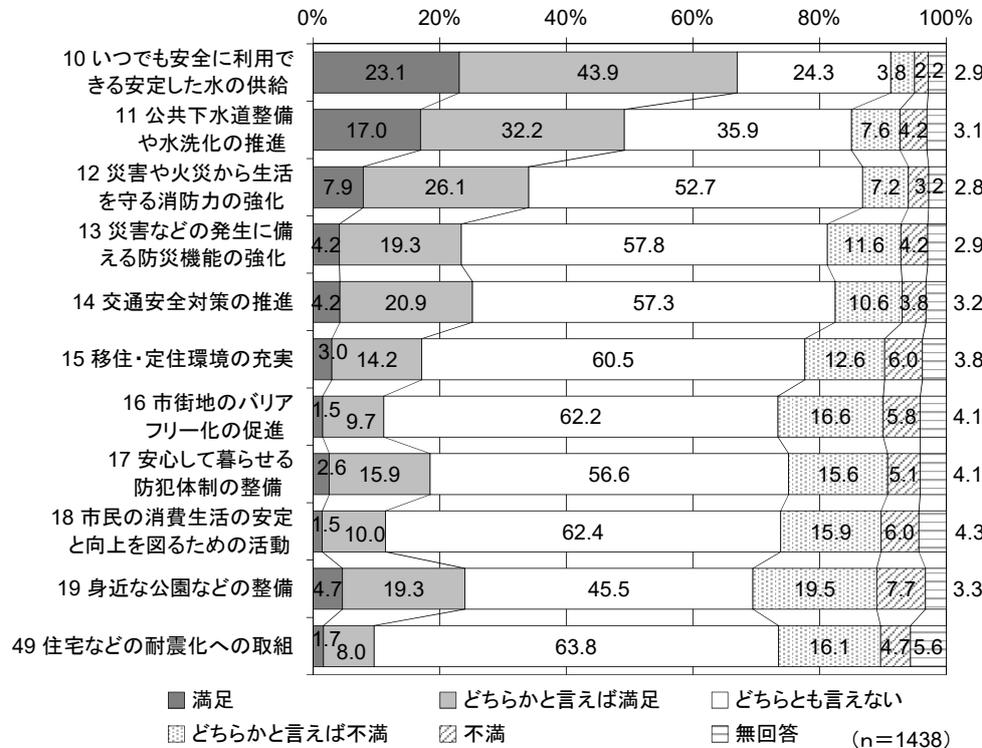
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(3) 生活環境分野

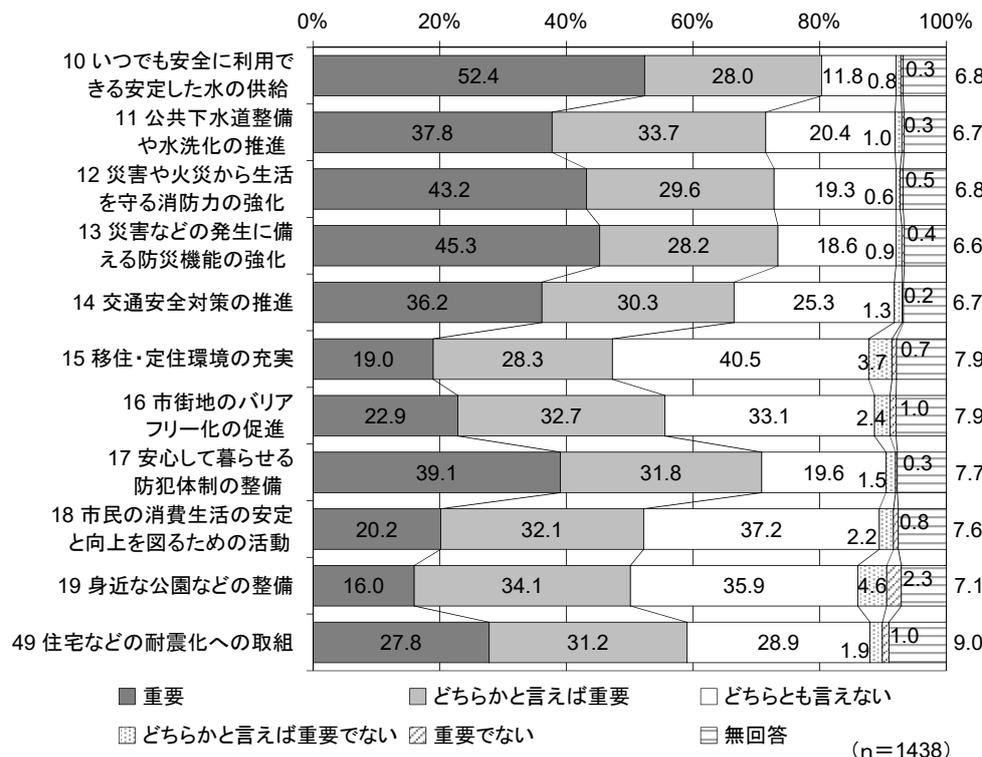
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(67.0%)が約7割で最も高くなっています。



【重要度】

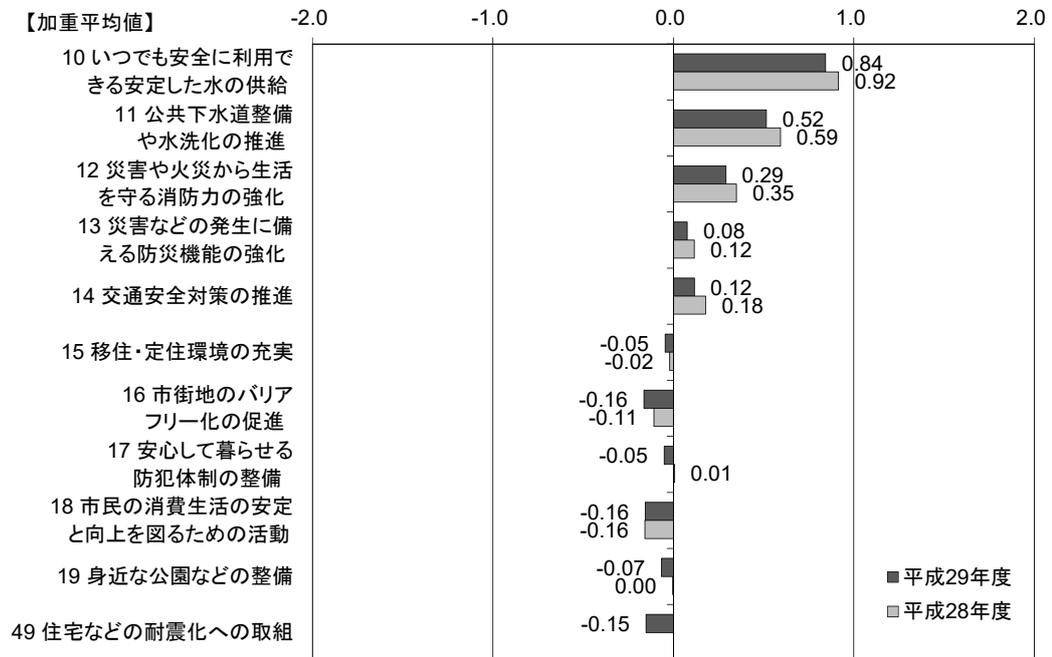
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(80.4%)が8割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(0.84 ポイント) が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

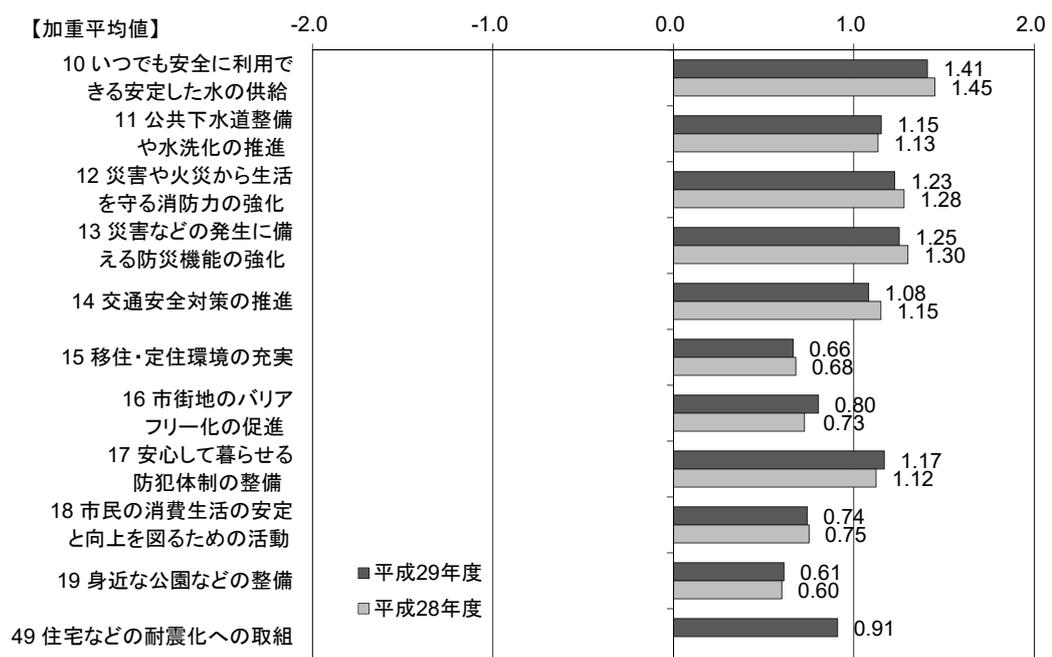


※「49 住宅などの耐震化への取組」は平成 29 年度新規項目

【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(1.41 ポイント) が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

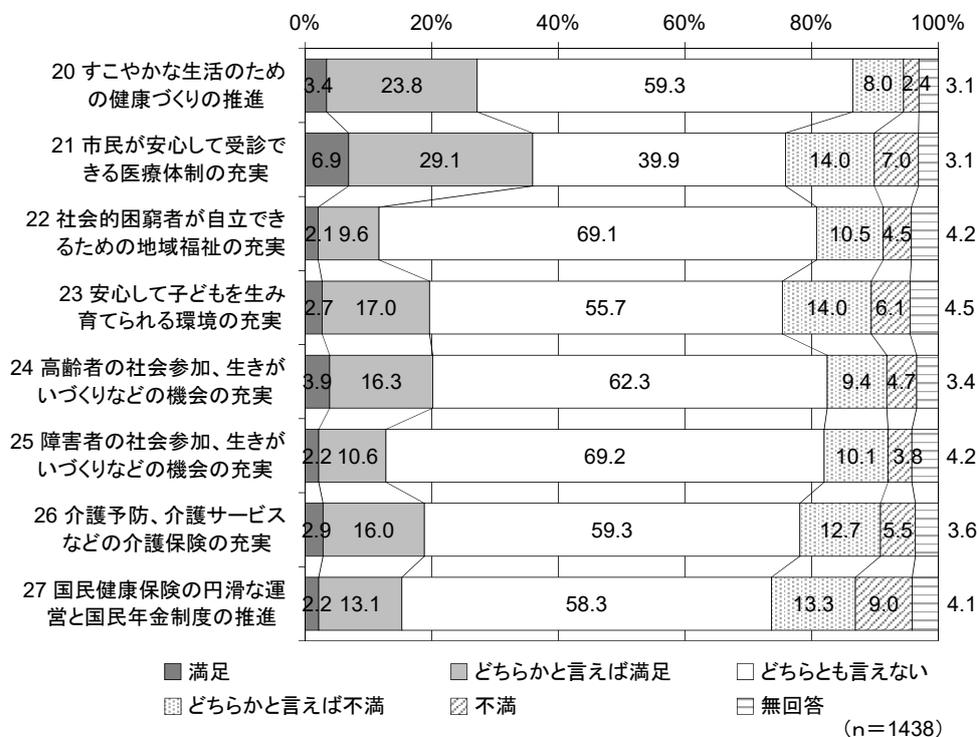


※「49 住宅などの耐震化への取組」は平成 29 年度新規項目

(4) 健康・福祉分野

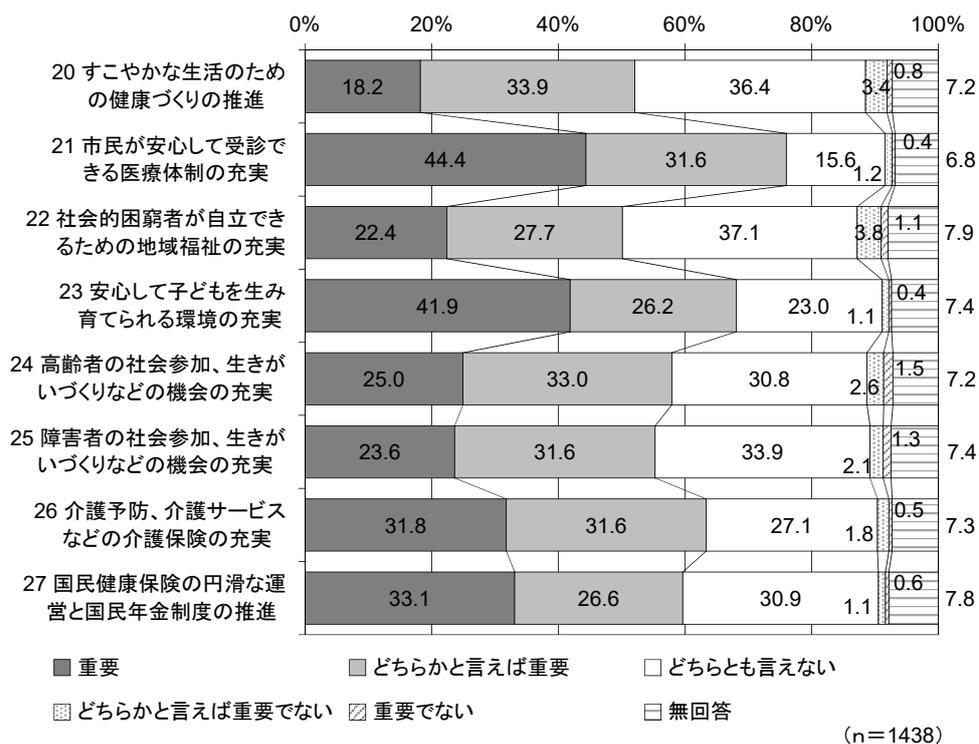
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「21 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(36.0%)が3割以上で最も高くなっています。



【重要度】

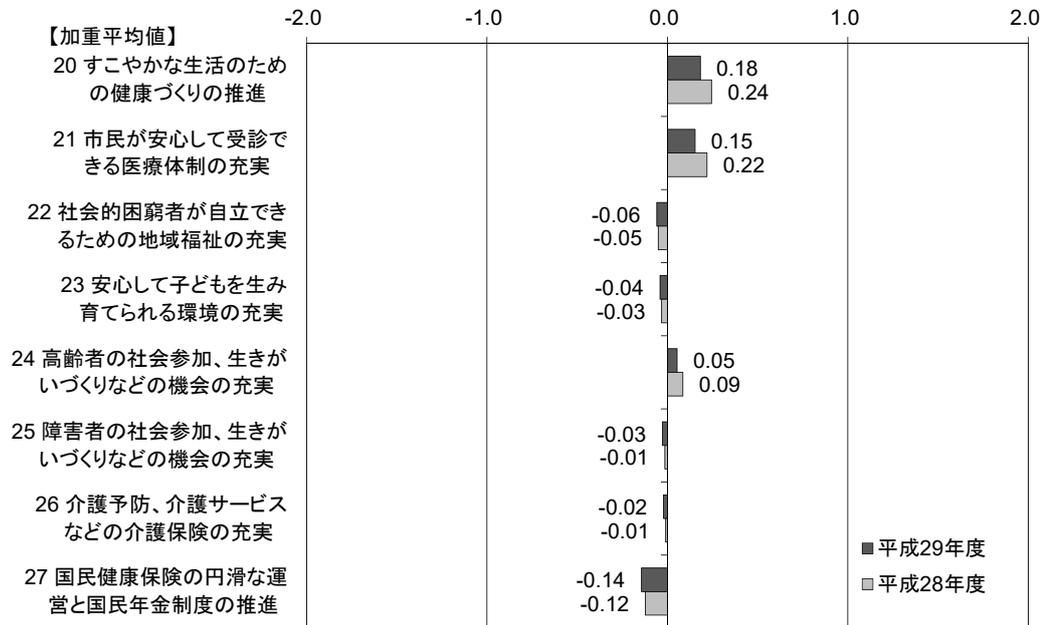
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「21 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(76.0%)が7割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「20 すこやかな生活のための健康づくりの推進」(0.18ポイント)が最も高くなっています。

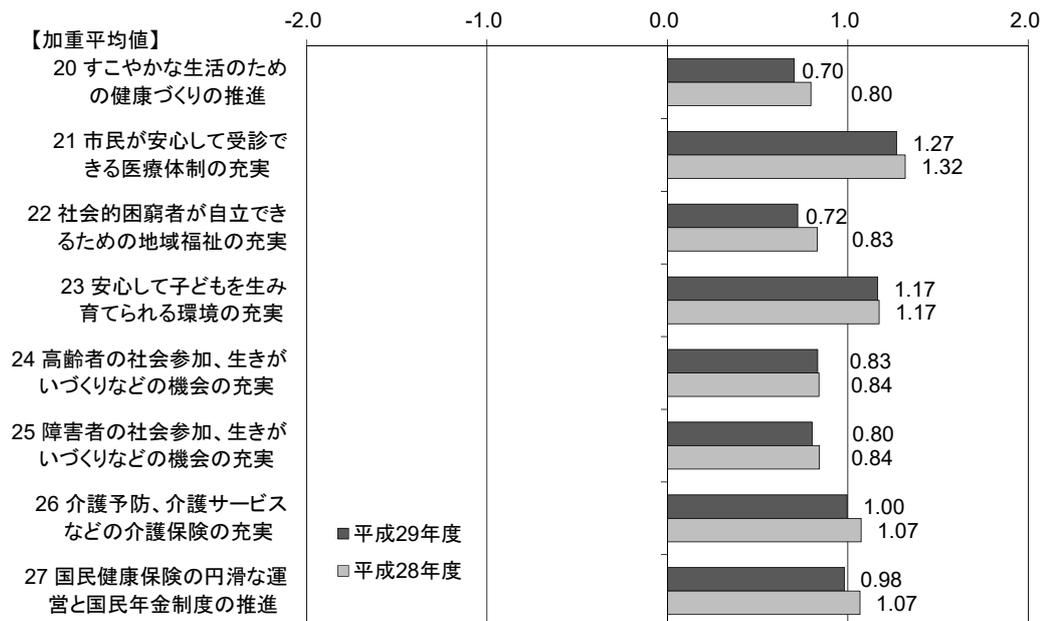
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「21 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(1.27ポイント)が最も高くなっています。

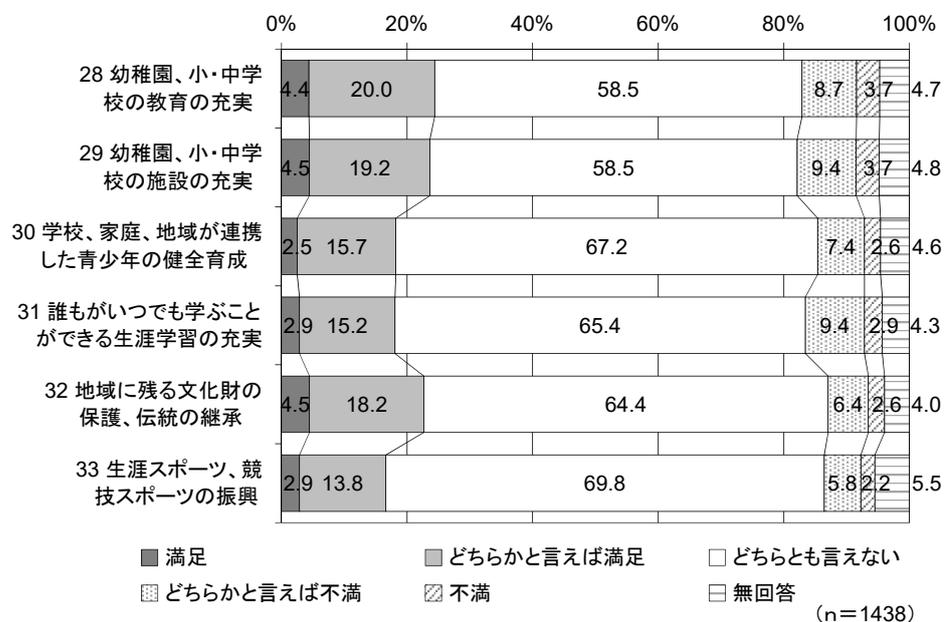
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(5) 教育・文化・スポーツ分野

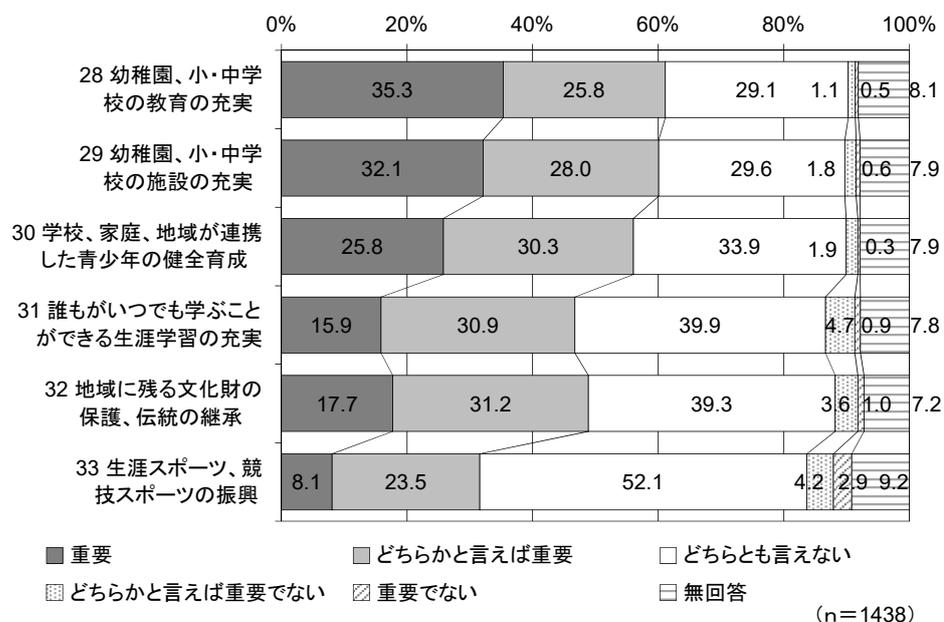
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、いずれの項目も2割程度で大きな差は見られません。



【重要度】

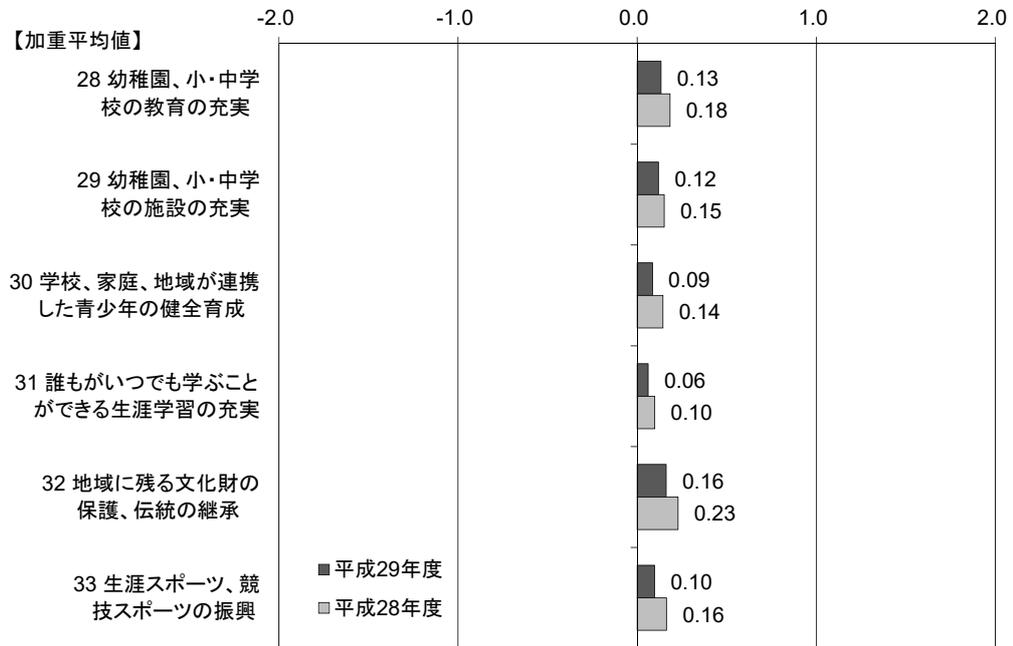
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「28 幼稚園、小・中学校の教育の充実」(61.1%)、「29 幼稚園、小・中学校の施設の充実」(60.1%)の2項目が6割以上で比較的高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承」(0.16ポイント)が最も高くなっています。

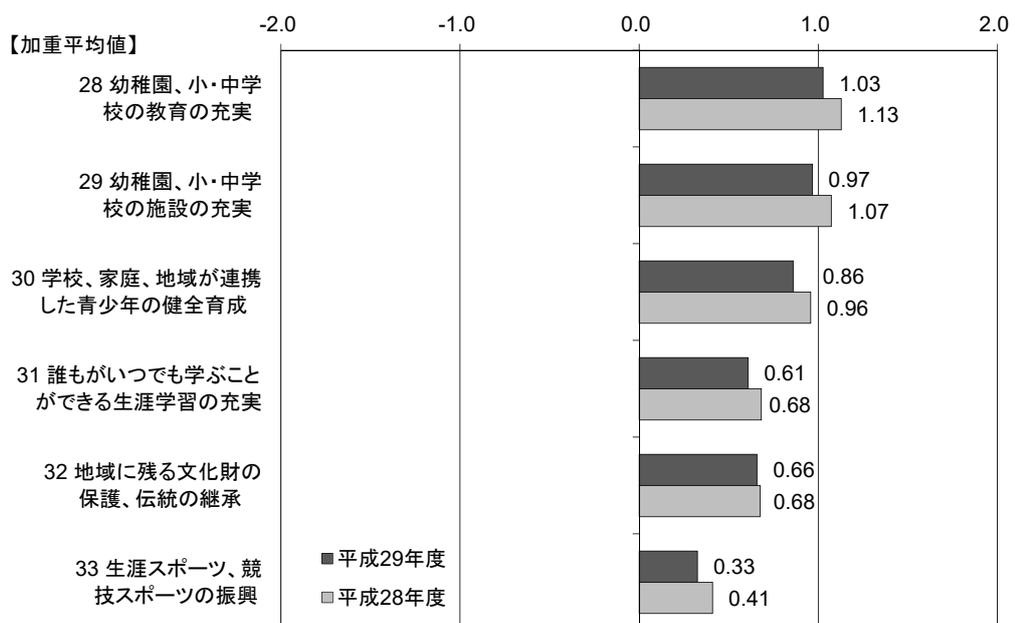
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「28 幼稚園、小・中学校の教育の充実」(1.03ポイント)が最も高くなっています。

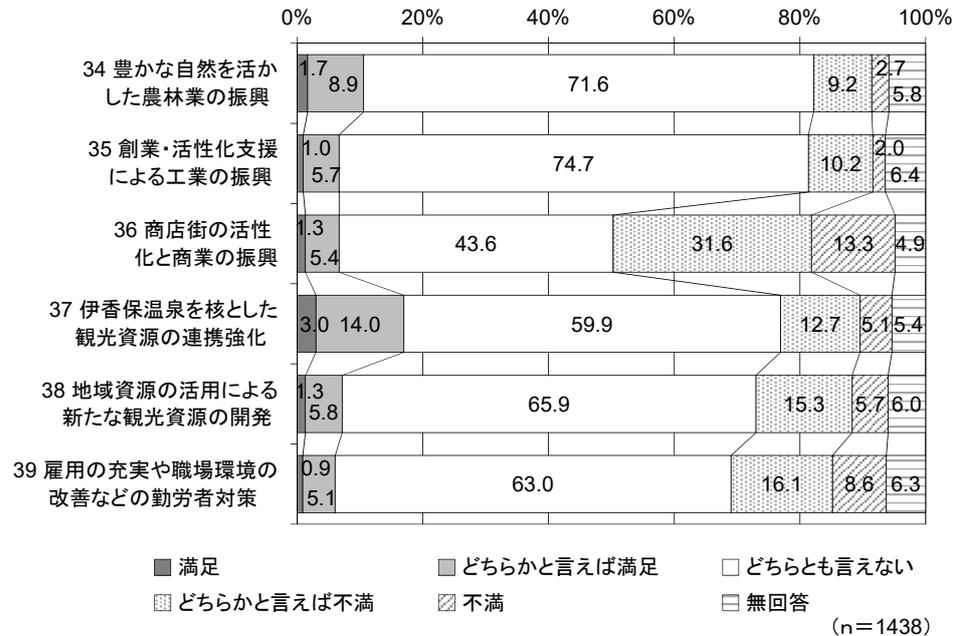
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(6) 産業分野

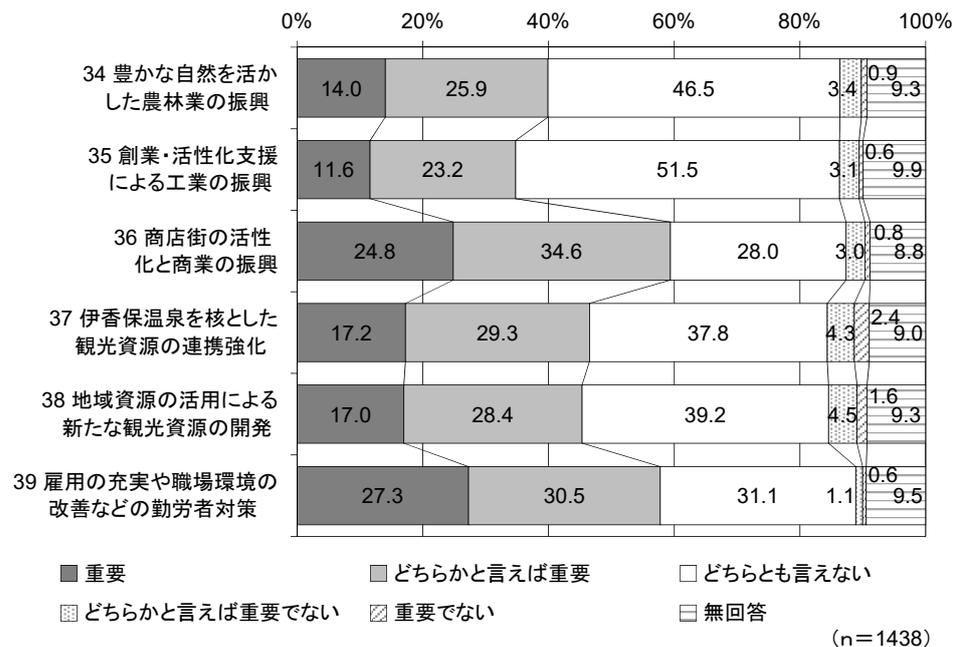
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」(17.0%)が最も高くなっています。一方、「36 商店街の活性化と商業の振興」は「どちらかと言えば不満」と「不満」の合計値『不満』(44.9%)が特に高くなっています。



【重要度】

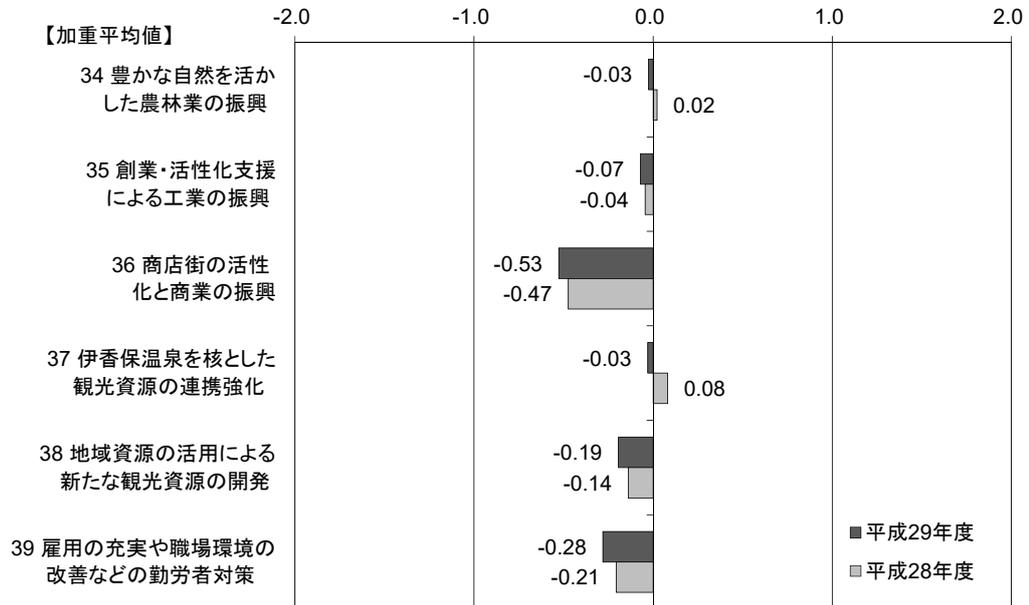
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「36 商店街の活性化と商業の振興」(59.4%)、「39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」(57.8%)の2項目が約6割で高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もマイナス値となっており、その中で「36 商店街の活性化と商業の振興」（-0.53ポイント）が最も低くなっています。

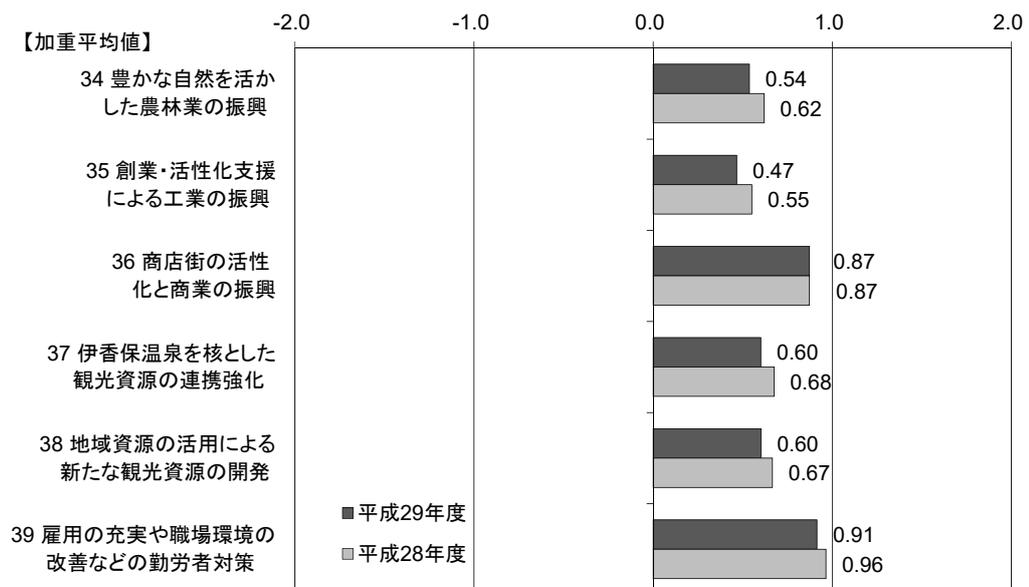
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」（0.91ポイント）が最も高くなっています。

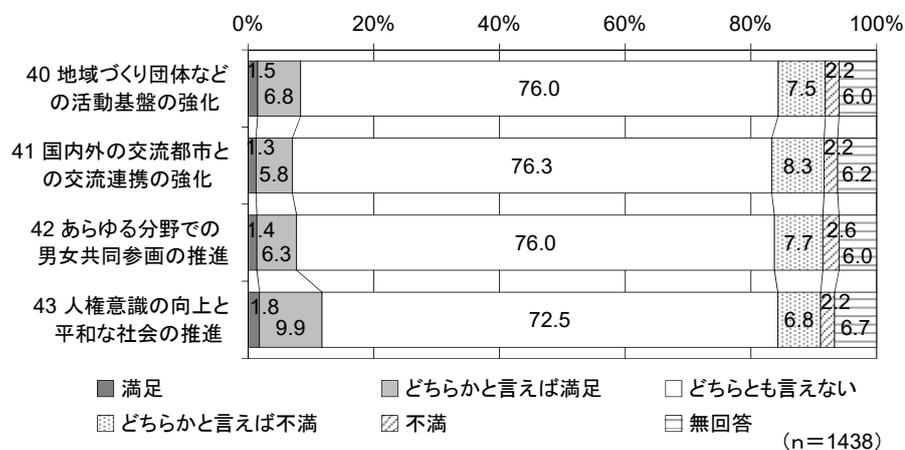
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(7) コミュニティ・市民参加分野

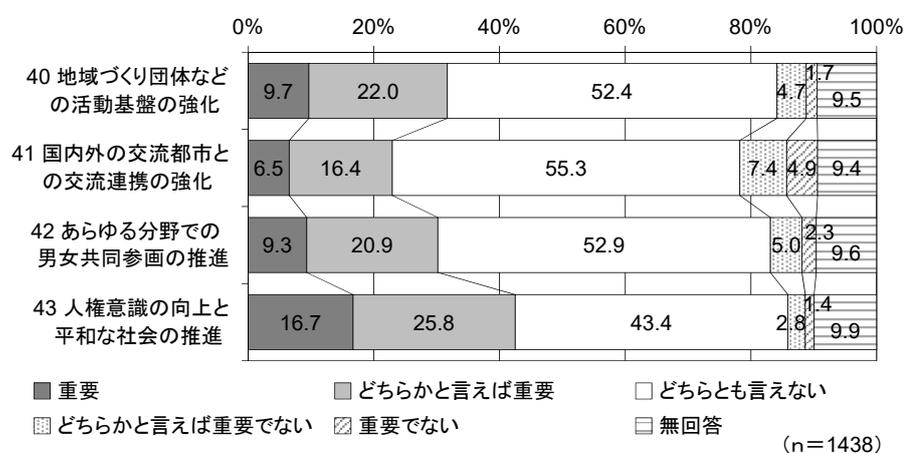
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、いずれの項目も1割程度で大きな差は見られません。



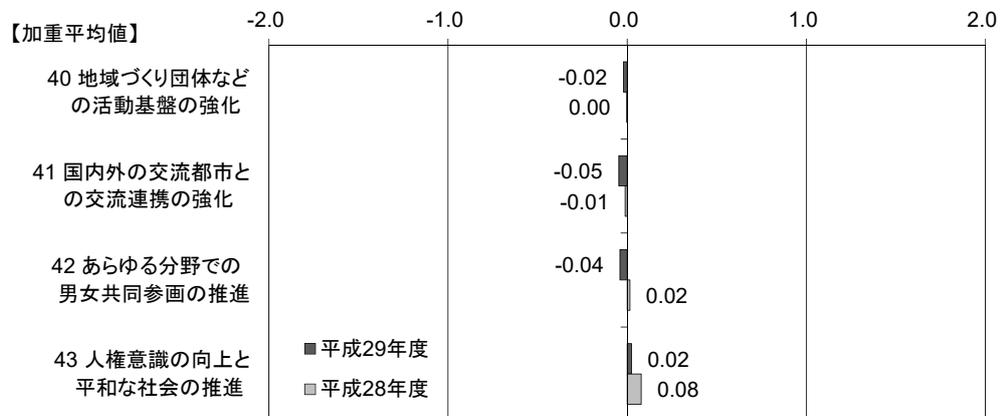
【重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「43 人権意識の向上と平和な社会の推進」(42.5%)が4割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

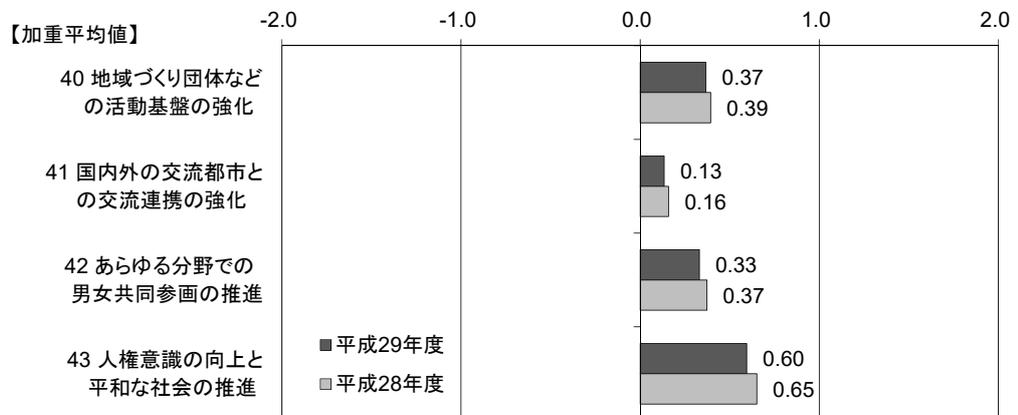
加重平均値を見ると、いずれの項目も中間点の0.0に近く、大きな差は見られません。前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「43 人権意識の向上と平和な社会の推進」(0.60ポイント)が最も高くなっています。

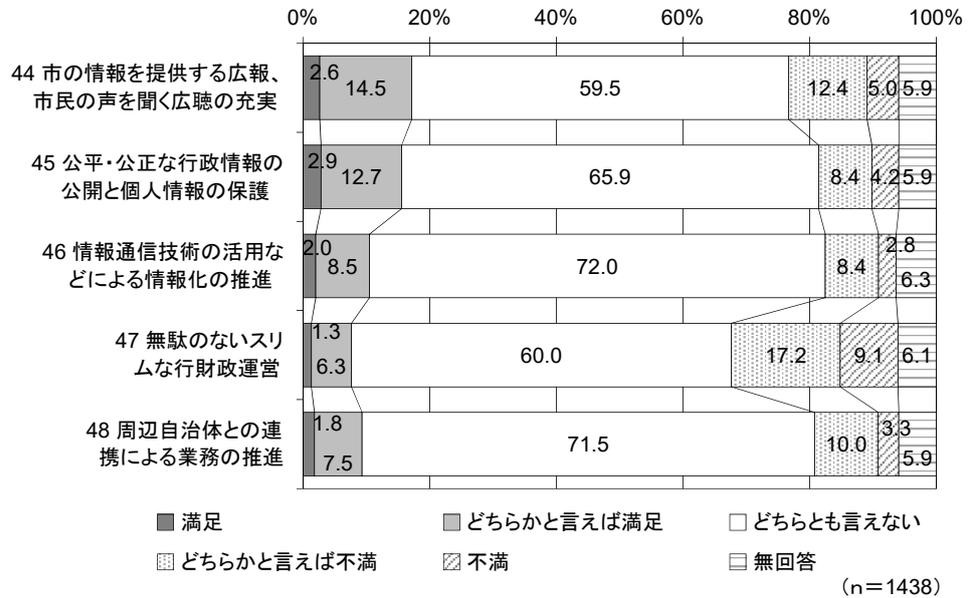
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(8) 行財政分野

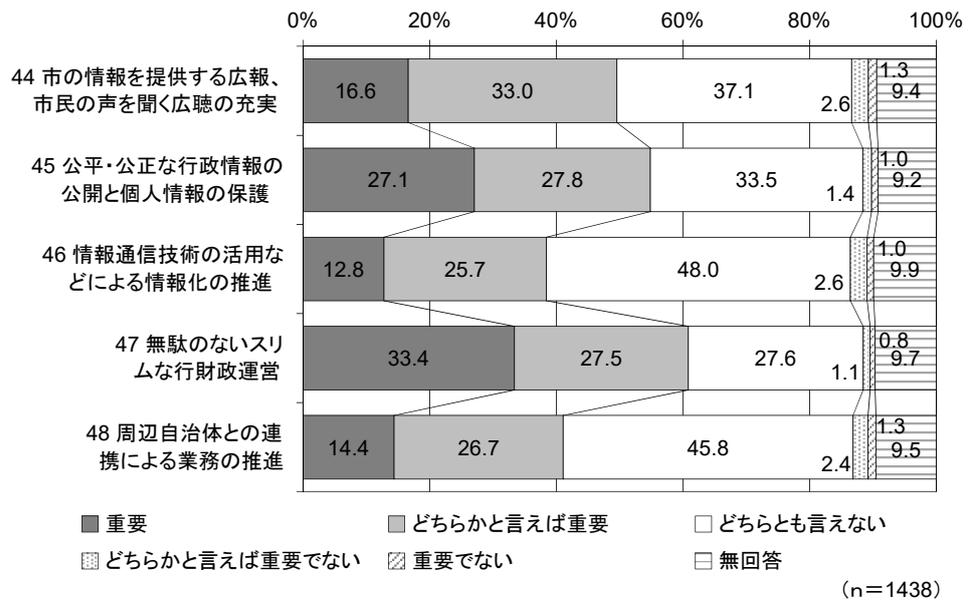
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」(17.1%)が約2割で最も高く、次いで「45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」(15.6%)も同程度に高くなっています。



【重要度】

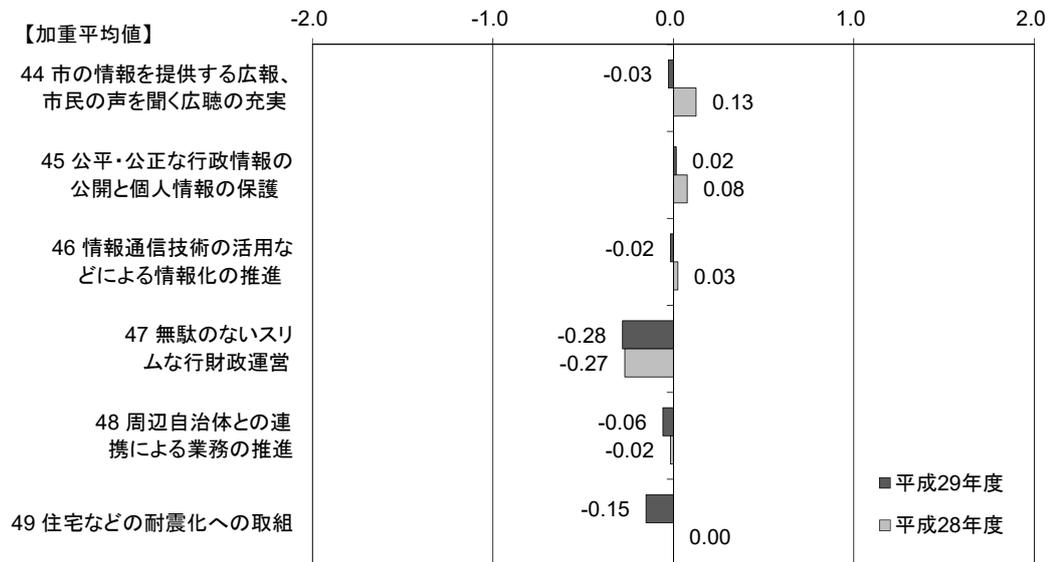
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「47 無駄のないスリムな行財政運営」(60.9%)が6割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」(0.02ポイント)を除き、いずれもマイナス値となっています。

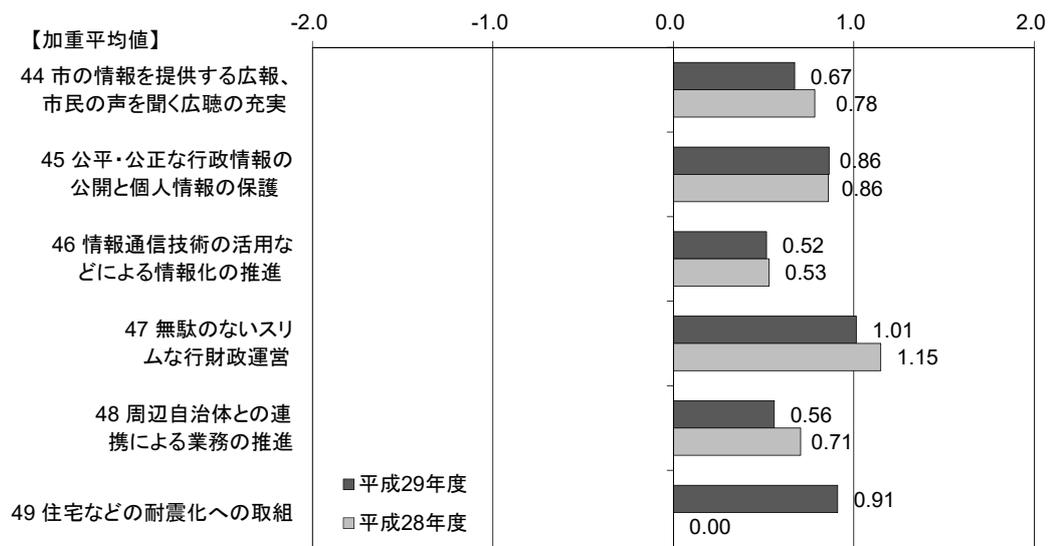
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」はマイナス値に転じており、値が低くなっています。



【重要度 経年変化】

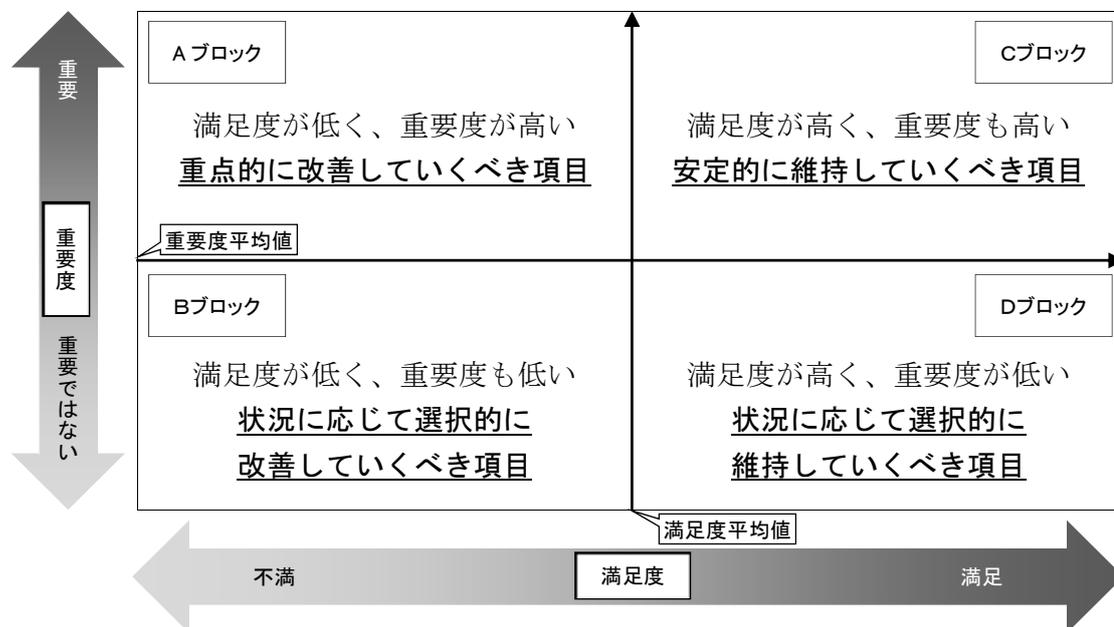
加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「47 無駄のないスリムな行財政運営」(1.01ポイント)が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(9) 49項目の満足度と重要度の関係

49項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



Aブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析とそれに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

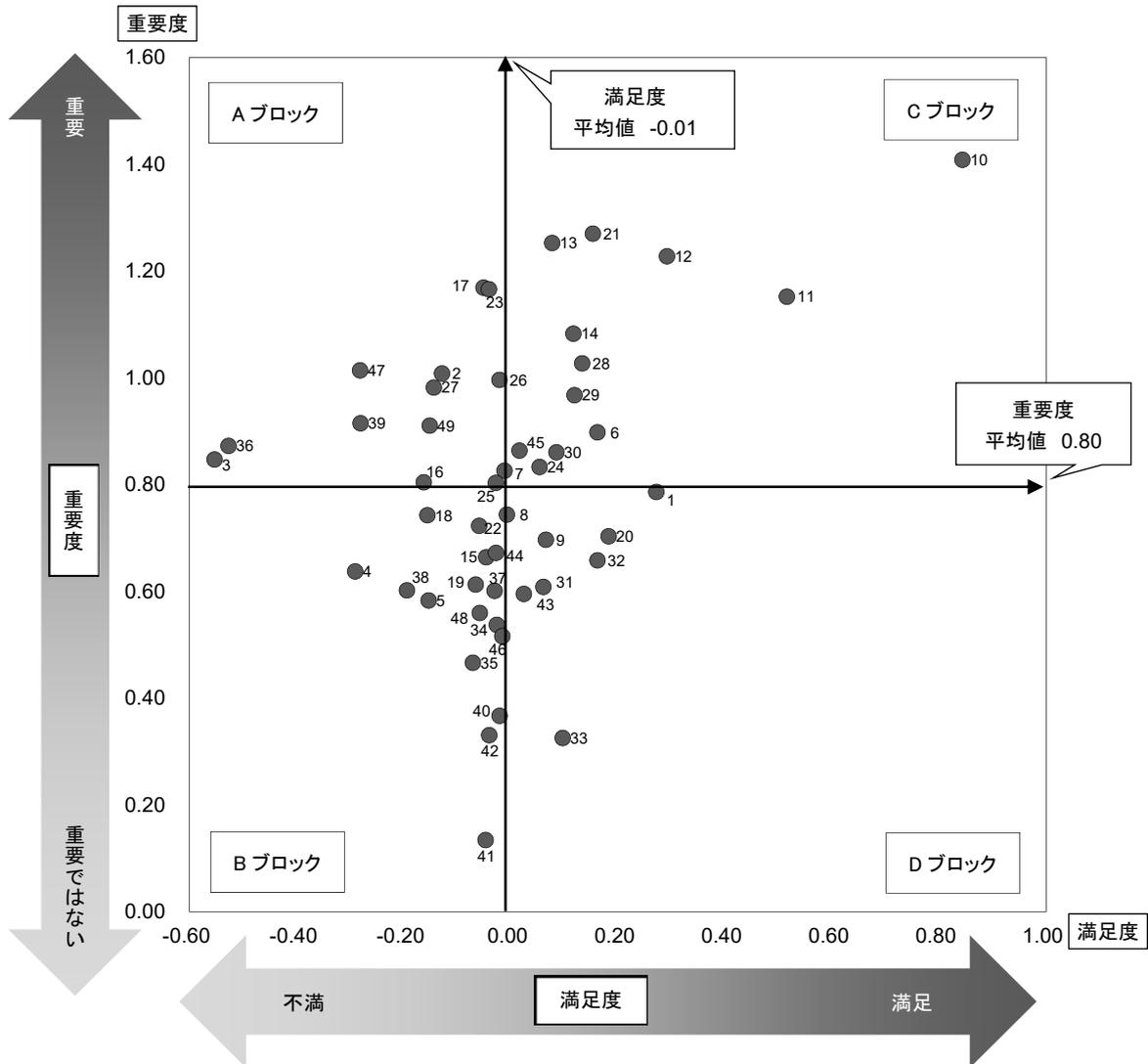
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められています。

Dブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、その必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



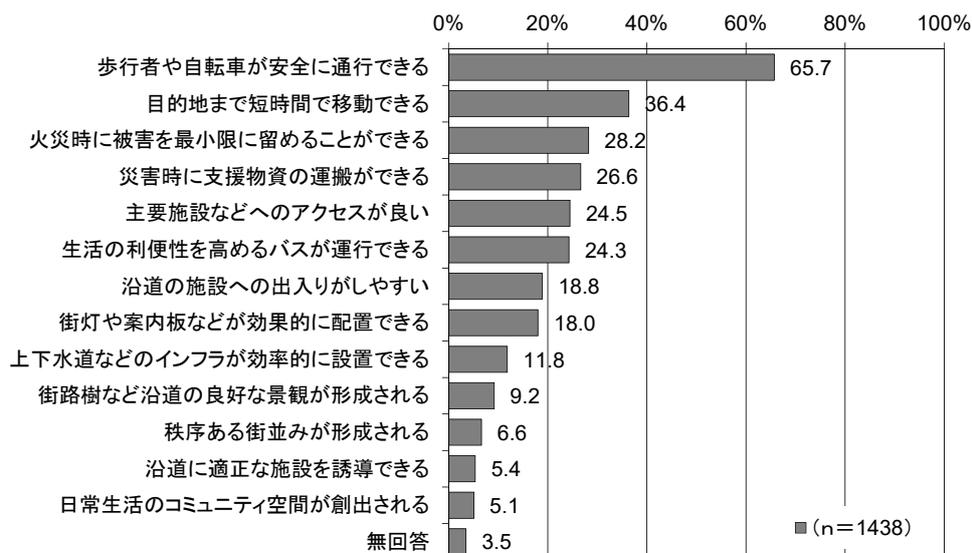
- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 | 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 |
| 2 生活に身近な道路の整備 | 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 |
| 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 | 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 |
| 4 良好な市街地の形成 | 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 |
| 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 | 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 |
| 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 | 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 |
| 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 | 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 |
| 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 | 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 |
| 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 | 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 |
| 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 | 35 創業・活性化支援による工業の振興 |
| 11 公共下水道整備や水洗化の推進 | 36 商店街の活性化と商業の振興 |
| 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 | 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 |
| 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 | 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 |
| 14 交通安全対策の推進 | 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 |
| 15 移住・定住環境の充実 | 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 |
| 16 市街地のバリアフリー化の促進 | 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 |
| 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 | 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 |
| 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 | 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 |
| 19 身近な公園などの整備 | 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 |
| 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 | 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 |
| 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 | 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 |
| 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 | 47 無駄のないスリムな行財政運営 |
| 23 安心して子どもを生育てられる環境の充実 | 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |
| 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 49 住宅などの耐震化への取組 |
| 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | |

4 都市整備について

問5 重要な道路の機能

あなたは、道路の機能について、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

「歩行者や自転車が安全に通行できる」(65.7%)が6割以上で特に高く、次いで「目的地まで短時間で移動できる」(36.4%)が3割以上となっています。



属性別に見ると、全体で最も高い「歩行者や自転車が安全に通行できる」は、年代別、居住地区別で差が見られ、年代別では30代(76.8%)、40代(75.1%)は7割以上となっていますが、70代以上(56.4%)では6割未満となっています。居住地区別では、渋川地区(70.0%)、北橋地区(68.6%)は約7割となっていますが、伊香保地区(43.9%)は5割未満となっています。

また、「目的地まで短時間で移動できる」「火災時に被害を最小限に留めることができる」「主要施設などへのアクセスが良い」「生活の利便性を高めるバスが運行できる」の4項目でも年代別、居住地区別で差が見られます。

その中で特に「目的地まで短時間で移動できる」は差が大きく、年代別では10代(58.6%)、20代(57.4%)では約6割となっており、おおむね若い年代ほど値が高くなっています。居住地区別では、小野上地区(55.6%)は5割以上となっていますが、伊香保地区(19.5%)は約2割となっています。

また、「火災時に被害を最小限に留めることができる」は性別による差も見られ、女性(32.8%)が男性(22.8%)より10ポイント高くなっています。

(%)	男性	女性
n	624	762
歩行者や自転車が安全に通行できる	65.7	67.6
目的地まで短時間で移動できる	40.7	33.2
火災時に被害を最小限に留めることができる	22.8	32.8
災害時に支援物資の運搬ができる	25.5	28.3
主要施設などへのアクセスが良い	26.3	22.7
生活の利便性を高めるバスが運行できる	22.1	26.0
沿道の施設への出入りがしやすい	16.7	21.1
街灯や案内板などが効果的に配置できる	15.9	20.1
上下水道などのインフラが効率的に設置できる	14.1	9.8
街路樹など沿道の良好な景観が形成される	9.8	8.7
秩序ある街並みが形成される	7.7	5.5
沿道に適正な施設を誘導できる	6.9	4.2
日常生活のコミュニティ空間が創出される	5.0	5.0
無回答	3.8	2.1

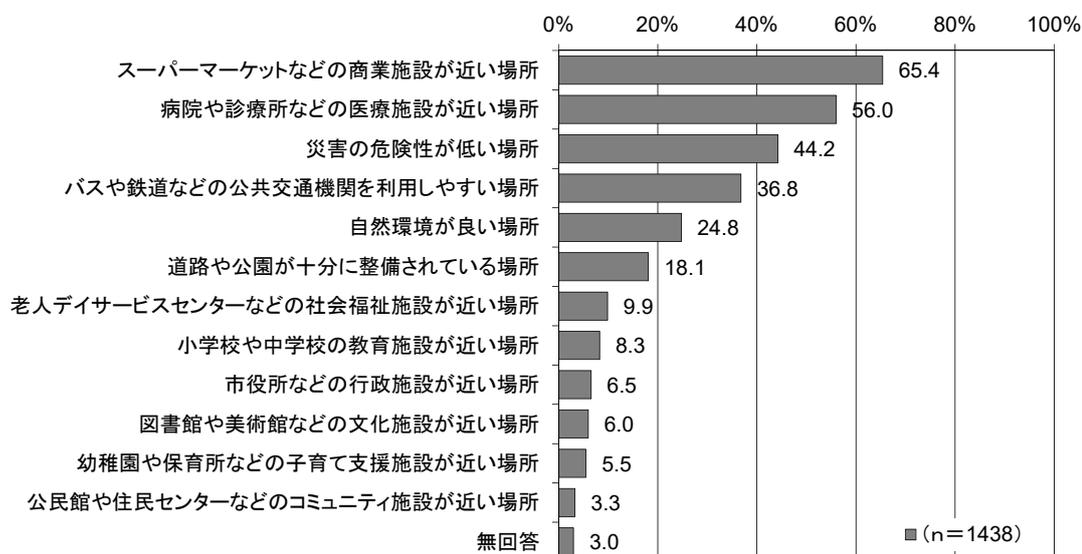
(%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
n	29	129	207	185	225	294	349
歩行者や自転車が安全に通行できる	62.1	61.2	76.8	75.1	68.0	66.0	56.4
目的地まで短時間で移動できる	58.6	57.4	45.9	33.0	35.1	27.2	32.7
火災時に被害を最小限に留めることができる	13.8	20.9	23.7	25.9	22.2	34.4	35.0
災害時に支援物資の運搬ができる	31.0	24.8	29.0	25.4	27.1	27.6	25.8
主要施設などへのアクセスが良い	37.9	36.4	28.5	23.8	24.9	23.1	18.6
生活の利便性を高めるバスが運行できる	13.8	12.4	13.0	18.4	27.1	26.2	35.5
沿道の施設への出入りがしやすい	20.7	30.2	22.2	20.0	20.0	15.6	14.6
街灯や案内板などが効果的に配置できる	20.7	17.8	22.7	22.2	16.9	18.7	13.8
上下水道などのインフラが効率的に設置できる	6.9	7.8	5.8	13.0	12.0	12.6	16.0
街路樹など沿道の良好な景観が形成される	13.8	7.8	7.2	10.3	12.4	10.5	6.0
秩序ある街並みが形成される	3.4	3.9	6.3	6.5	8.0	8.8	5.2
沿道に適正な施設を誘導できる	6.9	4.7	6.3	6.5	5.8	4.1	5.4
日常生活のコミュニティ空間が創出される	3.4	7.0	4.3	3.2	4.4	7.1	4.9
無回答	0.0	1.6	0.0	2.2	2.2	2.7	6.9

(%)	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区
n	826	41	18	207	169	156
歩行者や自転車が安全に通行できる	70.0	43.9	50.0	61.8	59.2	68.6
目的地まで短時間で移動できる	38.0	19.5	55.6	35.7	35.5	34.0
火災時に被害を最小限に留めることができる	28.7	34.1	11.1	26.1	30.8	28.2
災害時に支援物資の運搬ができる	25.3	41.5	27.8	29.5	29.0	25.0
主要施設などへのアクセスが良い	23.4	29.3	11.1	24.6	33.7	21.2
生活の利便性を高めるバスが運行できる	21.8	36.6	44.4	23.2	29.6	28.2
沿道の施設への出入りがしやすい	19.7	19.5	16.7	17.4	20.1	15.4
街灯や案内板などが効果的に配置できる	16.8	12.2	16.7	19.8	17.2	26.3
上下水道などのインフラが効率的に設置できる	12.5	17.1	5.6	12.1	10.1	10.3
街路樹など沿道の良好な景観が形成される	9.9	9.8	5.6	8.2	6.5	7.1
秩序ある街並みが形成される	8.1	2.4	5.6	7.2	2.4	2.6
沿道に適正な施設を誘導できる	5.2	14.6	11.1	5.3	3.6	5.8
日常生活のコミュニティ空間が創出される	5.1	4.9	5.6	5.8	7.1	2.6
無回答	2.3	4.9	5.6	3.9	3.6	3.8

問6 将来住みたい場所

あなたは、将来どのような場所に住みたいと思いますか。（3つまで選択）

「スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所」（65.4%）が6割以上で最も高く、次いで「病院や診療所などの医療施設が近い場所」（56.0%）が5割以上となっています。



属性別に見ると、全体で最も高い「スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所」は、性別による差が見られ、女性（70.9%）が男性（59.1%）より約12ポイント高くなっています。年代別、居住地区別では大きな差は見られませんが、その中で年代別では20代（73.6%）、50代（72.0%）、60代（71.8%）が7割以上で比較的高くなっています。居住地区別では、子持地区（58.0%）を除き6割以上となっています。

性別による差は「自然環境が良い場所」でも見られ、男性（30.8%）が女性（20.2%）より約10ポイント高くなっています。

年代別による差は「病院や診療所などの医療機関が近い場所」で特に大きく、高い年代ほど値が高くなっています。また、「道路や公園が十分に整備されている場所」「小学校や中学校の教育施設が近い場所」の2項目でも年代による差が見られ、いずれも10代から30代までが高く、40代以上は高い年代ほど値が低くなっています。

居住地区による差は「災害の危険性が低い場所」で特に大きく、小野上地区（16.7%）が低くなっています。「市役所などの行政施設が近い場所」でも居住地区による差が見られ、小野上地区（27.8%）が高くなっています。

(%)	男性	女性
n	624	762
スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所	59.1	70.9
病院や診療所などの医療施設が近い場所	53.5	58.4
災害の危険性が低い場所	41.2	47.9
バスや鉄道など公共交通機関を利用しやすい場所	34.9	38.8
自然環境が良い場所	30.8	20.2
道路や公園が十分に整備されている場所	21.3	16.0
老人デイサービスセンターなどの社会福祉施設が近い場所	11.2	8.5
小学校や中学校の教育施設が近い場所	8.7	8.0
市役所などの行政施設が近い場所	7.2	5.9
図書館や美術館などの文化施設が近い場所	5.4	6.3
幼稚園や保育所などの子育て支援施設が近い場所	5.1	5.8
公民館や住民センターなどのコミュニティ施設が近い場所	3.2	3.1
無回答	3.5	1.6

(%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
n	29	129	207	185	225	294	349
スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所	58.6	73.6	60.4	58.9	72.0	71.8	61.3
病院や診療所などの医療施設が近い場所	31.0	35.7	41.5	48.1	53.8	65.3	73.4
災害の危険性が低い場所	41.4	45.7	46.9	53.0	43.6	46.6	38.1
バスや鉄道など公共交通機関を利用しやすい場所	41.4	37.2	27.1	38.4	46.7	33.0	39.0
自然環境が良い場所	37.9	17.8	28.0	29.7	25.8	29.3	17.8
道路や公園が十分に整備されている場所	27.6	31.0	32.4	25.4	18.2	11.6	5.7
老人デイサービスセンターなどの社会福祉施設が近い場所	0.0	0.8	4.8	4.9	7.1	11.6	20.3
小学校や中学校の教育施設が近い場所	17.2	17.8	21.3	9.2	4.9	2.4	2.6
市役所などの行政施設が近い場所	6.9	2.3	4.8	3.2	4.0	8.2	10.9
図書館や美術館などの文化施設が近い場所	17.2	7.0	8.7	8.1	5.3	5.8	2.9
幼稚園や保育所などの子育て支援施設が近い場所	10.3	18.6	9.7	5.4	3.6	2.4	1.4
公民館や住民センターなどのコミュニティ施設が近い場所	0.0	0.8	5.3	2.7	4.0	1.4	4.9
無回答	0.0	1.6	0.0	2.2	1.8	2.4	5.2

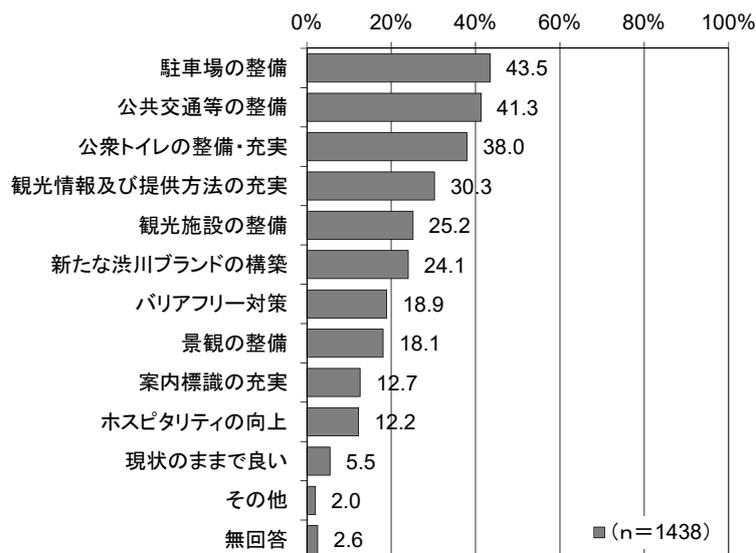
(%)	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区
n	826	41	18	207	169	156
スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所	67.3	63.4	61.1	58.0	65.7	69.2
病院や診療所などの医療施設が近い場所	52.7	65.9	50.0	62.8	63.9	59.0
災害の危険性が低い場所	45.0	51.2	16.7	47.8	39.1	46.8
バスや鉄道など公共交通機関を利用しやすい場所	35.1	43.9	33.3	38.2	40.8	41.0
自然環境が良い場所	27.8	22.0	16.7	22.2	17.8	22.4
道路や公園が十分に整備されている場所	20.5	12.2	22.2	16.4	14.8	12.2
老人デイサービスセンターなどの社会福祉施設が近い場所	9.1	14.6	16.7	9.7	11.2	12.2
小学校や中学校の教育施設が近い場所	8.8	2.4	5.6	7.7	9.5	5.8
市役所などの行政施設が近い場所	5.2	9.8	27.8	6.3	7.7	9.0
図書館や美術館などの文化施設が近い場所	7.0	0.0	11.1	4.8	5.3	3.8
幼稚園や保育所などの子育て支援施設が近い場所	5.2	0.0	5.6	6.8	8.3	1.9
公民館や住民センターなどのコミュニティ施設が近い場所	3.0	4.9	5.6	2.9	3.0	5.1
無回答	1.9	2.4	5.6	3.4	3.6	1.9

5 観光の取組について

問7 取り組むべき観光振興

あなたは、観光振興対策としてどのようなことに取り組んだ方が良いと思いますか。(3つまで選択)

「駐車場の整備」(43.5%)、「公共交通等の整備」(41.3%)の2項目が4割以上、次いで「公衆トイレの整備・充実」(38.0%)が約4割となっています。



属性別に見ると、全体で最も高い「駐車場の整備」は、年代別による差が見られ、10代(24.1%)が3割で低くなっています。居住地区別では大きな差は見られません。

年代別による差は「観光施設の整備」「新たな渋川ブランドの構築」でも見られ、「観光施設の整備」はおおむね高い年代ほど値が低くなっています。「新たな渋川ブランドの構築」は10代(48.3%)が約5割で高くなっています。

居住地区による差は「公衆トイレの整備・充実」「景観の整備」で見られ、「公衆トイレの整備・充実」は小野上地区(61.1%)が6割以上で高くなっています。「景観の整備」は小野上地区では回答が見られませんでした。

(%)	男性	女性
n	624	762
駐車場の整備	44.7	42.1
公共交通等の整備	40.5	42.3
公衆トイレの整備・充実	37.7	38.3
観光情報及び提供方法の充実	30.6	30.2
観光施設の整備	25.2	25.3
新たな渋川ブランドの構築	27.2	22.3
バリアフリー対策	14.9	21.9
景観の整備	21.6	15.1
案内標識の充実	13.6	12.1
ホスピタリティの向上	11.9	12.6
現状のままで良い	5.8	5.5
その他	1.6	2.2
無回答	2.1	2.4

(%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
n	29	129	207	185	225	294	349
駐車場の整備	24.1	43.4	43.0	42.2	36.9	43.2	50.7
公共交通等の整備	41.4	47.3	40.1	42.2	39.6	41.2	41.5
公衆トイレの整備・充実	27.6	38.8	37.7	32.4	31.6	37.4	47.0
観光情報及び提供方法の充実	17.2	28.7	27.5	33.5	37.8	33.7	24.6
観光施設の整備	41.4	32.6	34.3	27.6	29.8	22.1	14.9
新たな渋川ブランドの構築	48.3	26.4	24.2	28.1	24.0	21.8	21.8
バリアフリー対策	17.2	20.2	21.7	16.8	16.4	17.7	20.6
景観の整備	13.8	21.7	17.4	22.2	24.0	17.7	12.0
案内標識の充実	6.9	14.0	8.2	9.7	12.4	15.3	15.5
ホスピタリティの向上	13.8	8.5	15.0	10.8	10.7	14.3	12.0
現状のままで良い	6.9	3.9	3.9	4.3	6.7	6.5	6.3
その他	0.0	2.3	2.9	2.7	1.8	1.0	2.0
無回答	0.0	0.0	0.0	2.2	1.3	3.4	3.7

(%)	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橋地区
n	826	41	18	207	169	156
駐車場の整備	45.2	48.8	55.6	36.2	40.2	47.4
公共交通等の整備	40.4	29.3	44.4	41.5	44.4	47.4
公衆トイレの整備・充実	36.7	29.3	61.1	42.0	42.0	37.8
観光情報及び提供方法の充実	29.4	36.6	22.2	36.2	26.6	30.8
観光施設の整備	26.9	24.4	22.2	22.2	23.7	23.1
新たな渋川ブランドの構築	25.4	17.1	16.7	22.2	20.7	25.6
バリアフリー対策	21.2	22.0	22.2	15.0	16.6	14.1
景観の整備	18.5	26.8	0.0	17.4	18.9	15.4
案内標識の充実	12.6	14.6	0.0	13.0	16.0	11.5
ホスピタリティの向上	11.4	19.5	11.1	14.0	14.8	9.6
現状のままで良い	5.1	9.8	0.0	6.8	7.7	3.8
その他	2.7	4.9	0.0	1.0	1.2	0.6
無回答	1.7	2.4	5.6	2.9	1.8	3.2

6 市政について

問8 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

685人から意見をいただきました。これを現在の総合計画の8大分野別に読み分けを行い、959件の意見としてまとめました。なお、複数の分野にまたがる内容については、各分野に関する意見として集計しています。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、記載については、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1 都市基盤分野	188
2 自然環境分野	29
3 生活環境分野	146
4 健康・福祉分野	170
5 教育・文化・スポーツ分野	58
6 産業分野	165
7 コミュニティ・市民参加分野	55
8 行財政分野	112
9 その他	36
合計	959

【1 都市基盤分野】

- ・バスや鉄道などの充実。料金も無料ではなくて、近いところは100～200円ぐらいでバスに乗れるようにしたい。
- ・バス、鉄道の便がとても悪いので、そこを改善しないと観光客の集客はできないと思います。また、とても住みにくいです。今は車を運転できますが、できなくなった時がとても不安です。道路の整備に力を入れているように感じますが、都会の人は、車利用より公共のバスや鉄道を利用することが多いです。
- ・高齢者の自動車の運転による事故が最近多く聞かれますが、私の住んでいる場所も車なしではとても行動が大変な所です。交通の手段を重視したいです。
- ・旧渋川市内は合併後住みにくくなっている。市街地整備にもっと力を入れてほしい。
- ・「コンパクトシティ」という言葉を最近よく聞きますが、コミュニティの中で、無理なく、不便なく暮らせるということが、老後に向かっていく身としては希望するところです。渋川市では、「近くのスーパー」「近くの商店」がどんどん減って行って、車がないと暮らせません。自家用車がなくても暮らせる地域に住みたいと考えてしまいます。
- ・私の住んでいる地域は、ここ数年で住宅が急激に増えました。車の通日も多くなりました。でも道路は狭いままで。道路などの整備をしっかりと実施してほしい。
- ・道路、河川、農道それぞれ機能しているまちにしたいです。現状、農道は草が生い茂り、歩くのに不備が見られます。

【2 自然環境分野】

- ・自然をいかしたまちづくり。
- ・景観の整備。自然に恵まれた住宅用地。
- ・ゴミ収集カレンダーをもう少し分かりやすくする。燃えるゴミ、燃えないゴミ、リサイクルゴミなどの主要以外のゴミ（古紙等）は「自治会による」となっていて、引っ越してきたばかりだと分からない。自治会に任せるばかりにしないでほしい。
- ・ゴミを減らす運動をする。リサイクルに力を入れ、各現場見学をする。
- ・光害の消滅と星空を取り戻す取組。
- ・緑を増やし、空気のきれいなまちにする。
- ・自然エネルギーの活用。

【3 生活環境分野】

- ・下水道料がかからないような浄化槽などの水道の整備を進める。
- ・交通事故対策（標識の設置、取り締まり）、防犯対策（パトロールの強化）、環境整備（ポイ捨ての取締り、美化意識の向上）。
- ・防災洪川の放送が聞き取りにくいので、各家庭への直接放送の整備または電子メールなどの送信の対策をしたい。
- ・子どもや女性、高齢者、障害者が安心して住めるように、防犯対策に力を入れたい。具体的には、不審者の情報提供や人気の少ない暗い場所の街灯設置など（まだ暗くてひとりで歩くのには怖い場所がたくさんあるので）。
- ・他の市町村に比べて高齢ドライバーが多く、危ないと思うことが多い。そういった人向けの講習や免許の返納の促進などを図りたい。
- ・他の都市に比べて子どもが遊ぶ公園が少ないように思われます。もう少し緑地公園を増やし、子どもの遊び場を確保していただきたい。
- ・空き家が多いので不審火など火災への不安。

【4 健康・福祉分野】

- ・健やかな生活のための健康づくり（健康体操、減塩の取組等）。
- ・医療の充実。器（病院）が大きくても、診療科がなくては意味がありません。特に小児科、産婦人科。
- ・高齢化社会に向け、老人ホームや介護施設の充実化。それに伴う介護職員の育成強化。
- ・高齢者や障害者が不自由なく住めるようにしていきたい。
- ・子育て親世代が働きやすい環境づくり（有給を取れるような会社を増やす）。高齢者が社会と関わりを持てるような支援。
- ・共働きで学童がない地域なので、子どもをどこの小学校に入れたらよいか悩んでいます。少子化と言われる時代ですので、過疎地域に住む子どもを持った家庭にも目を向けてほしい。
- ・母子家庭や父子家庭などが、生活困窮にならないように努力する。

【5 教育・文化・スポーツ分野】

- ・教育施設の充実、いじめ対策、教育指導者の育成。
- ・図書館の充実、小・中学生の学習状況の改善など。
- ・小・中・高の学生達の教育の中に老人施設でのボランティアや介護の仕方を学ばせる。地域の行事（祭り）には小学生の校外学習として参加できるようにする。語学に力を入れる教育活動をする。
- ・子ども達が将来の夢を叶えられるような活動（教育の質向上、職業などを具体的にたくさん知れる機会をつくる）。
- ・文化的なまち。文化施設を増やして、日常的に芸術に触れられるようにする。
- ・文化施設、体育施設の充実と指導者を増やす。海外との交流を積極的に行う。
- ・生涯スポーツ、競技スポーツの振興。

【6 産業分野】

- ・農業の6次産業化推進。創業・起業の支援。空家対策。後継者のいない事業者に対する対応を検討。
- ・経済の活性化。商業施設の活性化。
- ・工業団地の整備、確立。利根川の水と高速道路の利点を活用した生産工場や企業の誘致。
- ・渋川市の目玉を伊香保温泉に頼らないで、新たな目玉観光施設等を考えていく。渋川へそまったりなど市街地だけで盛り上がるイベントではなく、赤城・北橘・小野上・伊香保地区も一緒に参加して盛り上がる企画や祭り等を立ち上げる。
- ・働き場づくり。企業誘致、起業の指導と援助。シルバー人材センターの活用等。
- ・若い人達が、大学卒業後に戻って働ける企業をもっと増やす。ふるさとへ戻りたくなるようなまちづくり。

【7 コミュニティ・市民参加分野】

- ・市民が何を望んでいるのかを具体的に知る必要があると思う。そのために、市民と市長が直接話をする場を設けたい。そこで、渋川市の不十分な点や、どうしたらよくなるかなどを市長自らの耳で聞くことが重要。また、自分でまちを歩いてみて、まちの様子を見たり、働く人々の話を聞けば、よりよい渋川をつくるために必要な要素がはっきりと見えると思う。
- ・市民との意見交換が自由にできるようになったらよいと思う。
- ・市民が安心して過ごせるまちづくりをしたい。また、一人ひとりが互いに声をかけ合える、集まれる雰囲気、環境、場所をつくりたい。
- ・生活弱者には手厚い保護・支援をするが、何でも公共に頼るのではなく、市民の力で活動していけるよう支援する。
- ・人が集まる場所が少なくなっているので、学生達が集まれる場があるとよいと思う。
- ・住民主体のボランティア活動を増やしていくこと。若者が集まりやすいコミュニティ広場を何か所かつくる。

【8 行財政分野】

- ・以前に比べると職員の態度、言葉使いが柔らかくなっているように見られます。継続をお願いします。
- ・合併してから本庁舎まで行かなければ間に合わないことが多すぎます。支所の対応をもっと多く。高齢者の身になってもらいたい。
- ・納税したことに見合った住民サービスを提供する。合併した今も旧町村の意識が強く、一体感を持つ方が少なく思えることから、小中学校等の時代から「渋川市民」意識を高め、誇りを持てるようにしていきたい。
- ・税金の見直し、無駄な箱物の廃止、市職員数の適正化。
- ・老若男女、既婚・未婚など立場の違いはありますが、納得いくようなサービスをしてほしい。
- ・広報等の見直し。無駄を省く。滞納者への働きかけをもっと踏み込んで行う。
- ・特定の人が利用できるものではなく、常に更新された情報を発信し、市民全員に情報が伝わるようなまちにしたい。クリーンな市政活動をする。無駄に税金を使わない。

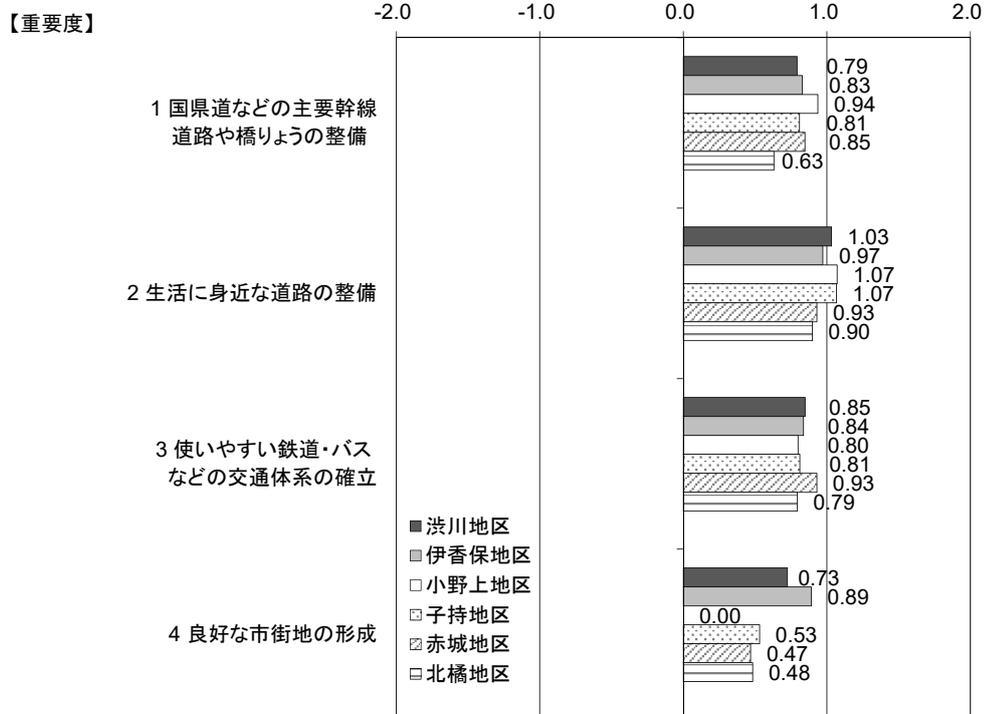
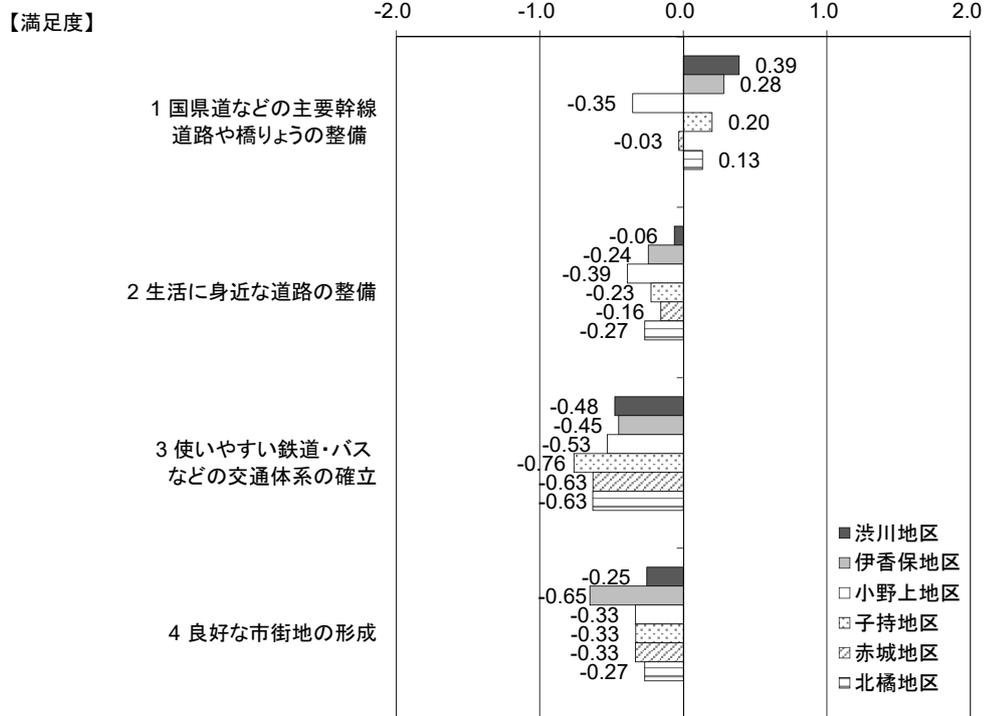
【9 その他】

- ・渋川市政の取組に今後も期待しております。広く意見を求めるこの調査は、渋川市の意気込みを感じられ、とてもよいと思われれます。
- ・アンケートの結果はホームページ等で公開予定となっておりますが、年寄りだけの世帯も多く、全ての人達に分かるように公開してください。公開する時に、前もって分かるようにお願いします。また、このアンケートは年寄りには分からない質問も多く、今後、分かりやすい具体的な質問をお願いします。
- ・若い人が衣食住を含めて魅力を感じるようなまちづくり。現在の渋川市の中から隠れた魅力を引き出す。
- ・今のままで十分暮らしやすいです。
- ・少子高齢化の波が渋川市、特に旧町村では集落全体を飲み込んでいます。5年先、10年先はいくつもの集落が消滅していくと思います。何らかの手立てを差しのべられるとよいと思います。

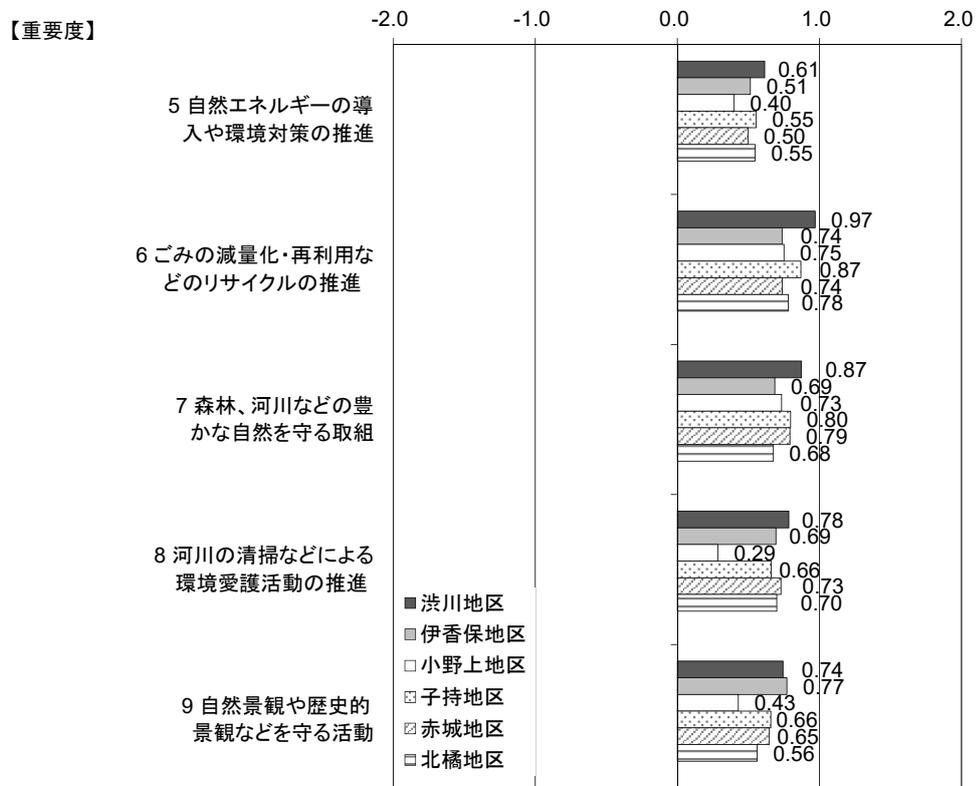
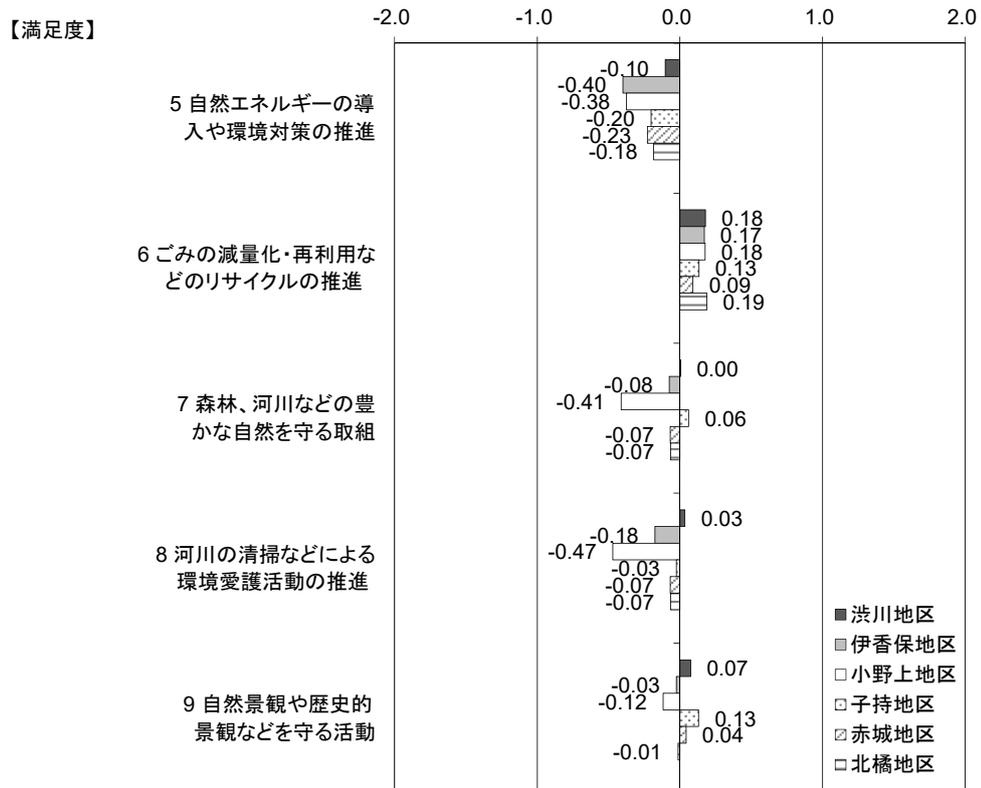
資料

1. 49項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）

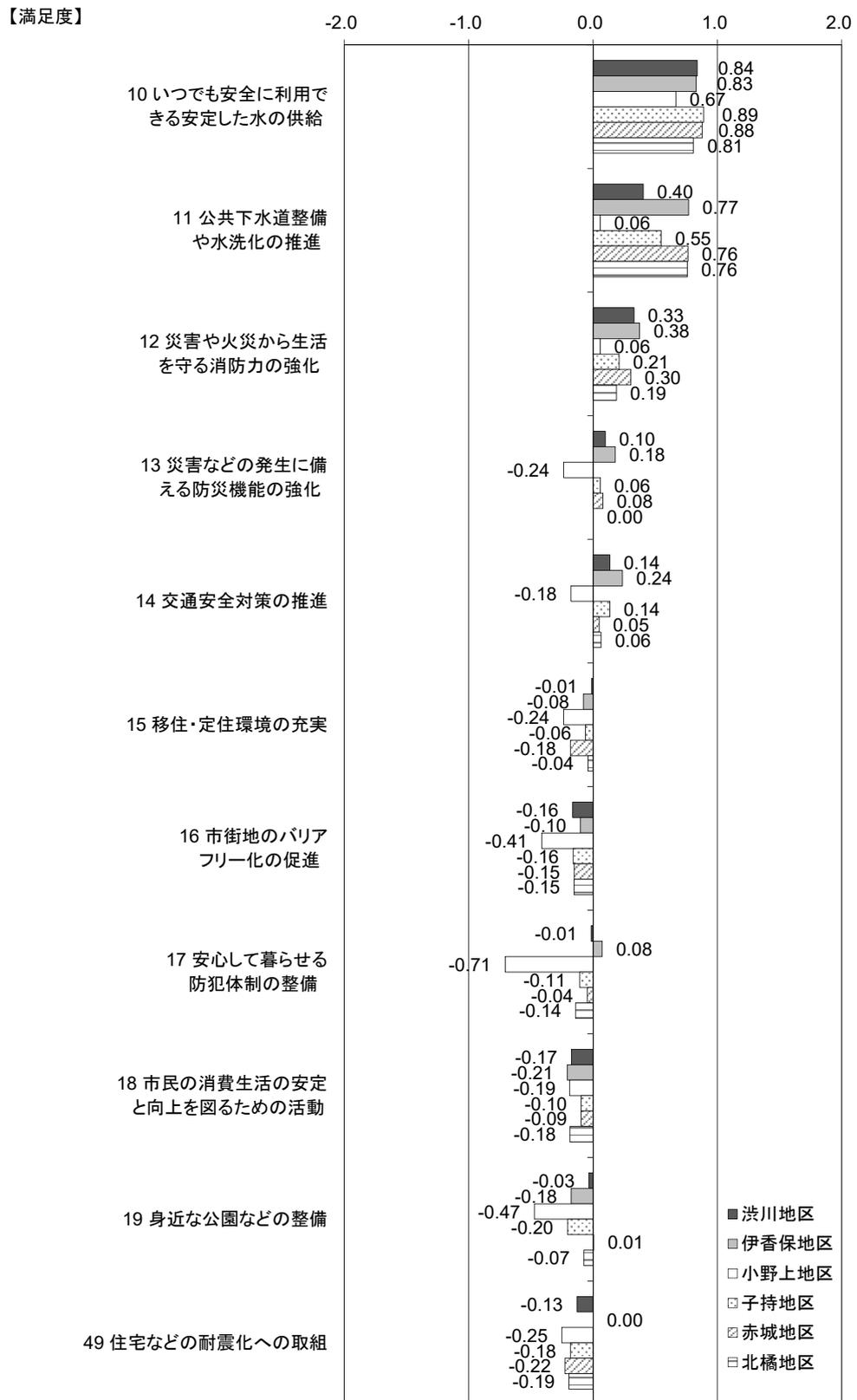
(1) 都市基盤分野



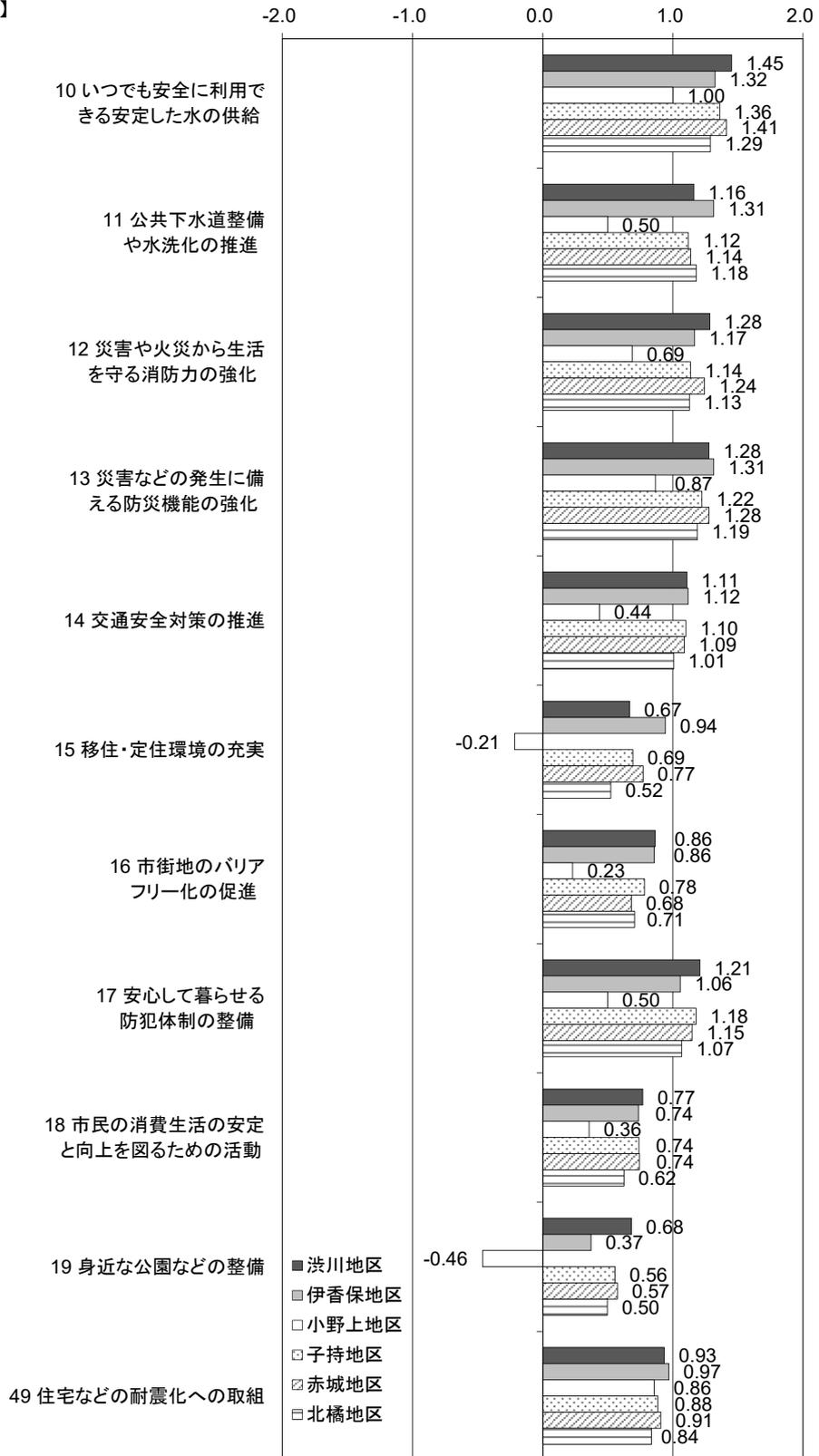
(2) 自然環境分野



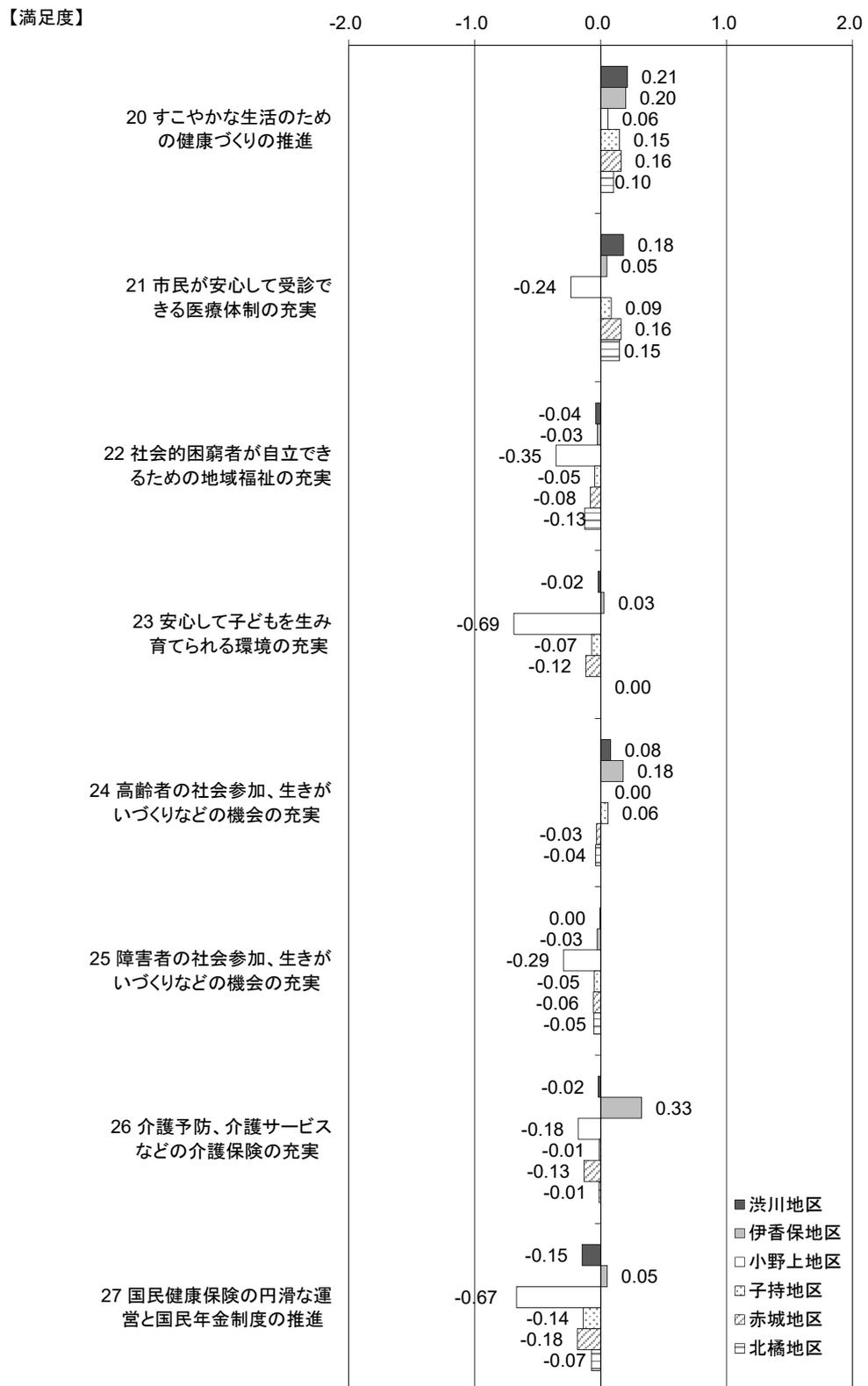
(3) 生活環境分野



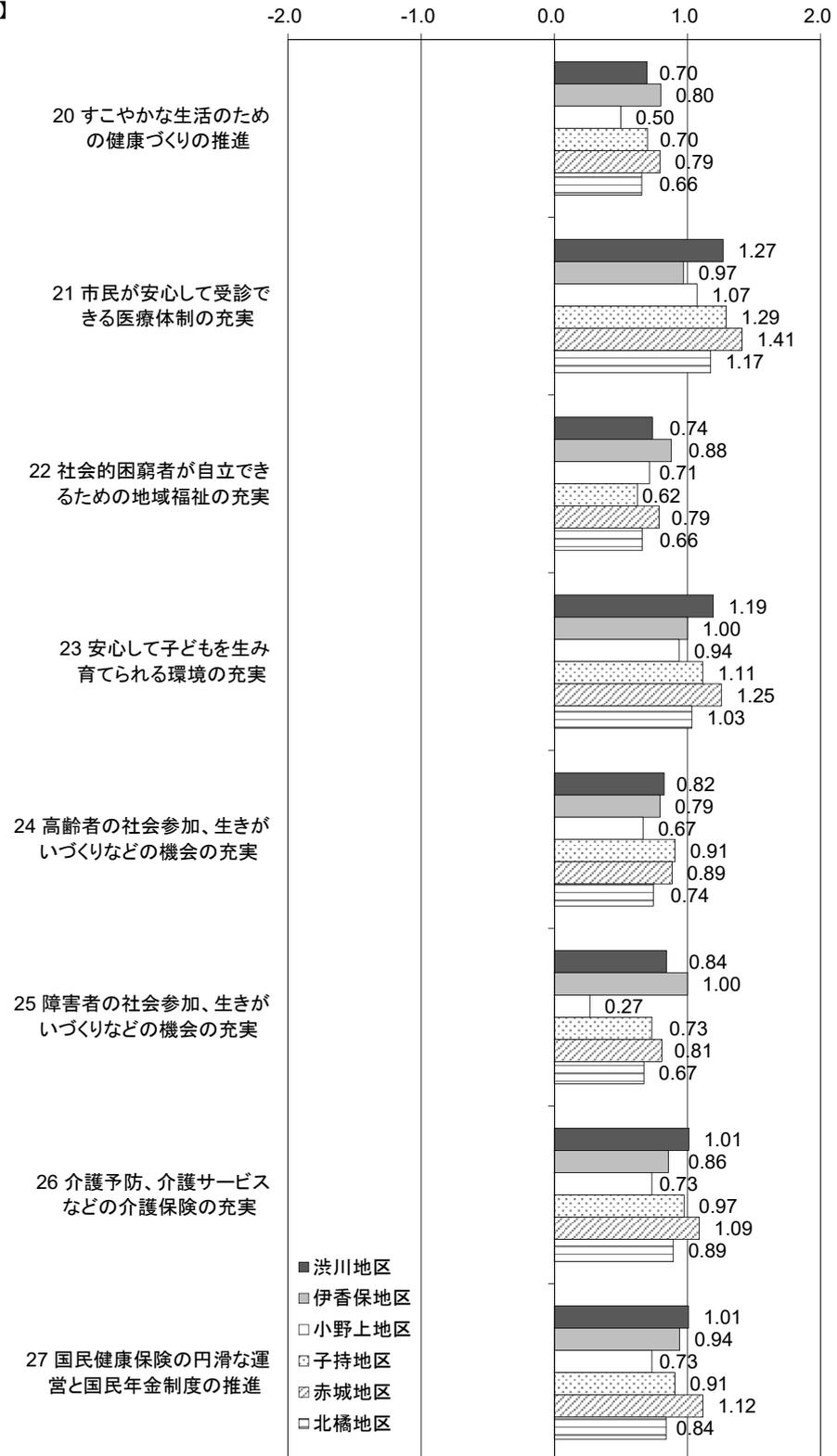
【重要度】



(4) 健康・福祉分野

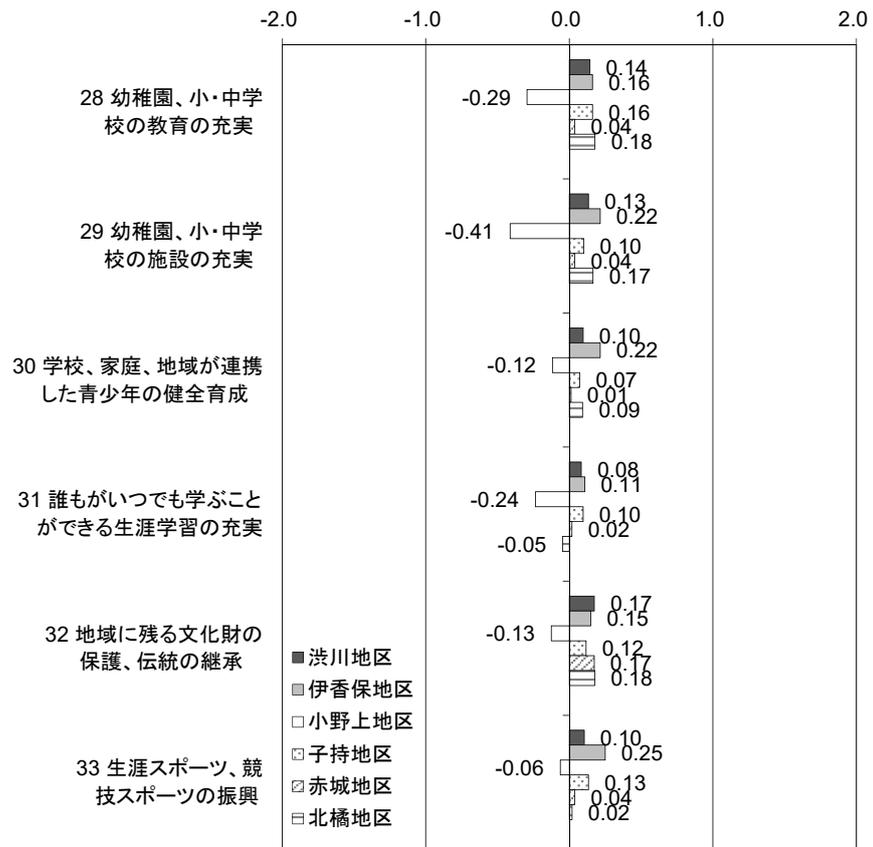


【重要度】

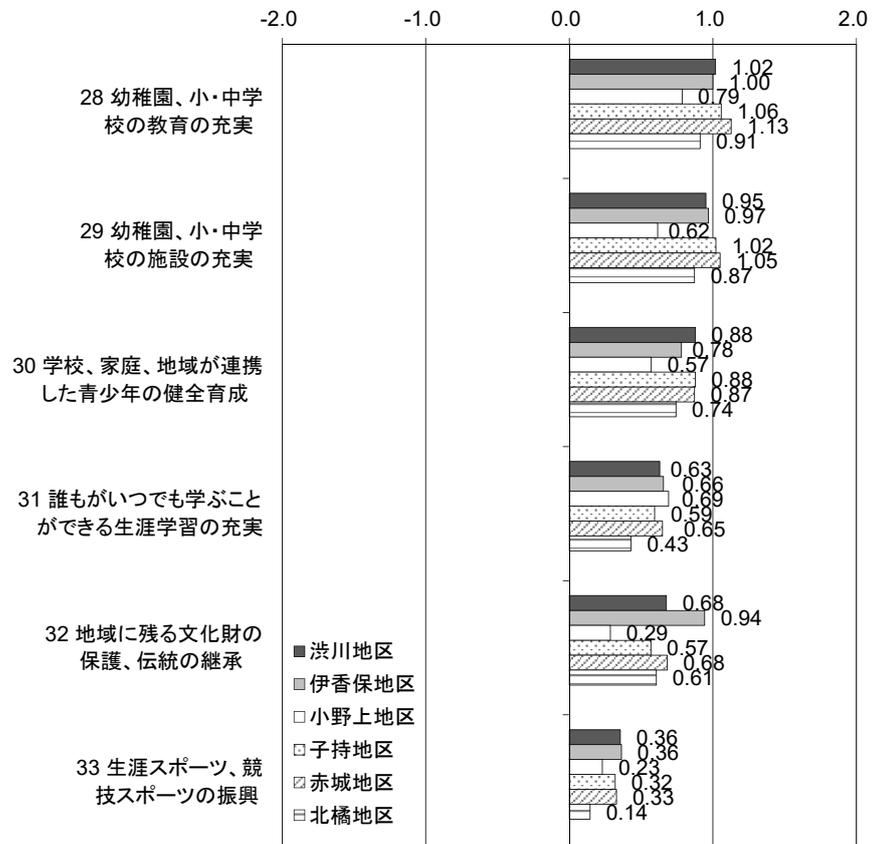


(5) 教育・文化・スポーツ分野

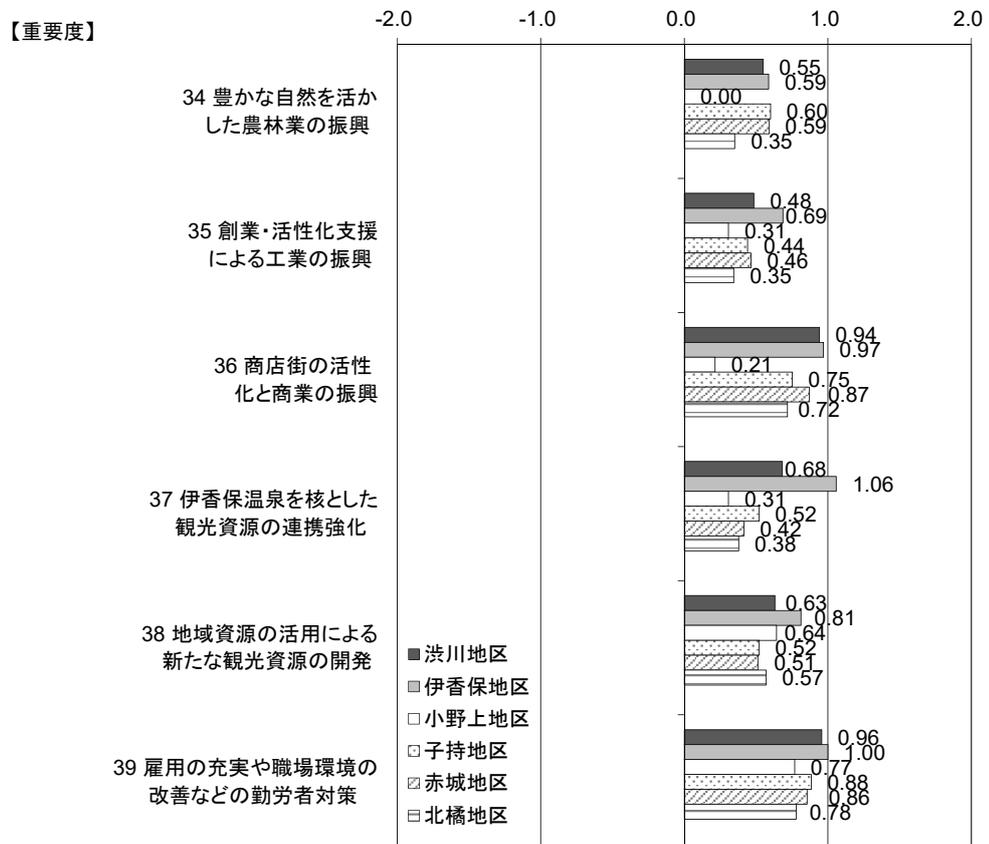
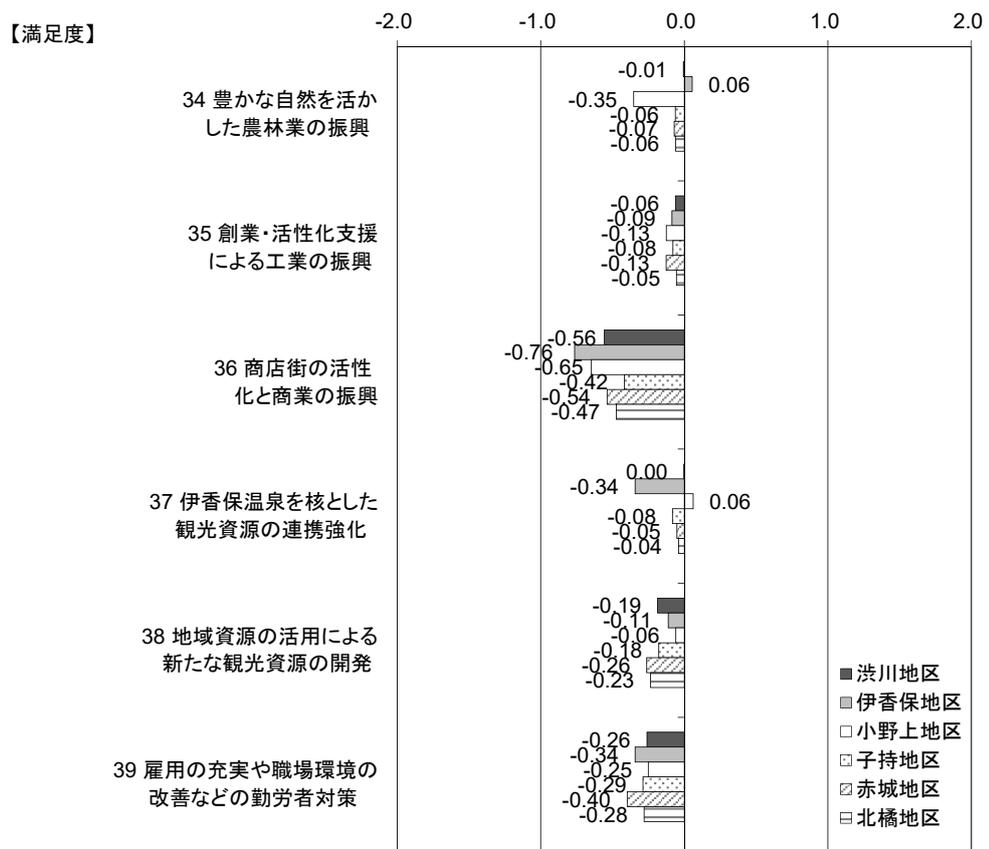
【満足度】



【重要度】

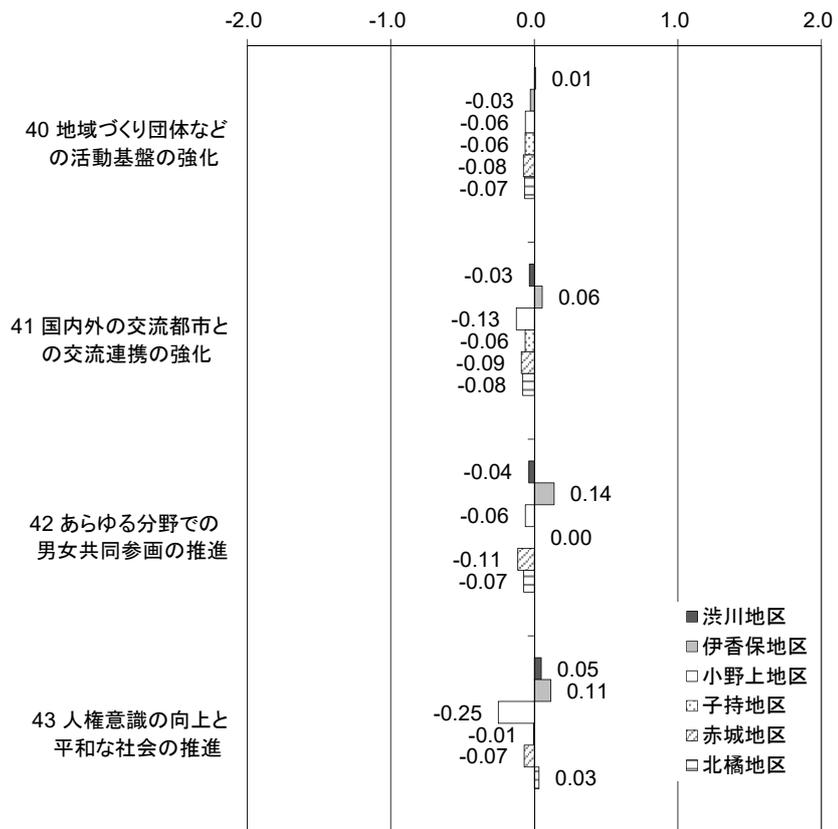


(6) 産業分野

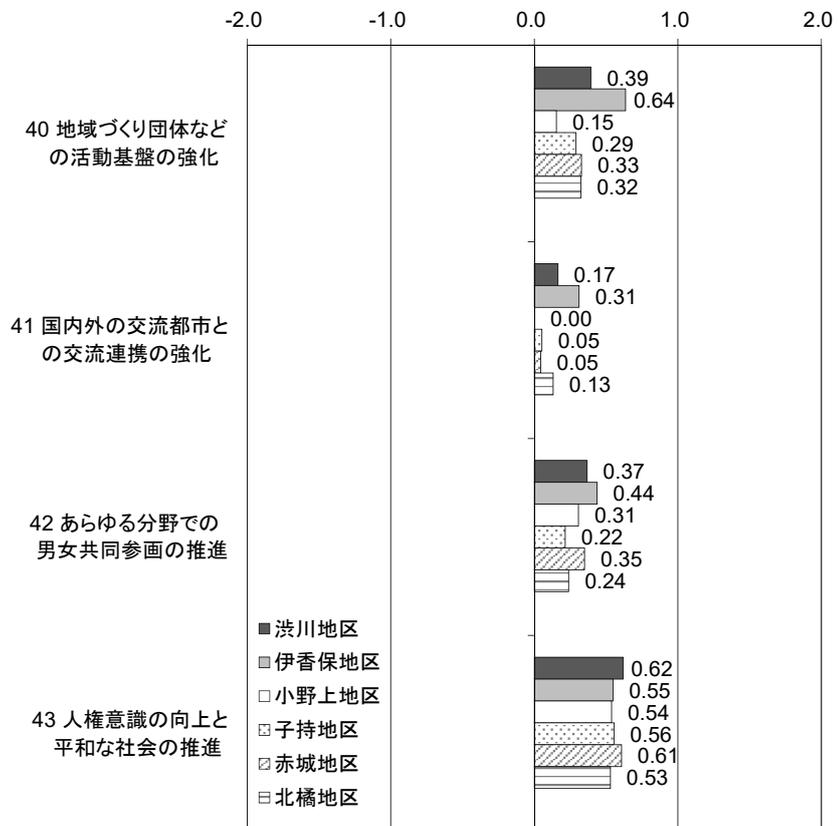


(7) コミュニティ・市民参加分野

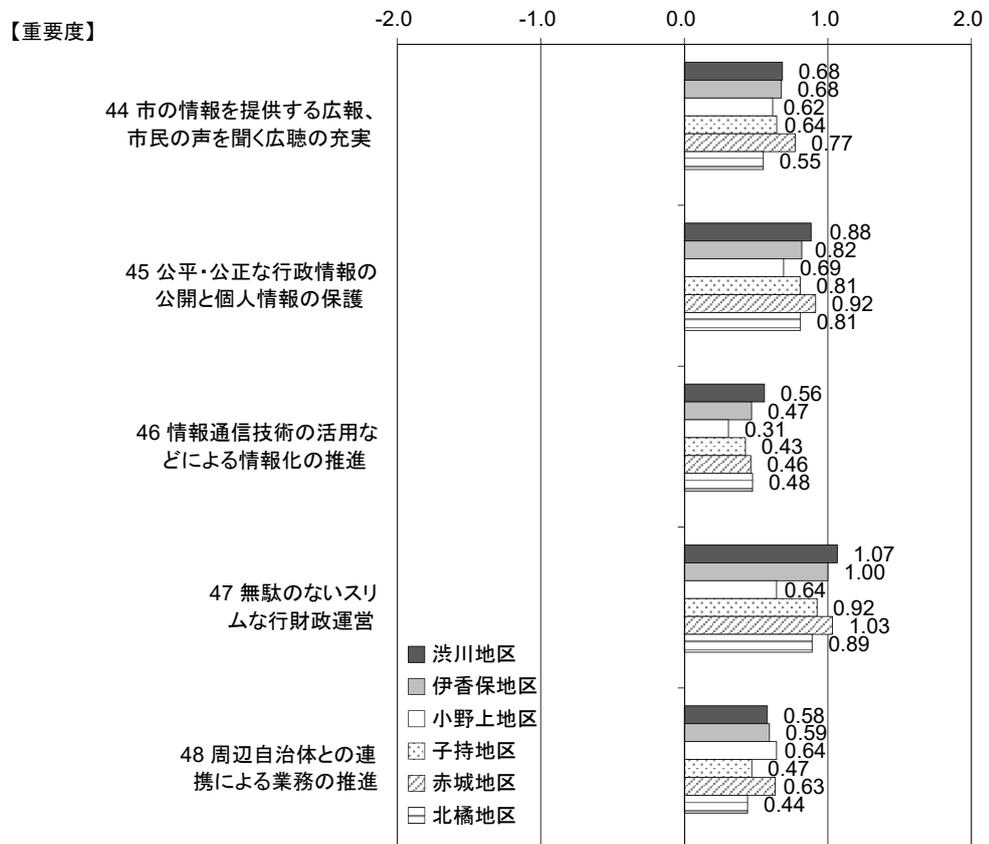
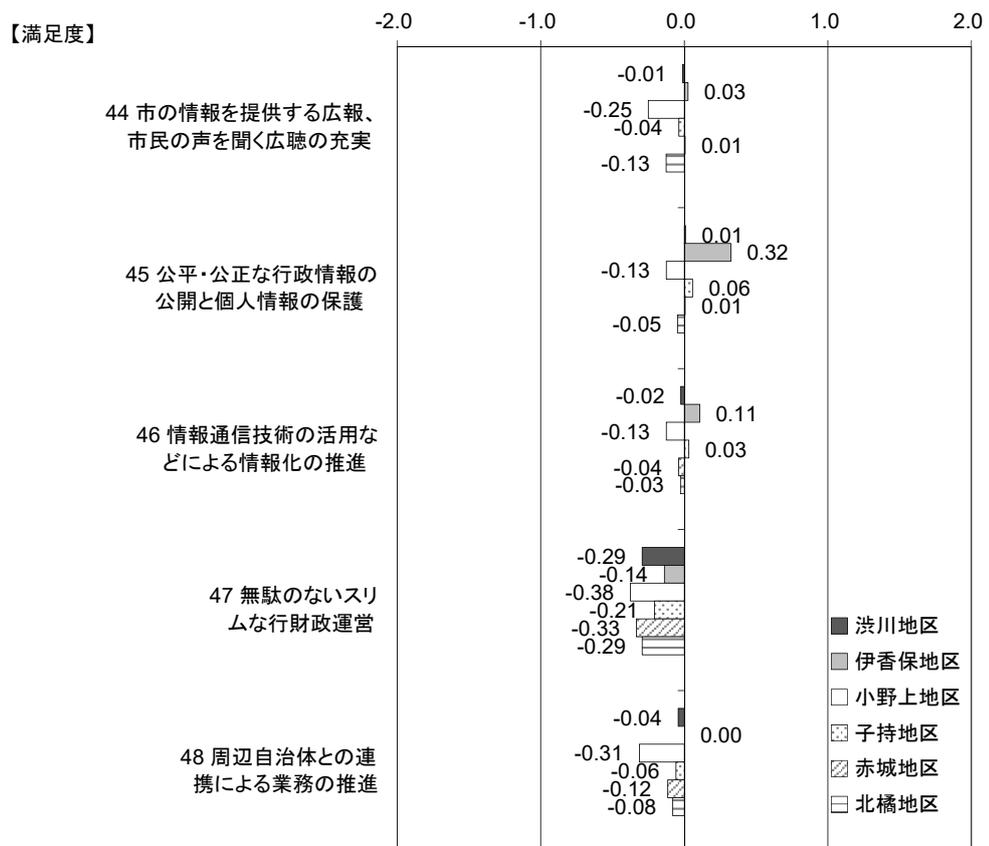
【満足度】

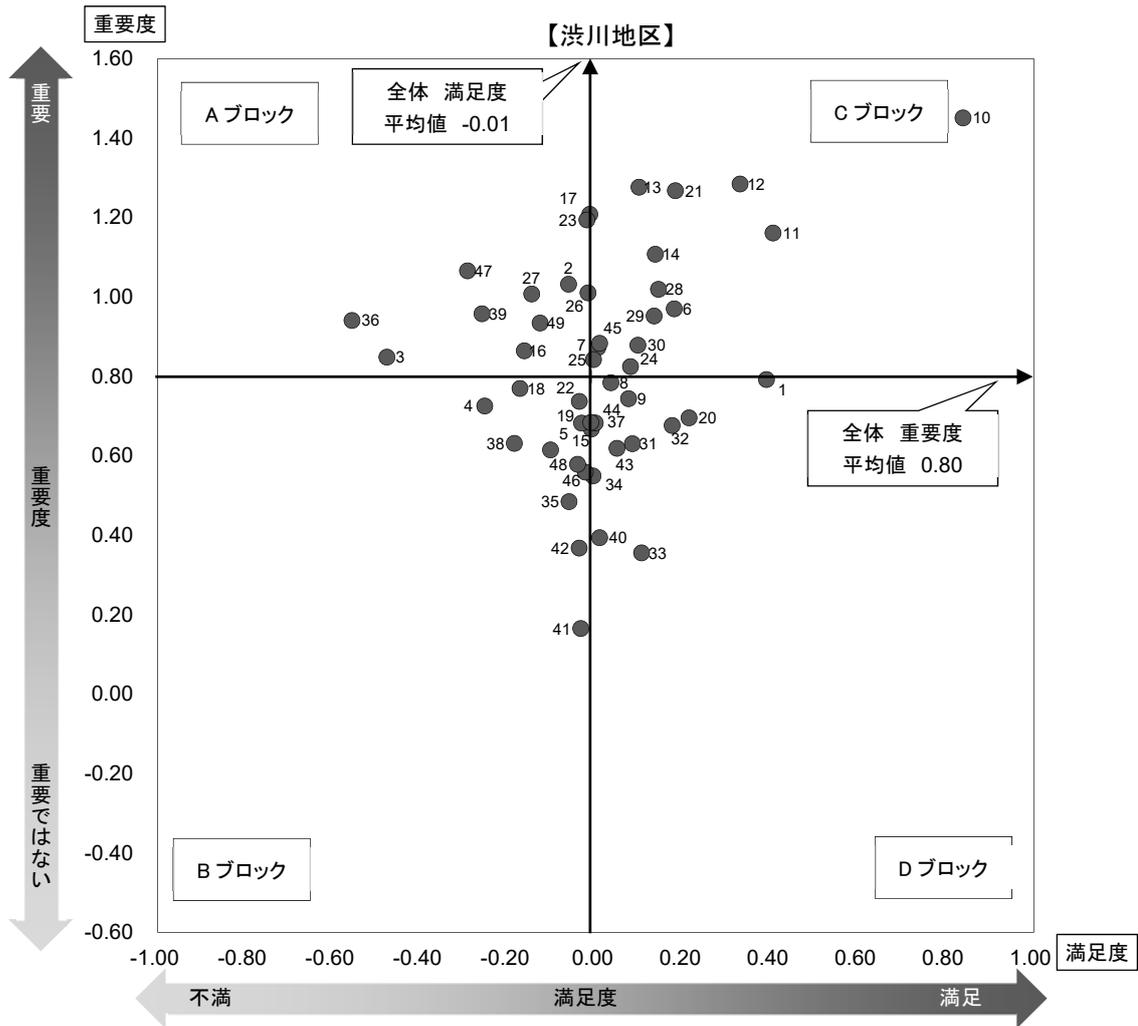


【重要度】

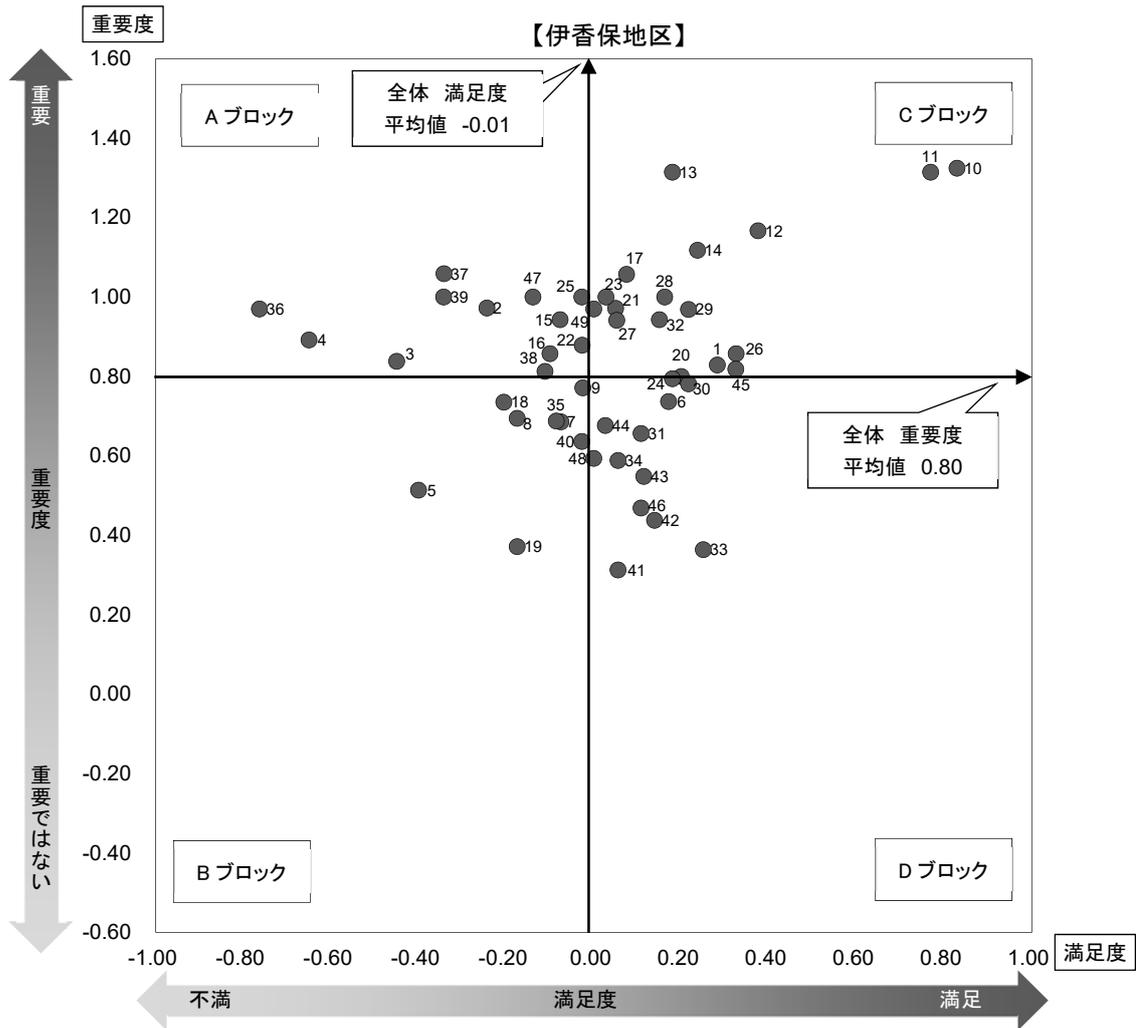


(8) 行財政分野



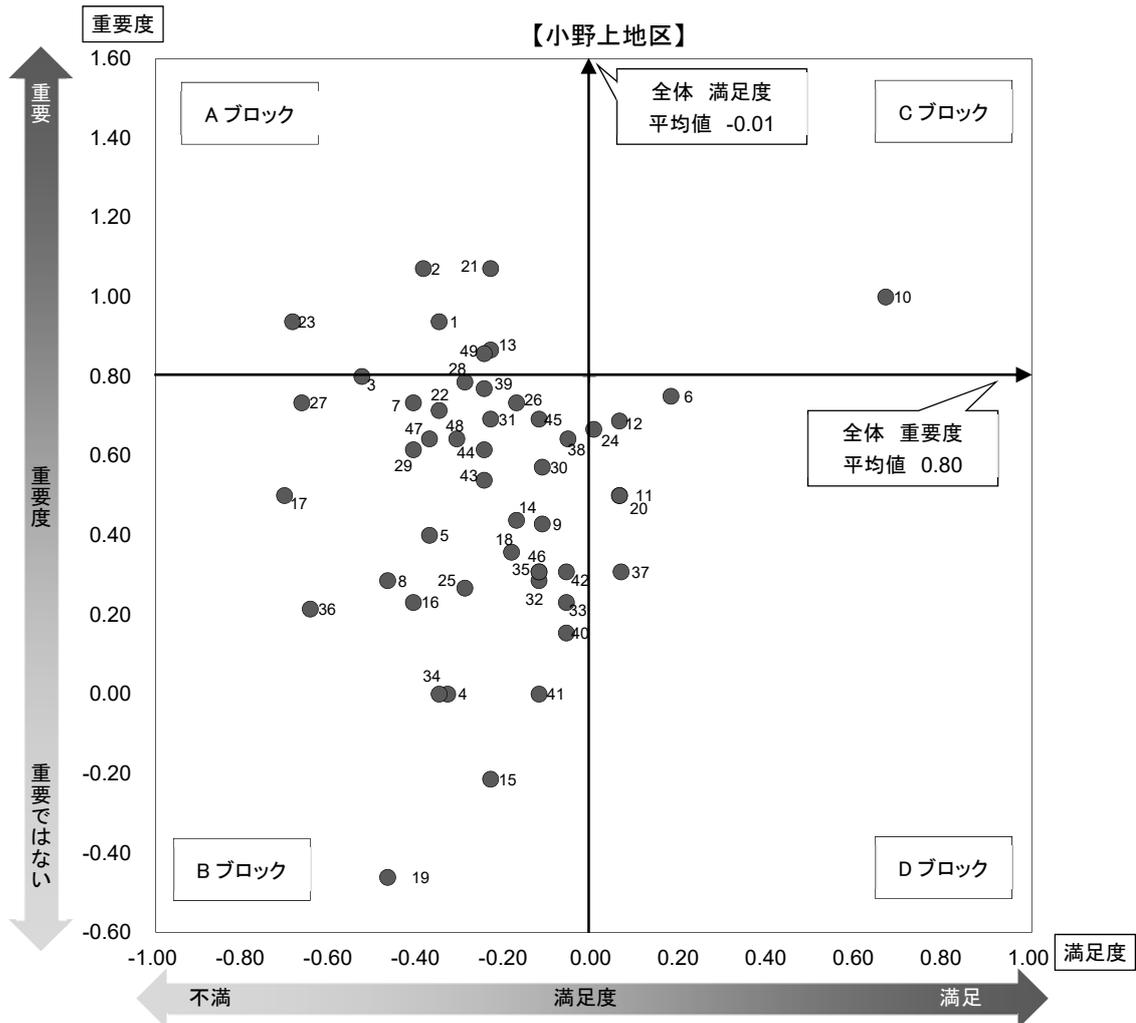


- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ol style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|

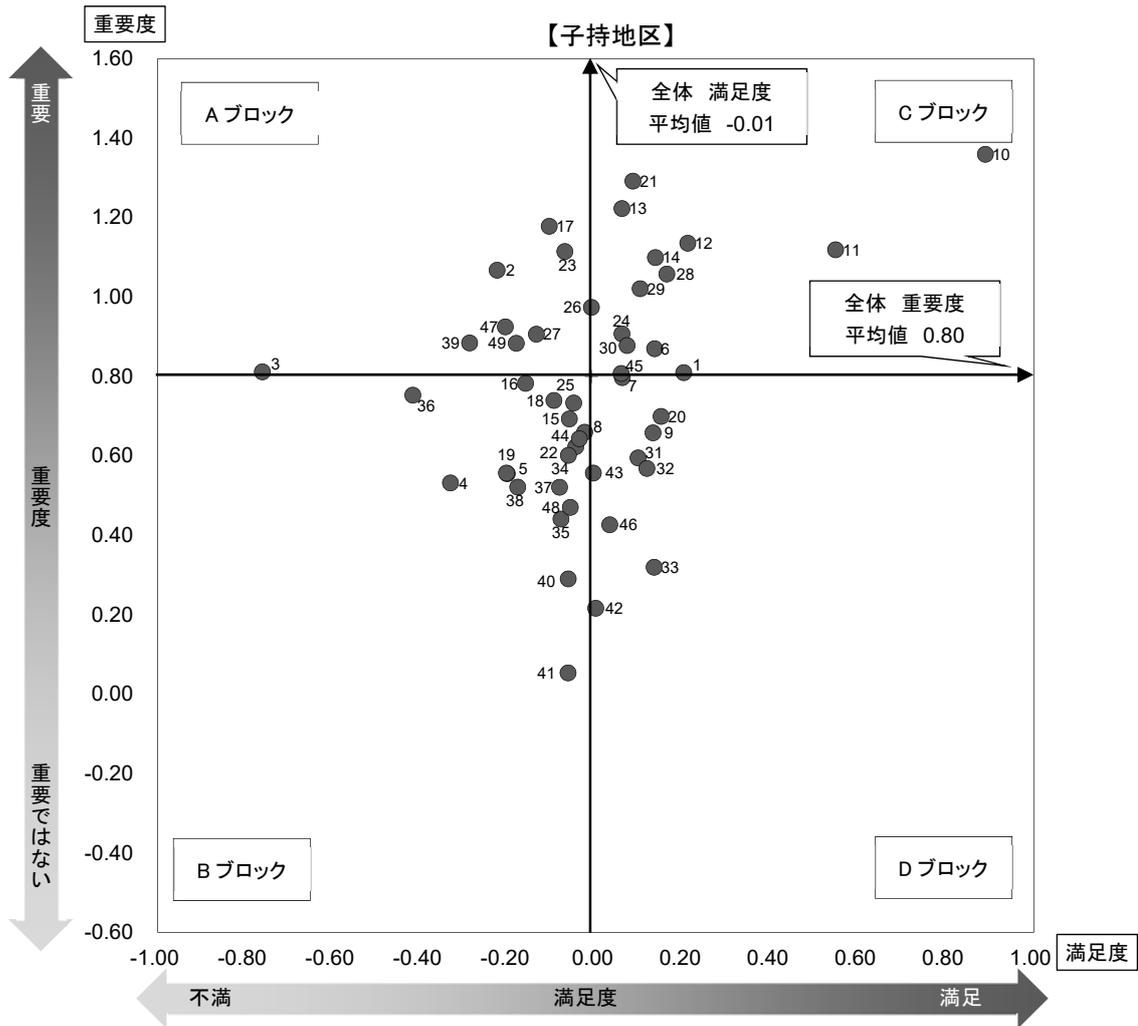


伊香保地区 満足度平均値 0.03	重要度平均値 0.83
-------------------	-------------

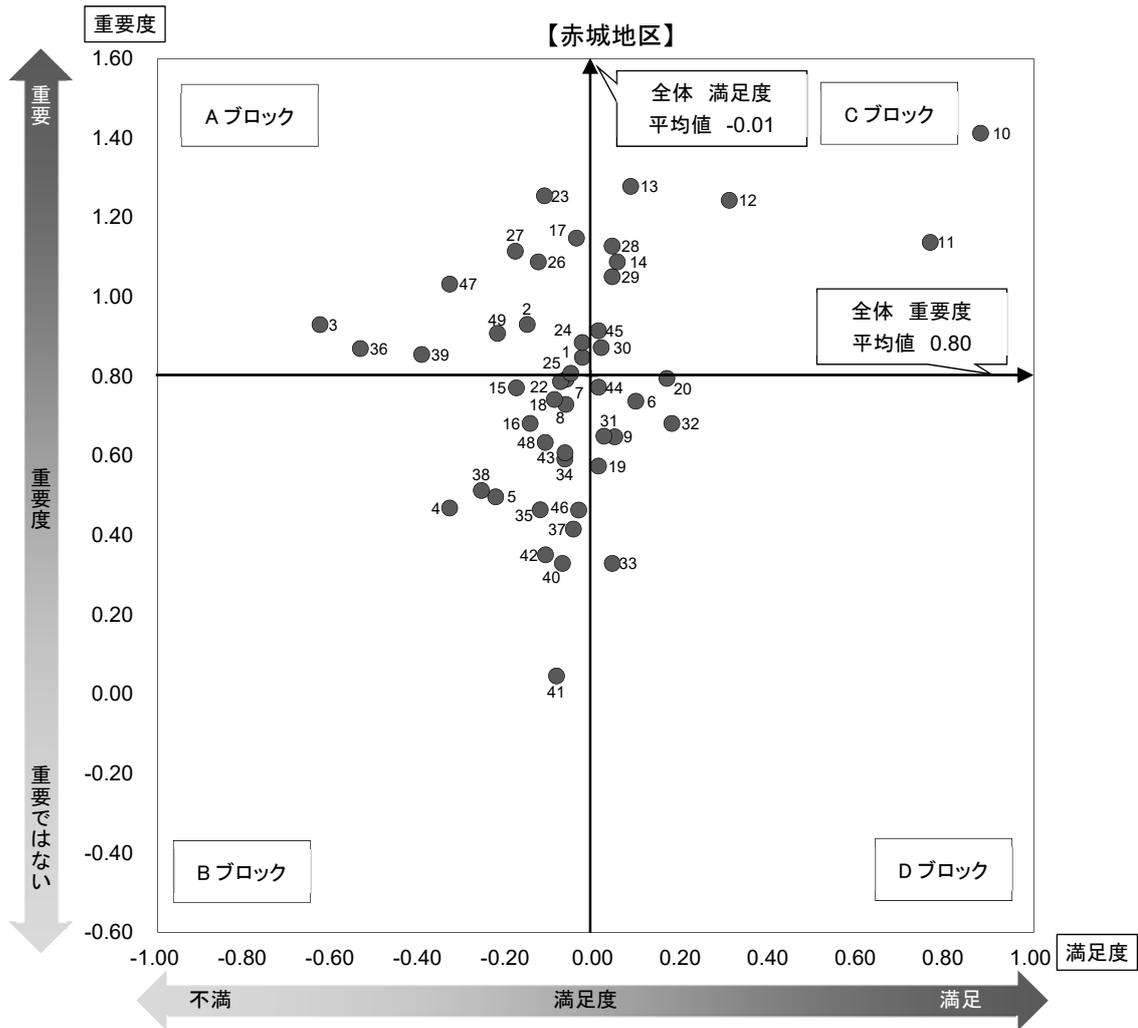
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ol style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|



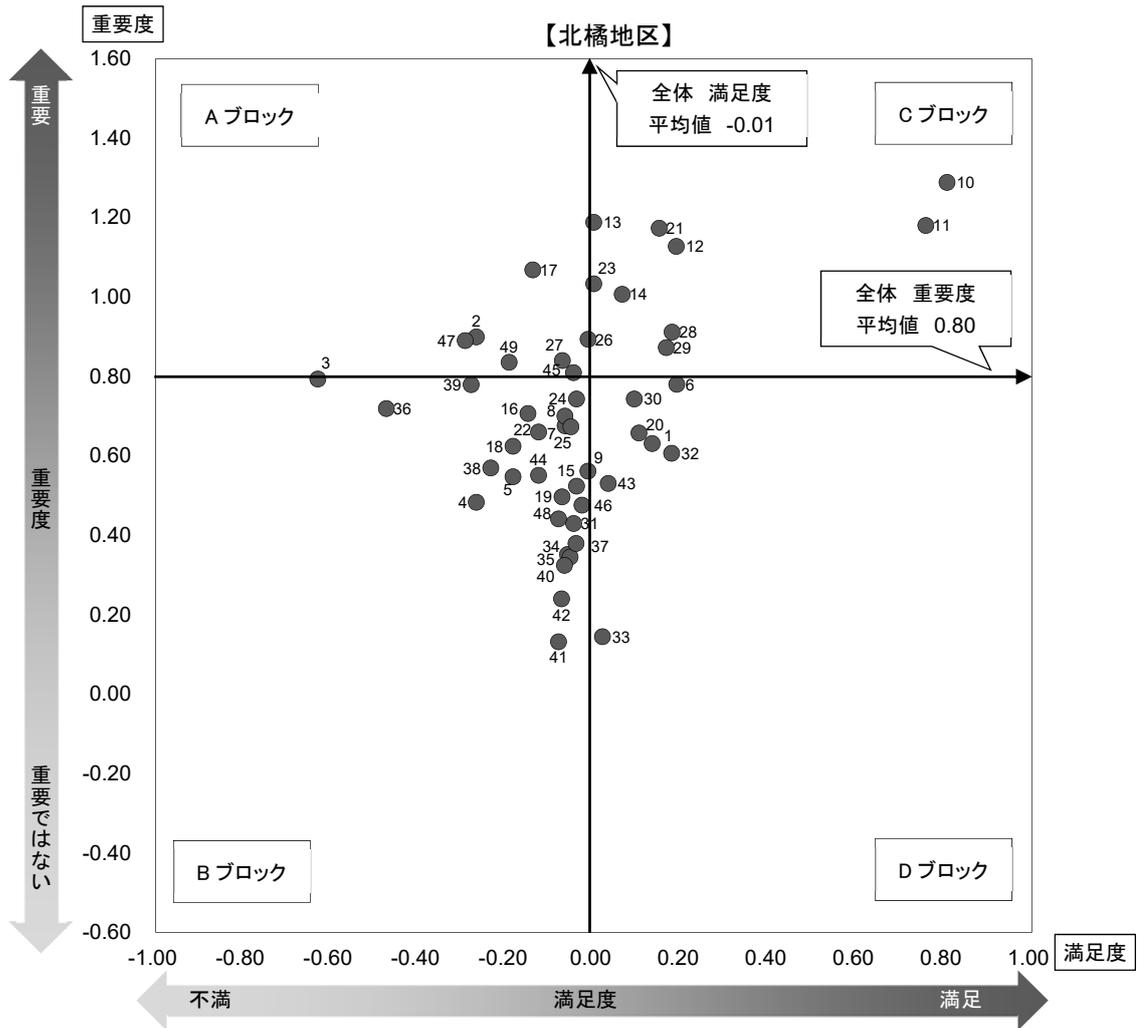
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|



- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ol style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|



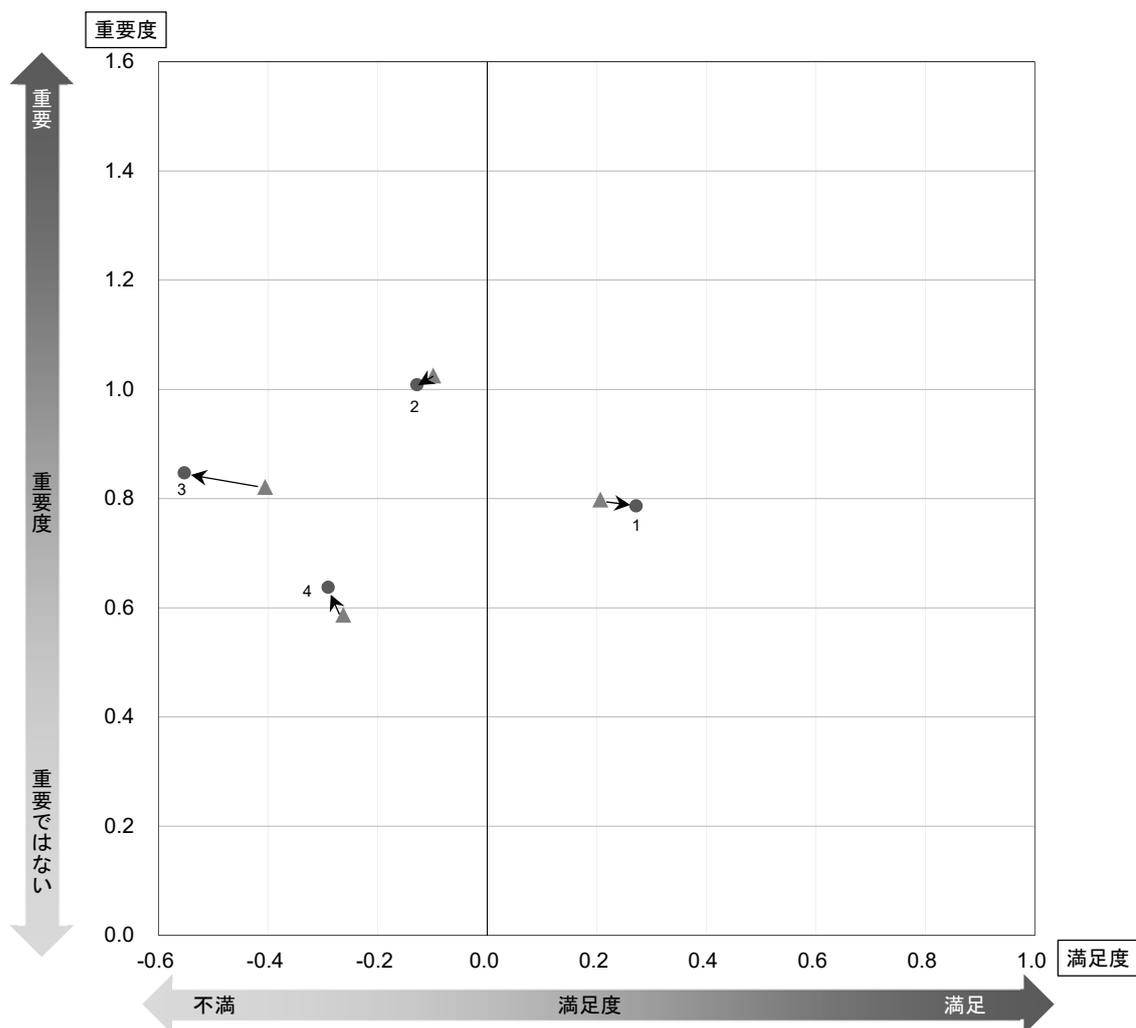
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|



- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 2 生活に身近な道路の整備 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立 4 良好な市街地の形成 5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進 9 自然景観や歴史的景観などを守る活動 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 11 公共下水道整備や水洗化の推進 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 14 交通安全対策の推進 15 移住・定住環境の充実 16 市街地のバリアフリー化の促進 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 19 身近な公園などの整備 20 すこやかな生活のための健康づくりの推進 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | <ol style="list-style-type: none"> 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実 30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 35 創業・活性化支援による工業の振興 36 商店街の活性化と商業の振興 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化 41 国内外の交流都市との交流連携の強化 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 47 無駄のないスリムな行財政運営 48 周辺自治体との連携による業務の推進 49 住宅などの耐震化への取組 |
|---|--|

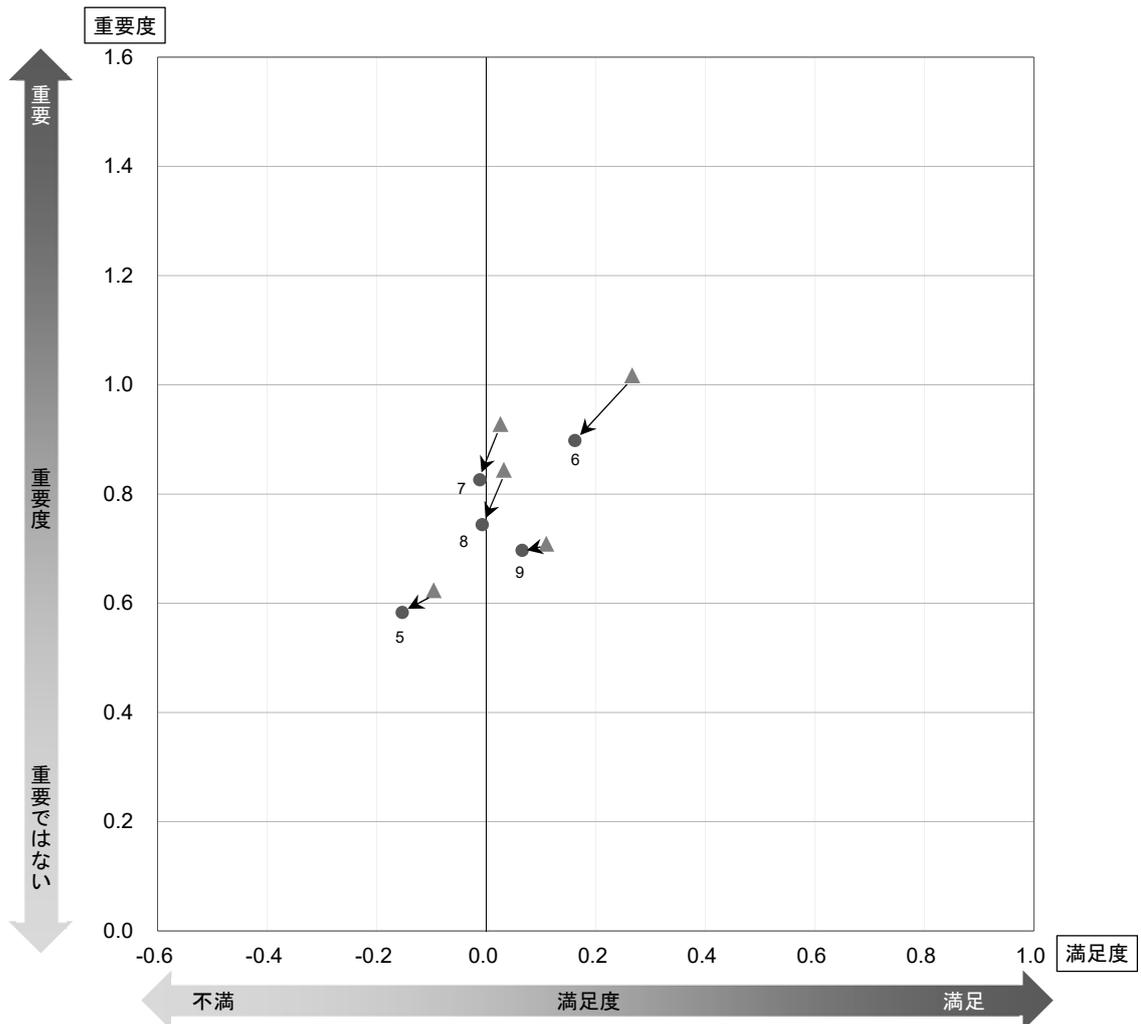
2. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値 マトリックスグラフ）

（1）都市基盤分野



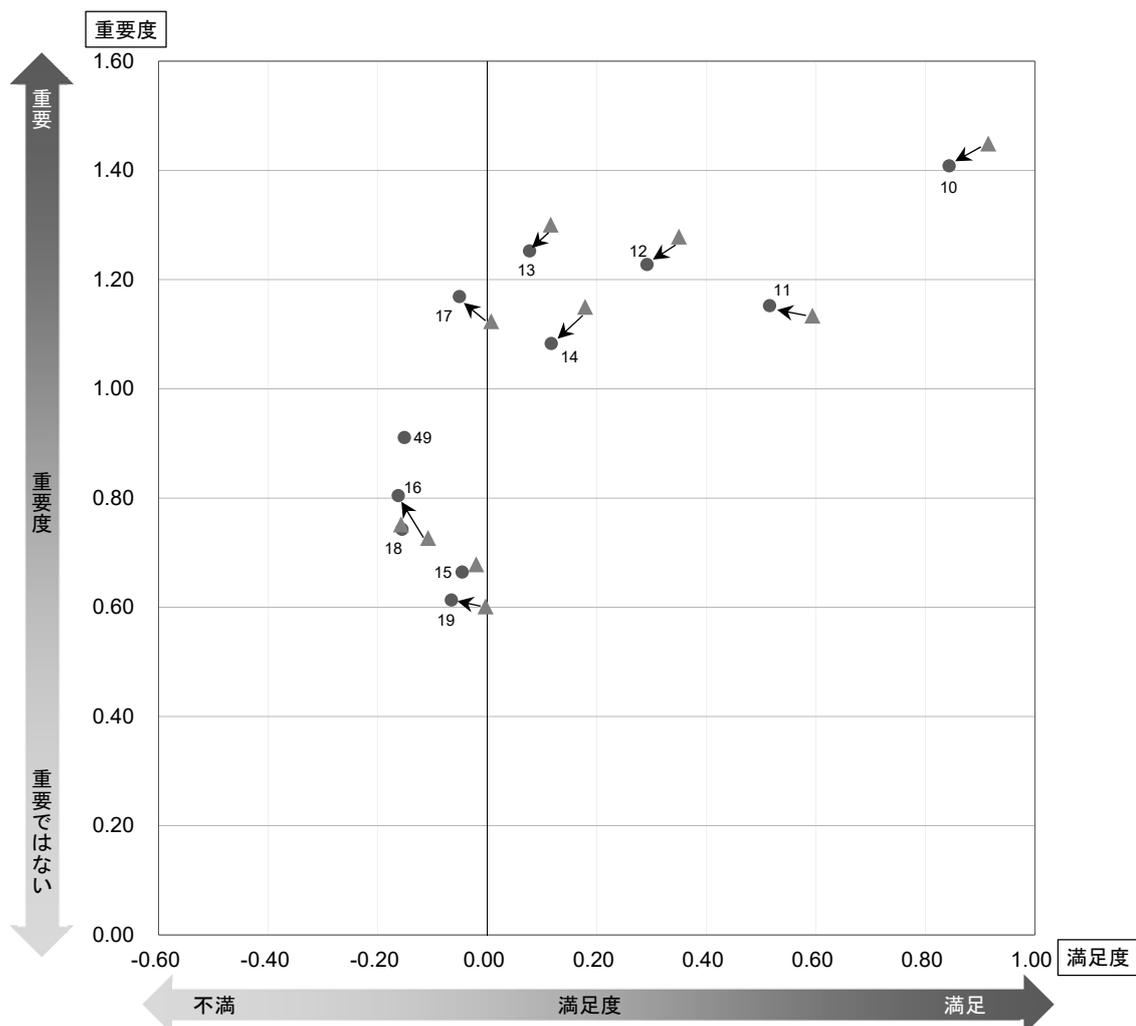
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	0.27	0.79	0.21	0.80
2 生活に身近な道路の整備	-0.13	1.01	-0.10	1.03
3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	-0.55	0.85	-0.41	0.82
4 良好な市街地の形成	-0.29	0.64	-0.26	0.59

(2) 自然環境分野



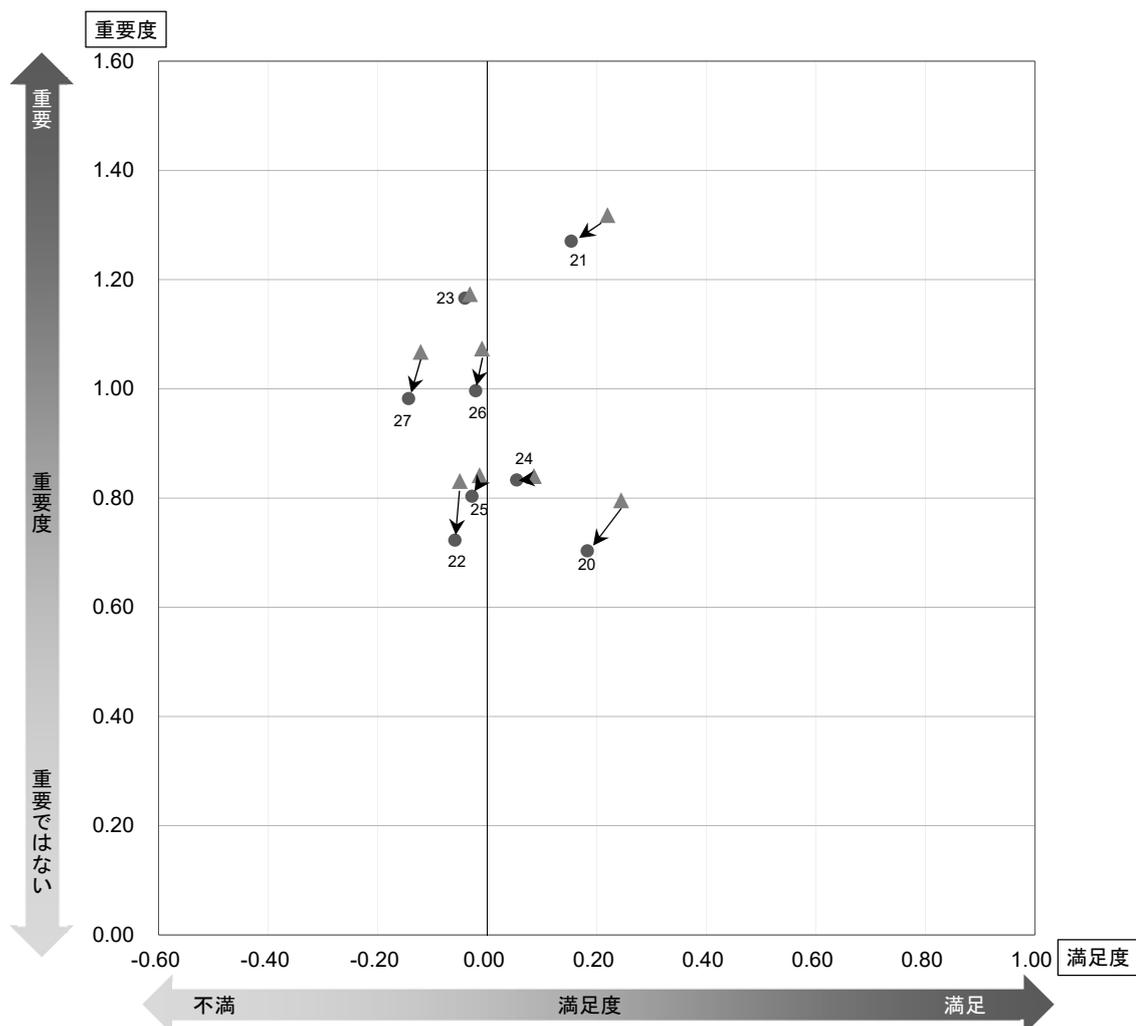
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
5 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	-0.15	0.58	-0.10	0.62
6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	0.16	0.90	0.27	1.02
7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	-0.01	0.83	0.03	0.93
8 河川の清掃などによる境愛護活動の推進	-0.01	0.74	0.03	0.84
9 自然景観や歴史的景観などを守る活動	0.07	0.70	0.11	0.71

(3) 生活環境分野



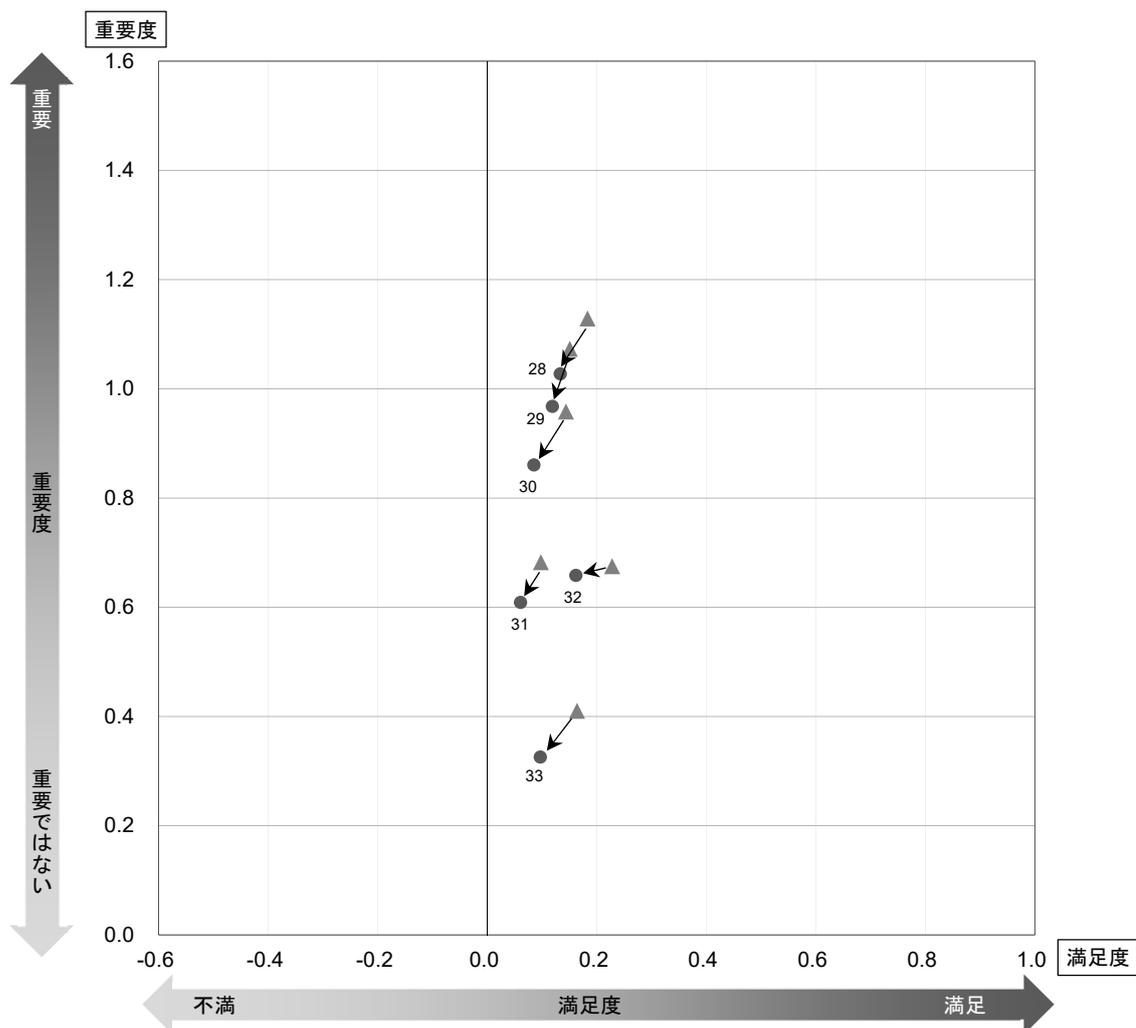
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	0.84	1.41	0.92	1.45
11 公共下水道整備や水洗化の推進	0.52	1.15	0.59	1.13
12 災害や火災から生活を守る消防力の強化	0.29	1.23	0.35	1.28
13 災害などの発生に備える防災機能の強化	0.08	1.25	0.12	1.30
14 交通安全対策の推進	0.12	1.08	0.18	1.15
15 移住・定住環境の充実	-0.05	0.66	-0.02	0.68
16 市街地のバリアフリー化の促進	-0.16	0.80	-0.11	0.73
17 安心して暮らせる防犯体制の整備	-0.05	1.17	0.01	1.12
18 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	-0.16	0.74	-0.16	0.75
19 身近な公園などの整備	-0.07	0.61	0.00	0.60
49 住宅などの耐震化への取組	-0.15	0.91	-	-

(4) 健康・福祉分野



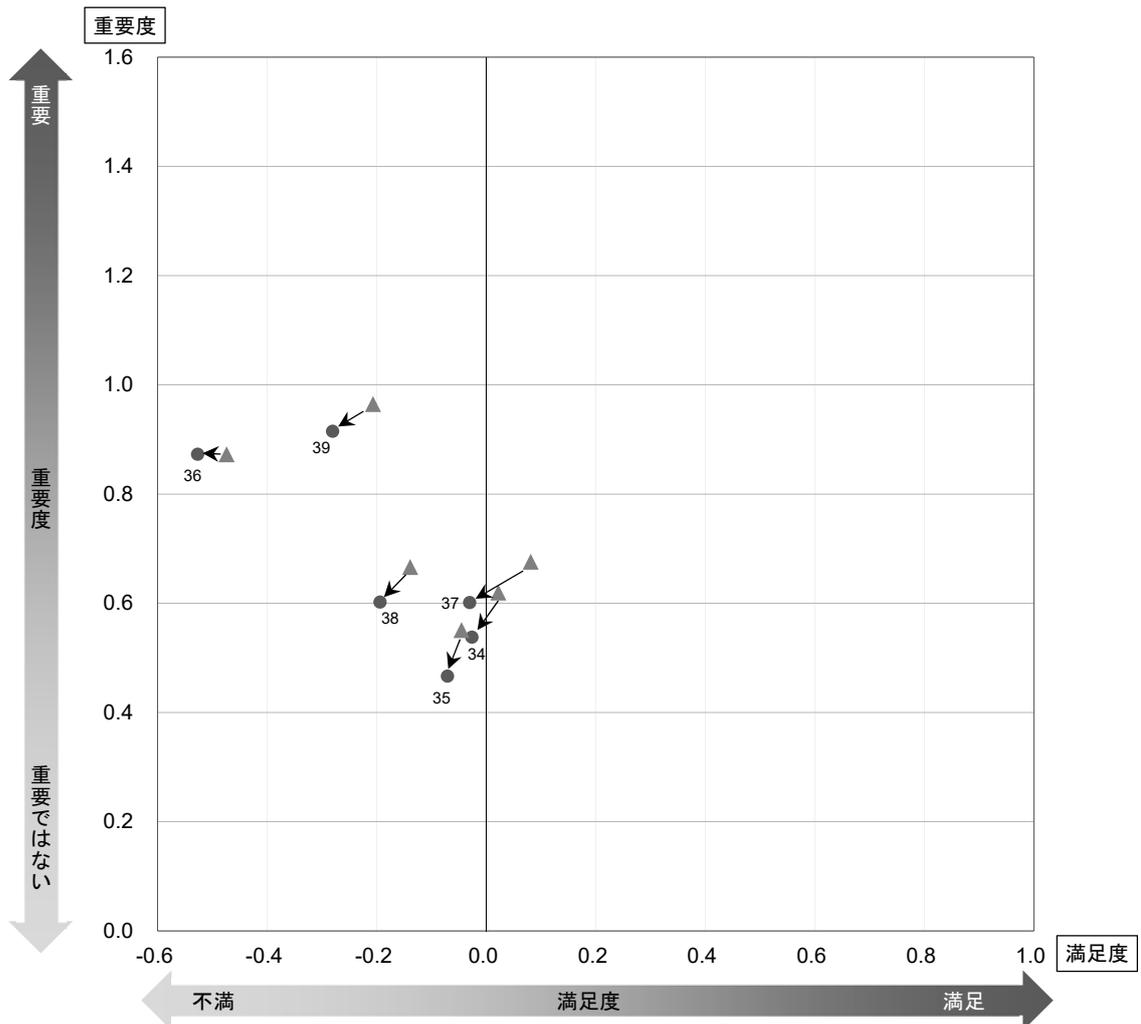
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
20 すこやかな生活のための健康づくりの推進	0.18	0.70	0.24	0.80
21 市民が安心して受診できる医療体制の充実	0.15	1.27	0.22	1.32
22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	-0.06	0.72	-0.05	0.83
23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	-0.04	1.17	-0.03	1.17
24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.05	0.83	0.09	0.84
25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	-0.03	0.80	-0.01	0.84
26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	-0.02	1.00	-0.01	1.07
27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進	-0.14	0.98	-0.12	1.07

(5) 教育・文化・スポーツ分野



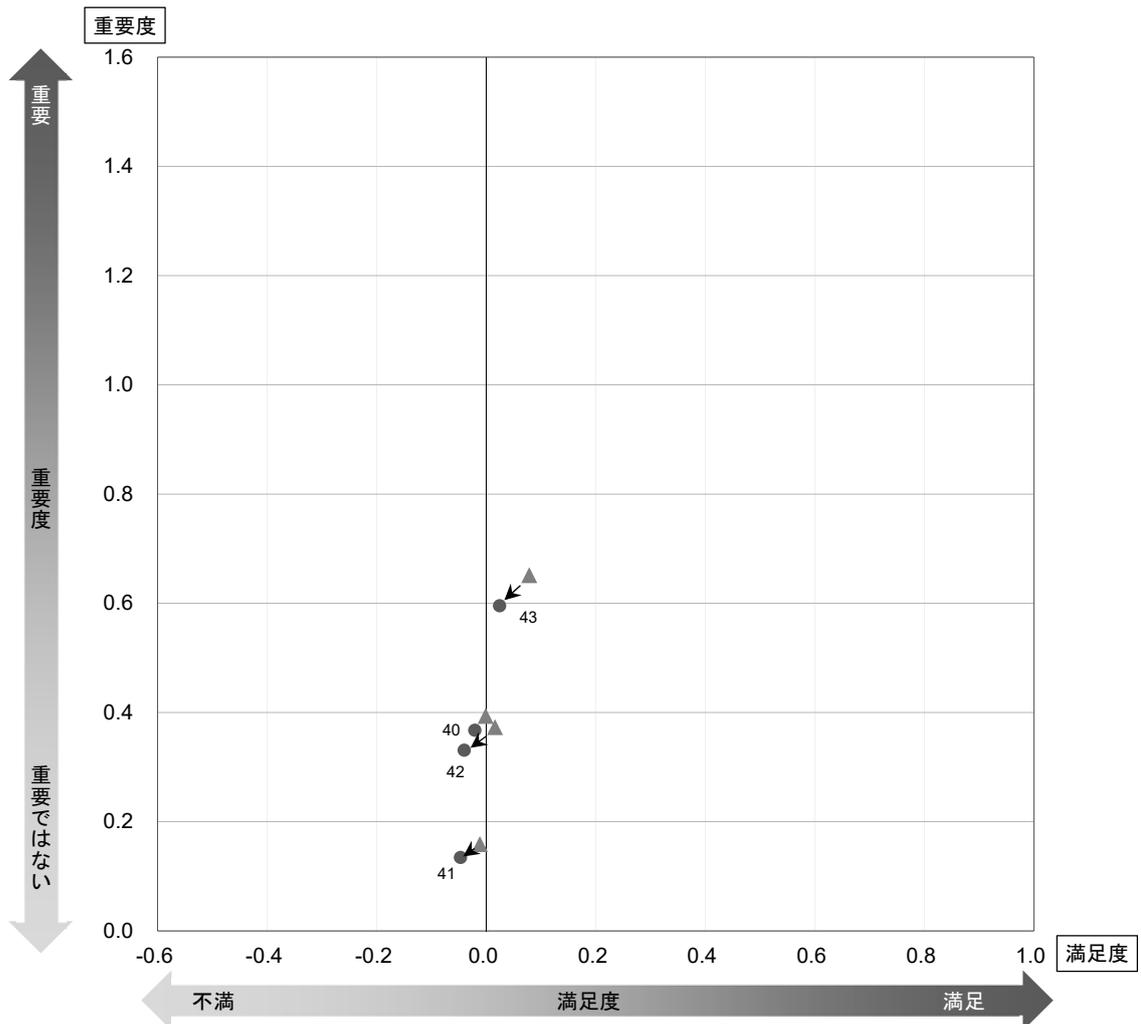
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
28 幼稚園、小・中学校の教育の充実	0.13	1.03	0.18	1.13
29 幼稚園、小・中学校の施設の充実	0.12	0.97	0.15	1.07
30 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	0.09	0.86	0.14	0.96
31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	0.06	0.61	0.10	0.68
32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	0.16	0.66	0.23	0.68
33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	0.10	0.33	0.16	0.41

(6) 産業分野



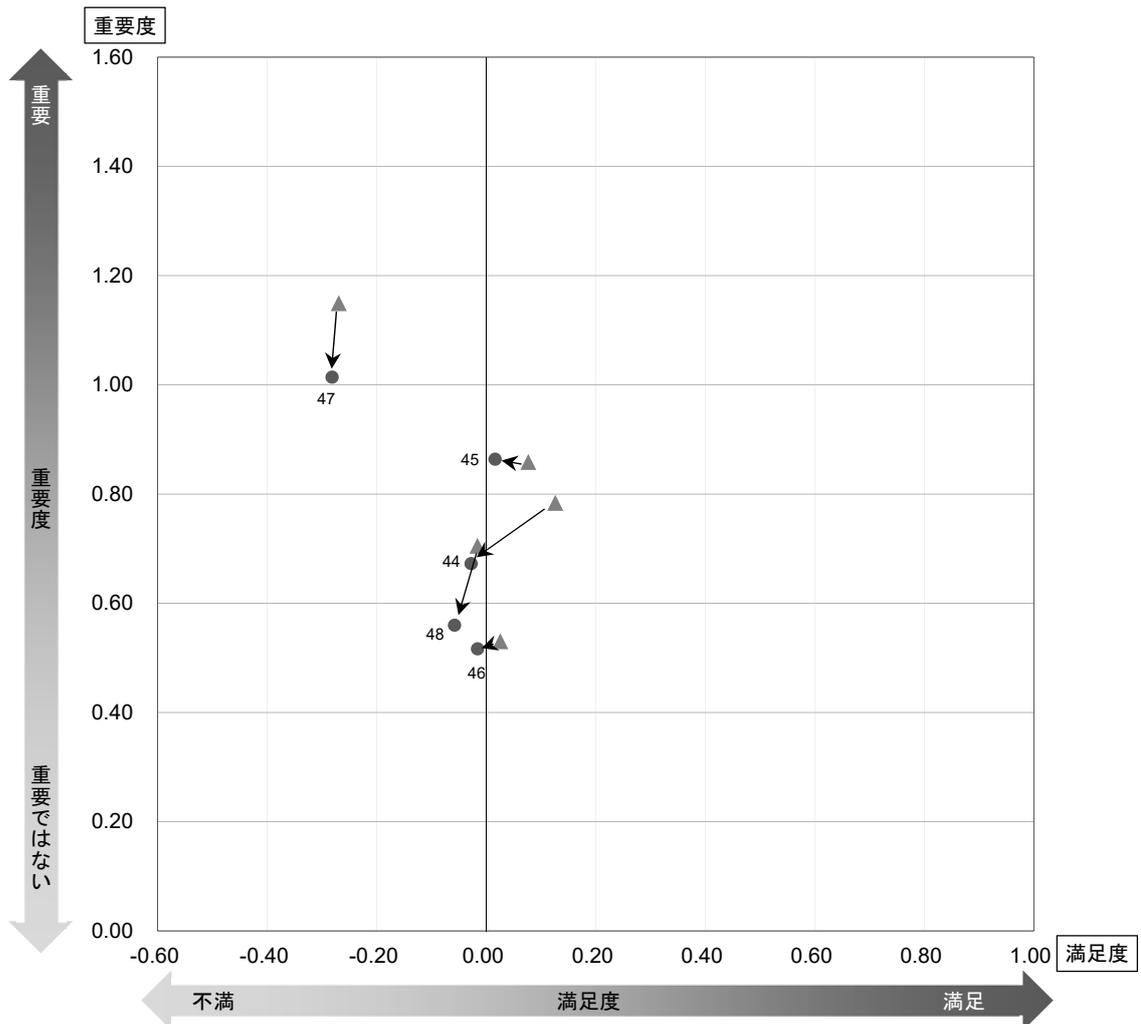
	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
34 豊かな自然を活かした農林業の振興	-0.03	0.54	0.02	0.62
35 創業・活性化支援による工業の振興	-0.07	0.47	-0.04	0.55
36 商店街の活性化と商業の振興	-0.53	0.87	-0.47	0.87
37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	-0.03	0.60	0.08	0.68
38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	-0.19	0.60	-0.14	0.67
39 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	-0.28	0.91	-0.21	0.96

(7) コミュニティ・市民参加分野



	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
40 地域づくり団体などの活動基盤の強化	-0.02	0.37	0.00	0.39
41 国内外の交流都市との交流連携の強化	-0.05	0.13	-0.01	0.16
42 あらゆる分野での男女共同参画の推進	-0.04	0.33	0.02	0.37
43 人権意識の向上と平和な社会の推進	0.02	0.60	0.08	0.65

(8) 行財政分野



	今回調査 ●		前回調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	-0.03	0.67	0.13	0.78
45 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	0.02	0.86	0.08	0.86
46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	-0.02	0.52	0.03	0.53
47 無駄のないスリムな行財政運営	-0.28	1.01	-0.27	1.15
48 周辺自治体との連携による業務の推進	-0.06	0.56	-0.02	0.71

3. 市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較

(1) 目的

市民の幅広いニーズや意見を把握するため、市民意識調査及び中学生・高校生意識調査を統合し、「10代」「20代から50代」「60代以上」の3区分に分け、比較分析を行いました。

(2) 設問比較対照表

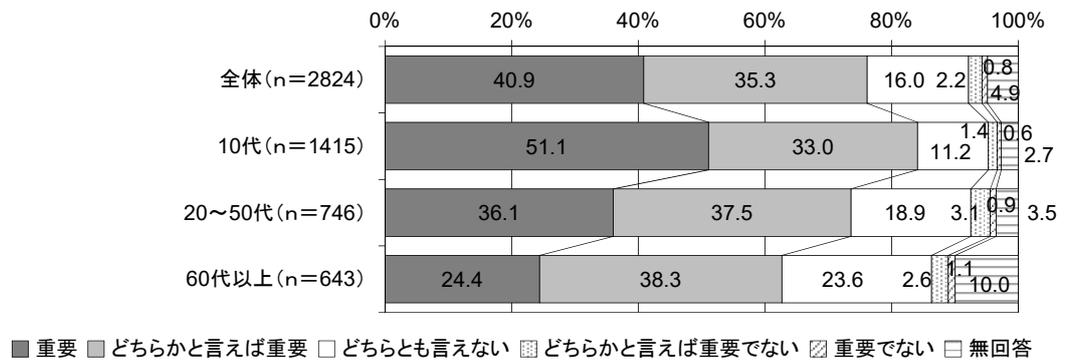
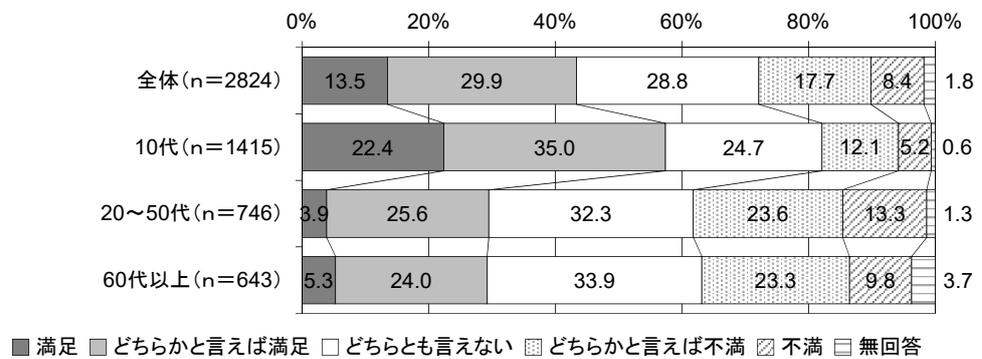
No.	設問内容		
1	市の取組の満足度・重要度		
	No.	市民意識調査 問4	中学生・高校生意識調査 問1
	①	2 生活に身近な道路の整備	1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる
	②	3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している
	③	7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	3 森林や河川などの自然環境が豊かである
	④	4 良好な市街地の形成	4 市街地が整備され、快適に暮らせる
	⑤	13 災害などの発生に備える防災機能の強化	5 災害などに備える防災機能が整備されている
	⑥	17 安心して暮らせる防犯体制の整備	6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている
	⑦	19 身近な公園などの整備	7 身近な公園や広場が整備されている
	⑧	21 市民が安心して受診できる医療体制の充実	8 病院・診療所などの医療サービスが充実している
	⑨	23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
	⑩	24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑪	25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑫	28 幼稚園、小・中学校の教育の充実	10 学校の教育や施設が充実している
	⑬	29 幼稚園、小・中学校の施設の充実	
	⑭	32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	11 地域の祭など伝統文化が豊かである
	⑮	36 商店街の活性化と商業の振興	12 日々の買い物が便利である
	⑯	37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	13 観光地やレジャー施設が充実している
	⑰	38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	
⑱	40 地域づくり団体などの活動基盤の強化	14 地域のボランティア団体などが充実している	
⑲	44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	15 市からの情報が充実している	
2	取り組むべき観光振興		
	市民意識調査 問7	中学生・高校生意識調査 問3	

(3) 比較結果

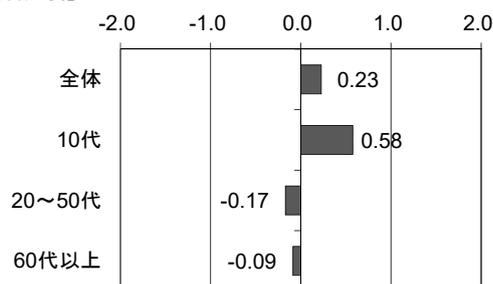
No.1 市の取組の満足度・重要度

1-① 市民_2 生活に身近な道路の整備

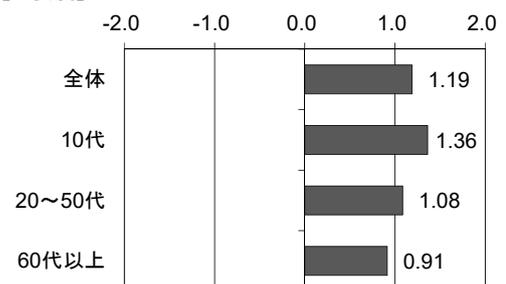
中高生_1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる



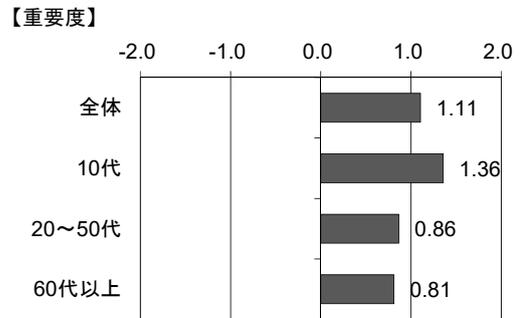
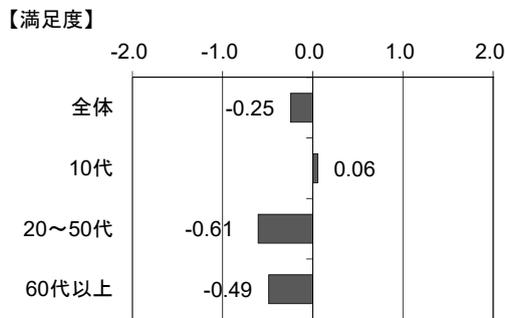
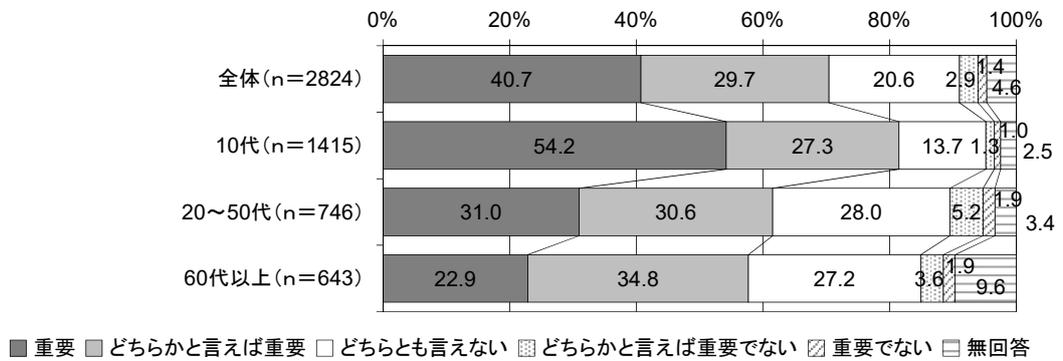
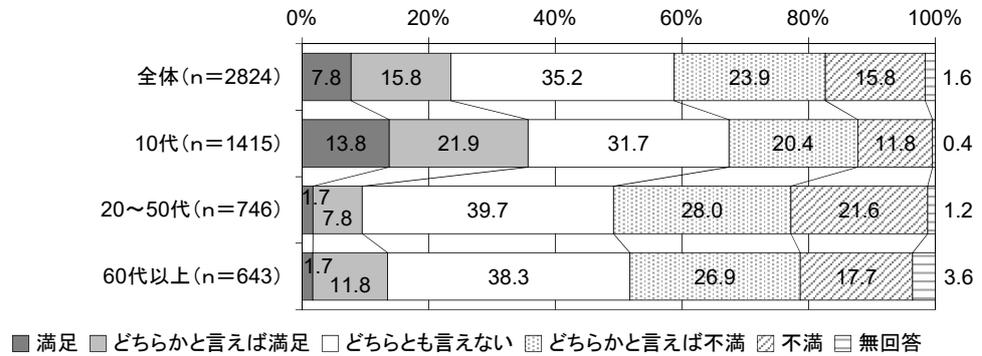
【満足度】



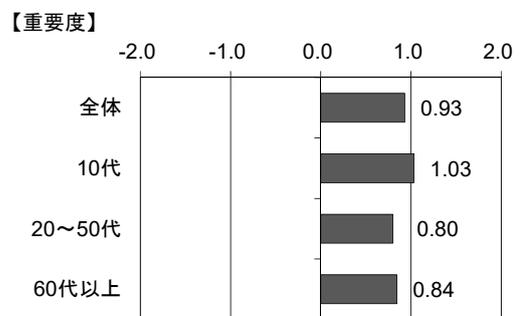
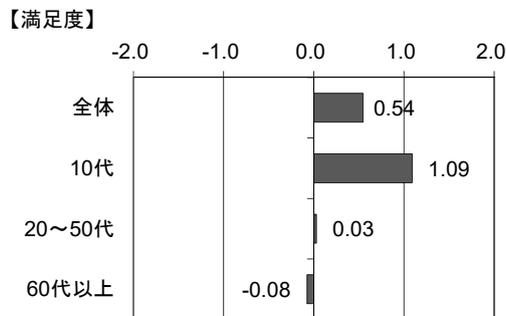
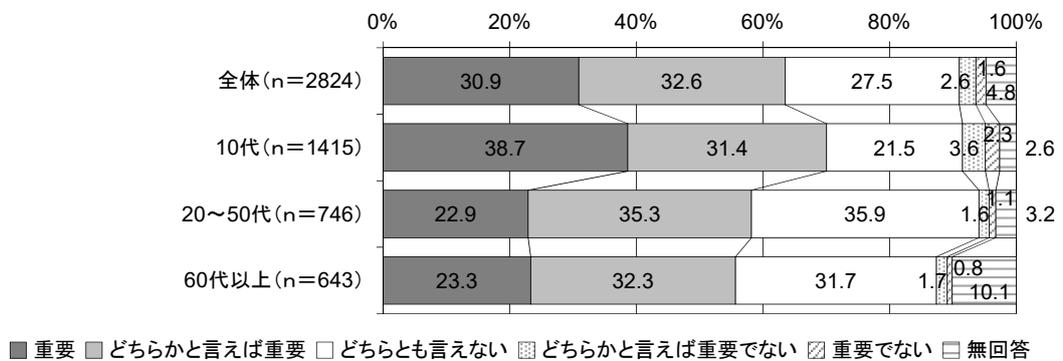
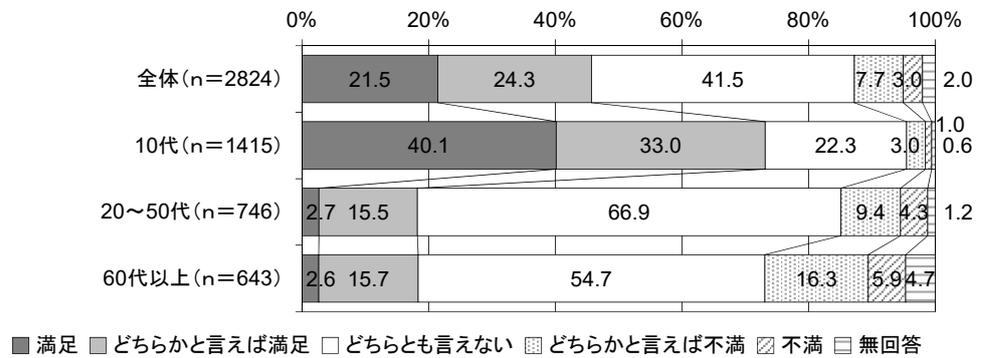
【重要度】



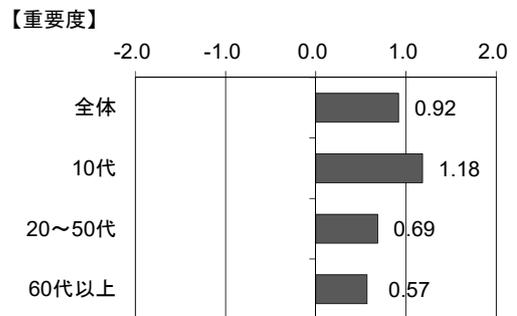
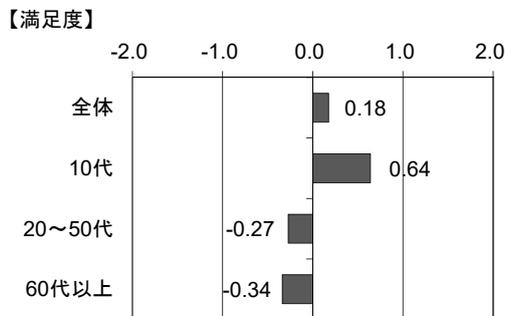
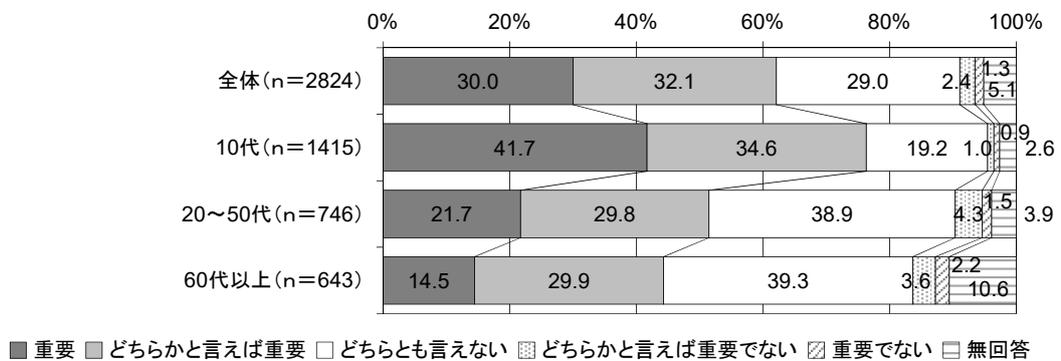
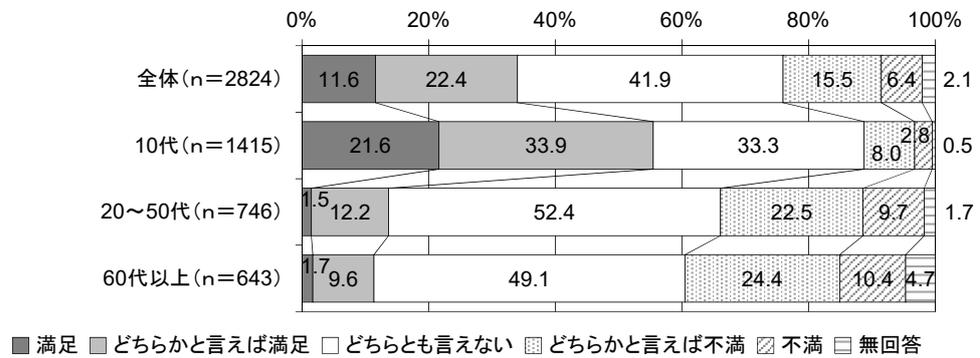
1-② 市民_3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立
 中高生_2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している



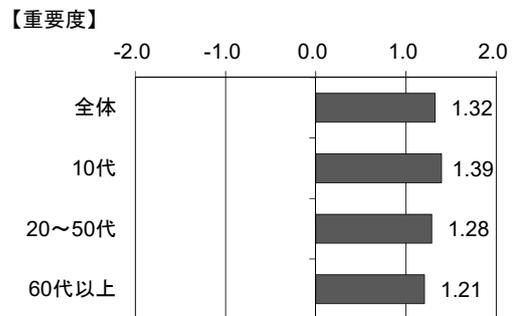
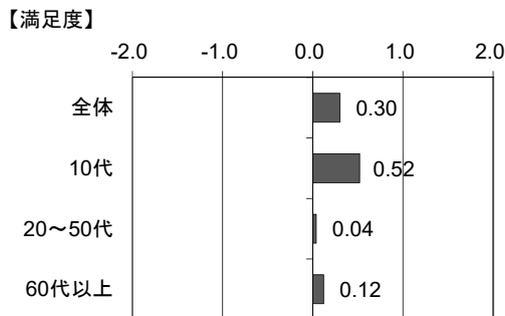
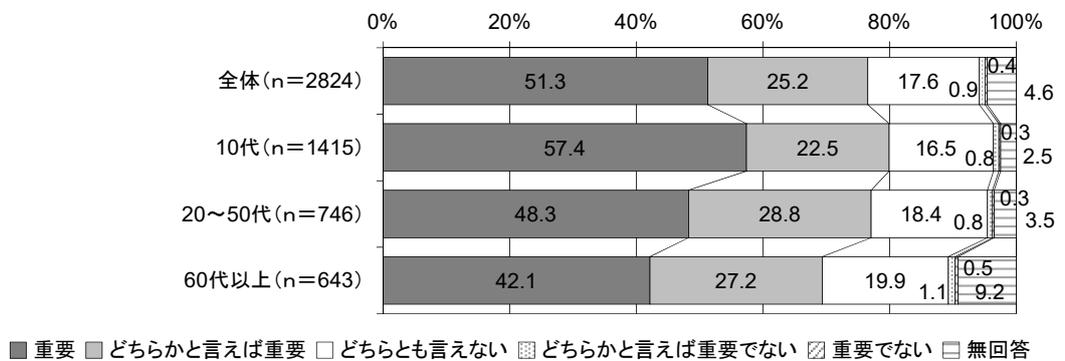
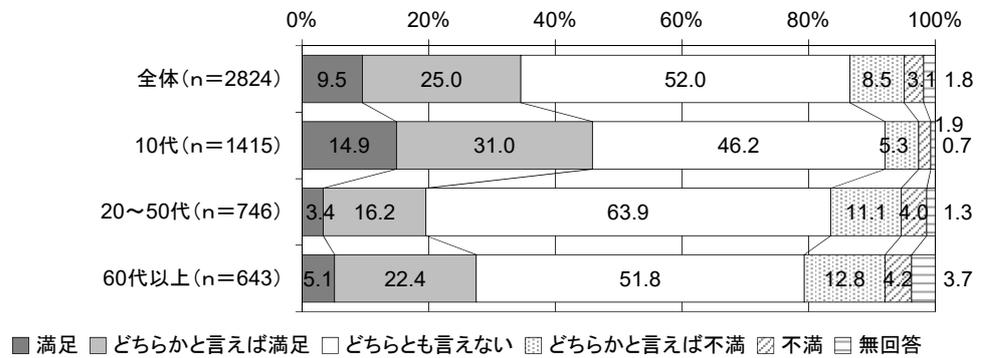
1-③ 市民_7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
 中高生_3 森林や河川などの自然環境が豊かである



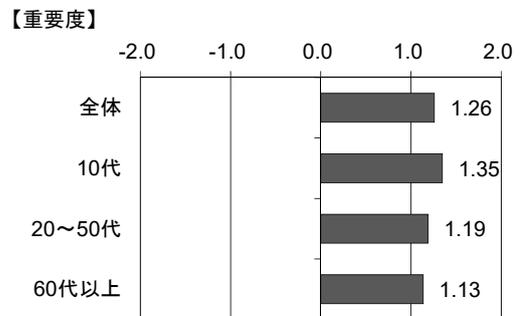
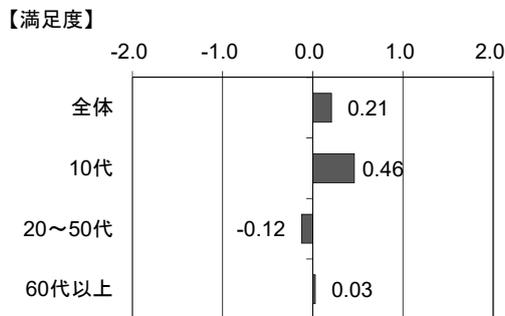
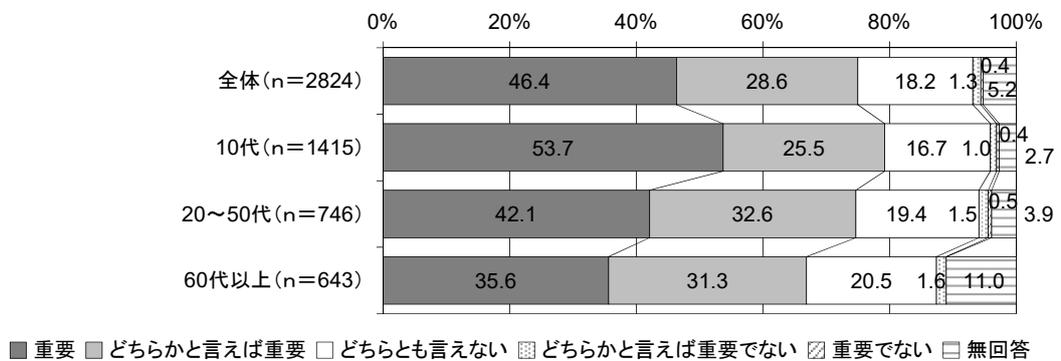
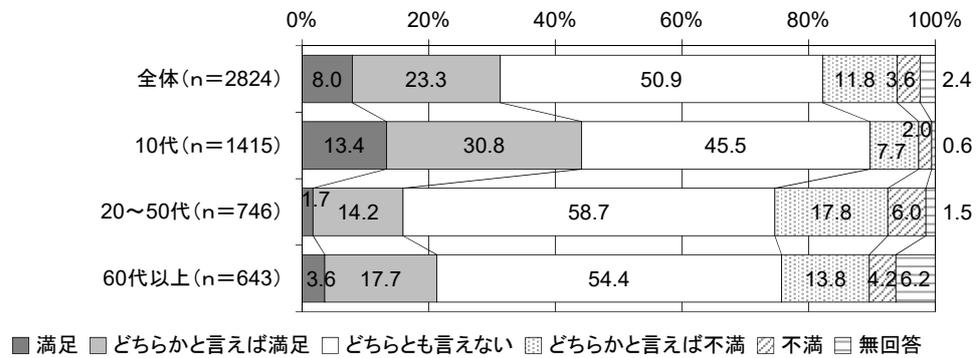
1-④ 市民_4 良好な市街地の形成
 中高生_4 市街地が整備され、快適に暮らせる



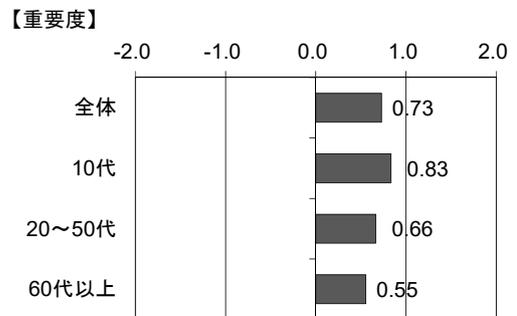
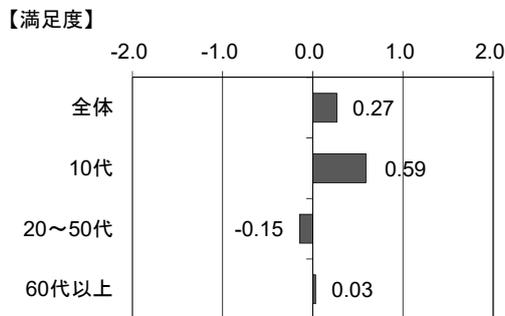
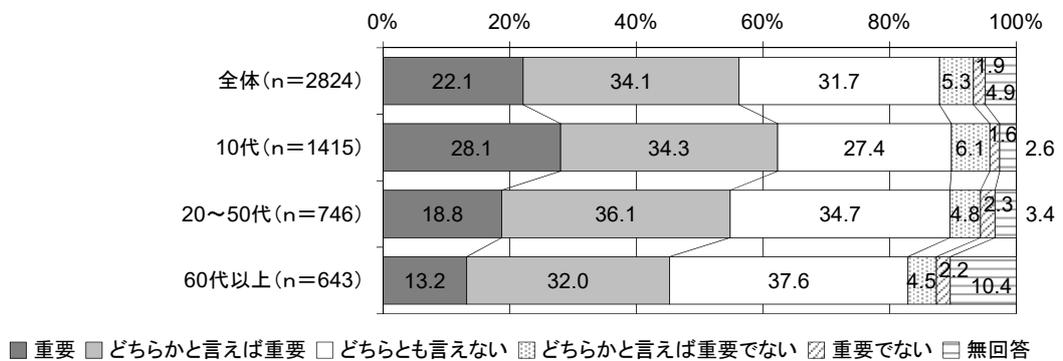
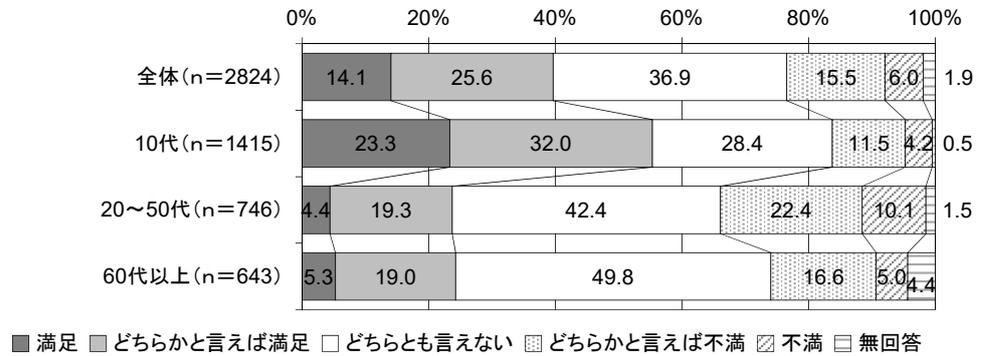
1-⑤ 市民_13 災害などの発生に備える防災機能の強化
 中高生_5 災害などに備える防災機能が整備されている



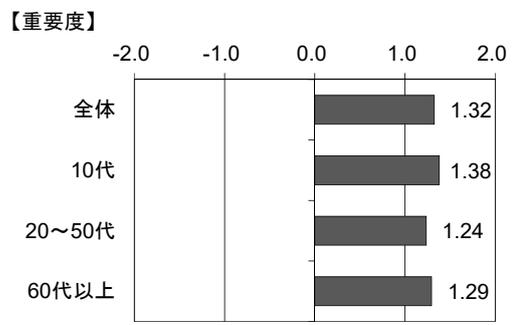
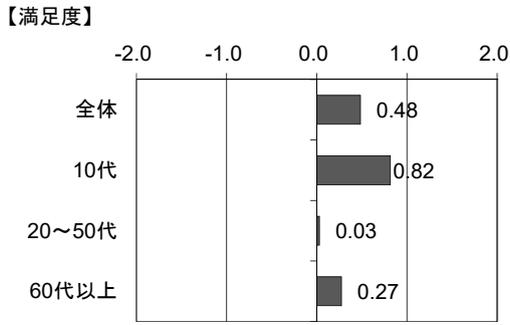
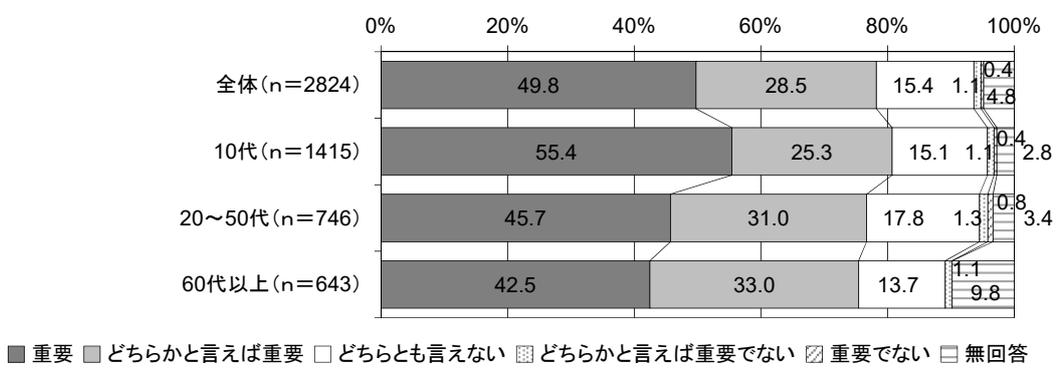
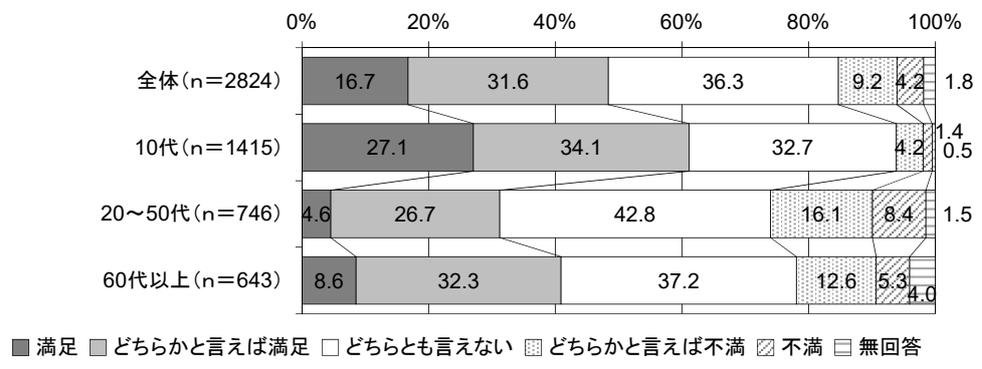
1-⑥ 市民_17 安心して暮らせる防犯体制の整備
 中高生_6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている



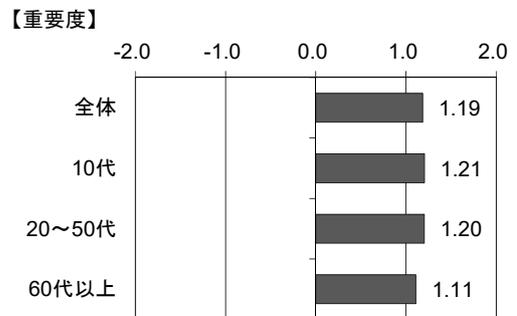
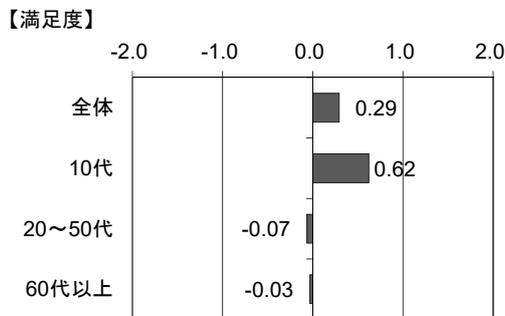
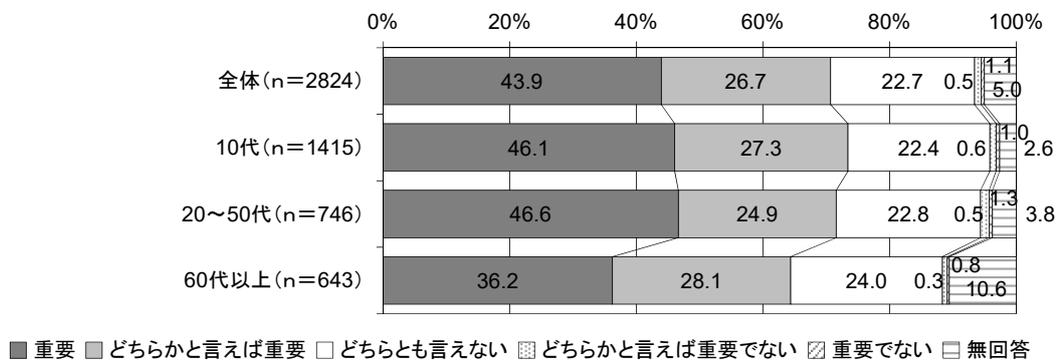
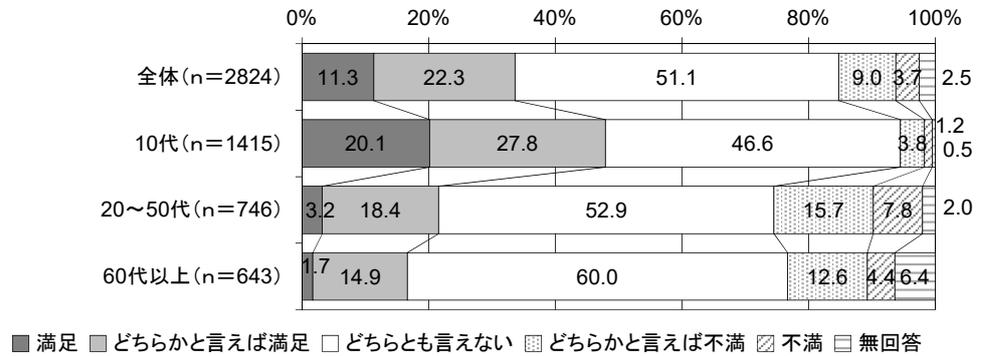
1-⑦ 市民_19 身近な公園などの整備
 中高生_7 身近な公園や広場が整備されている



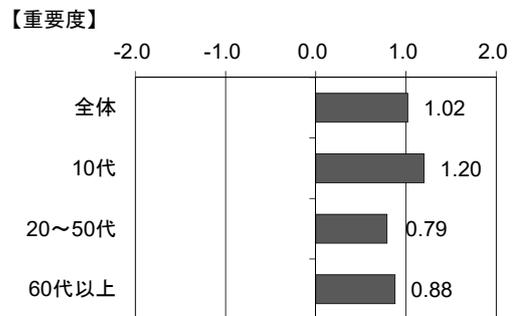
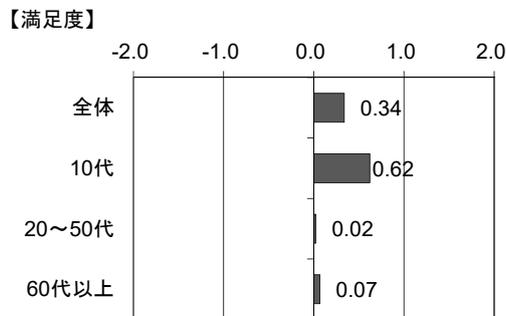
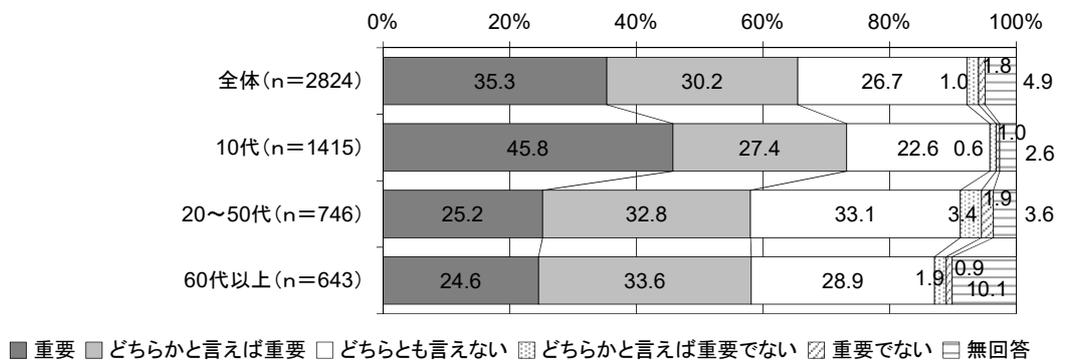
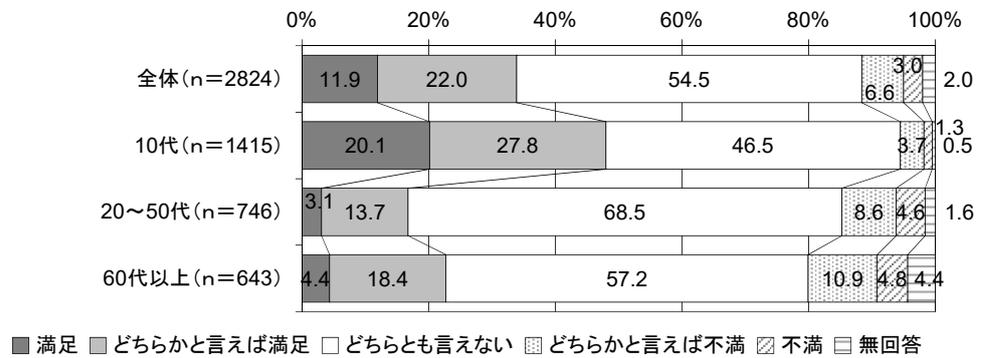
1-⑧ 市民_21 市民が安心して受診できる医療体制の充実
 中高生_8 病院・診療所などの医療サービスが充実している



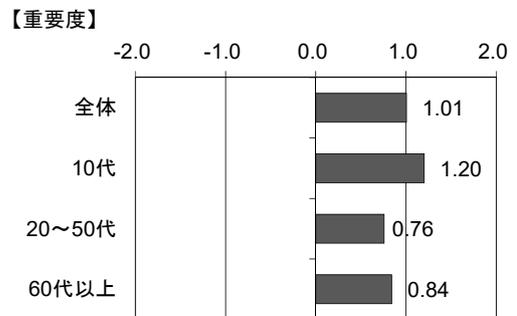
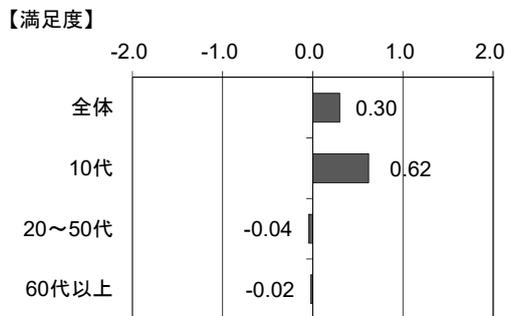
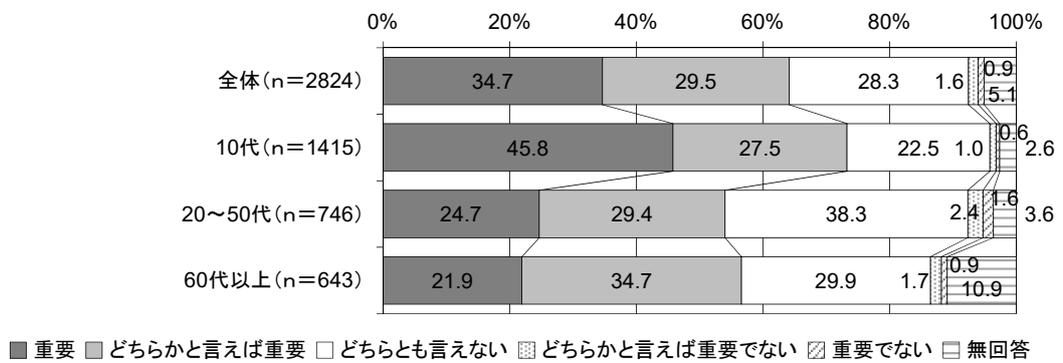
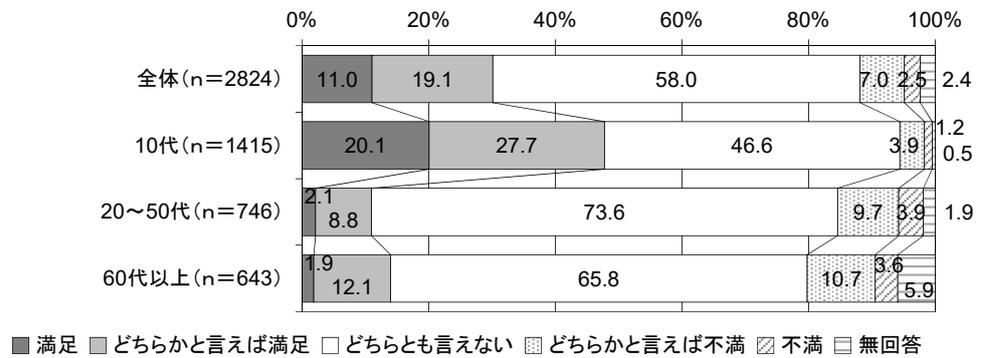
1-⑨ 市民_23 安心して子どもを産み育てられる環境の充実
 中高生_9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



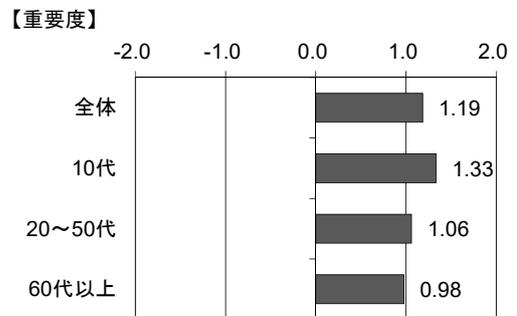
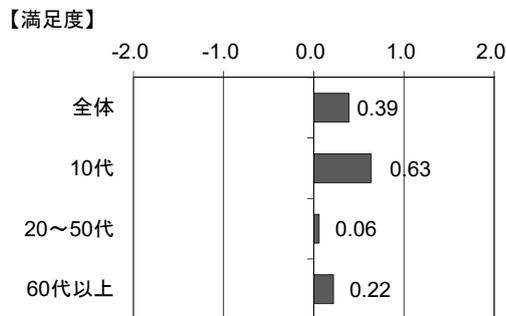
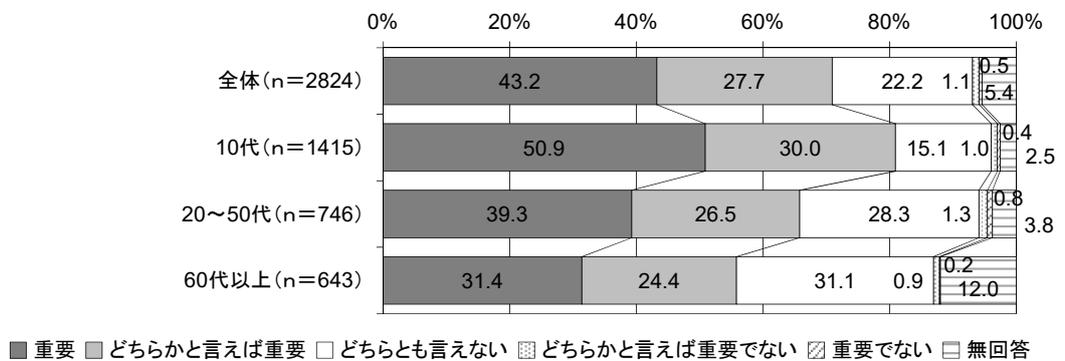
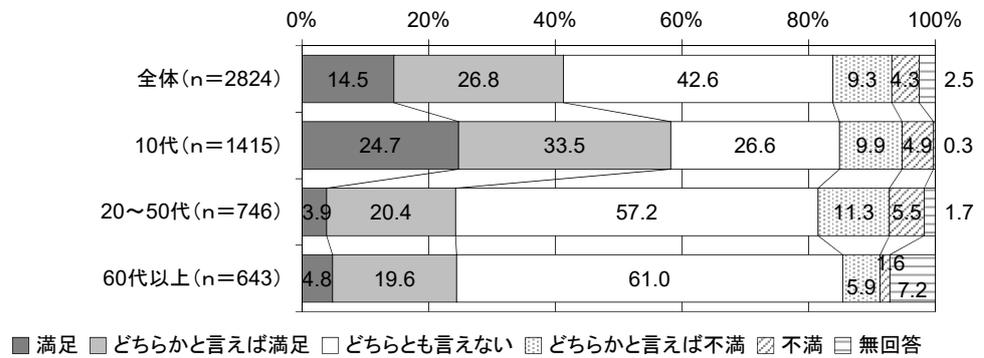
1-⑩ 市 民_24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
 中高生_9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



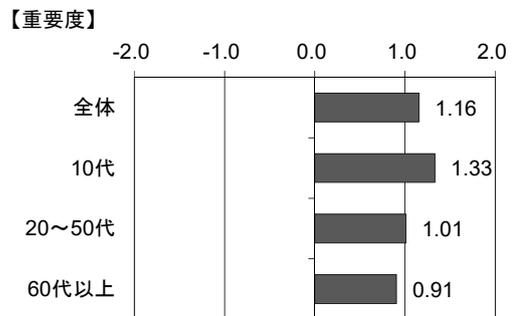
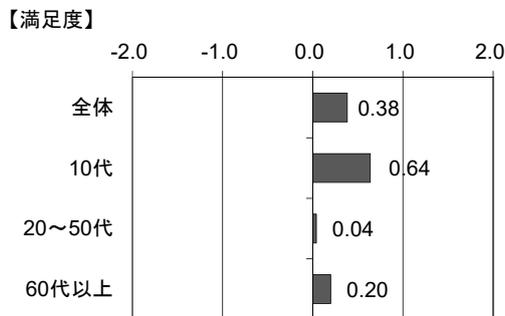
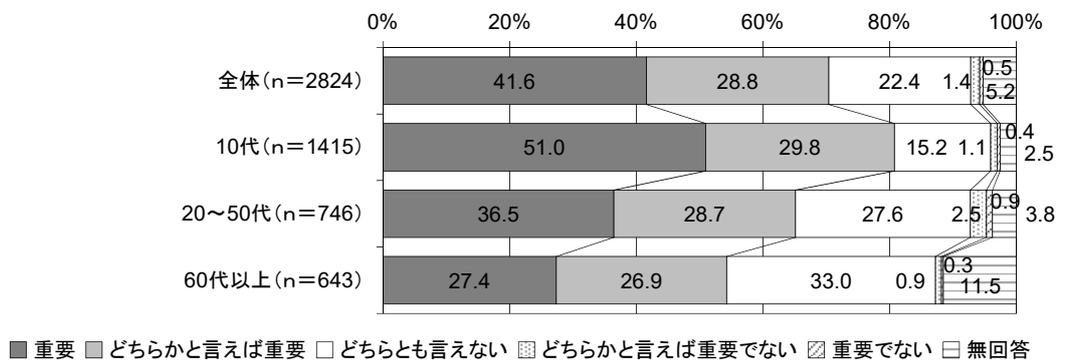
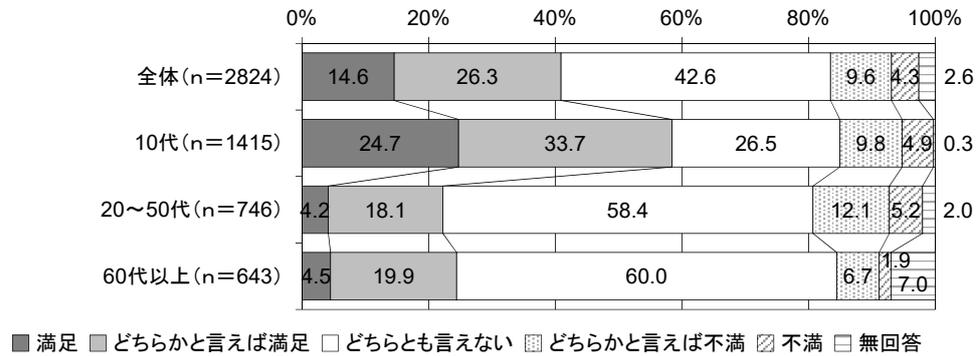
1-⑪ 市民_25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
 中高生_9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



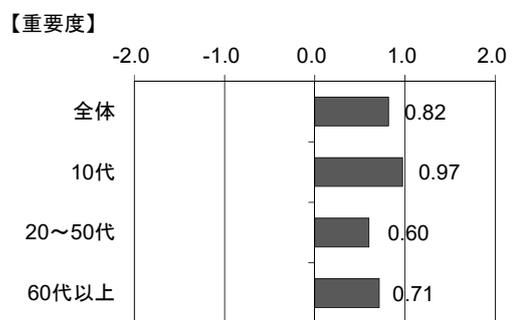
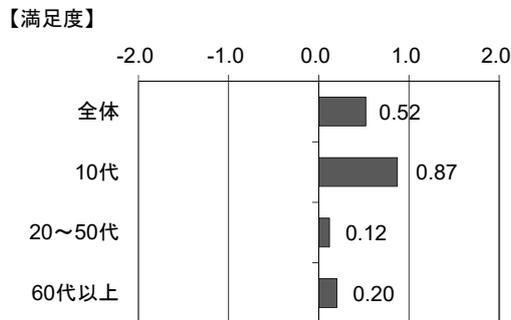
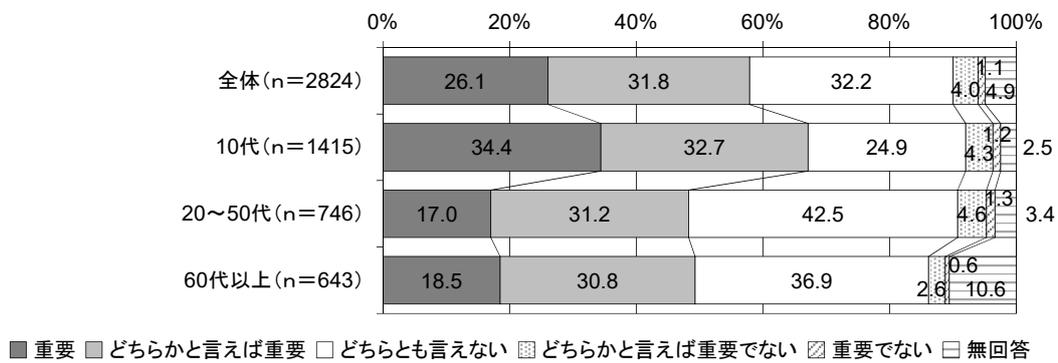
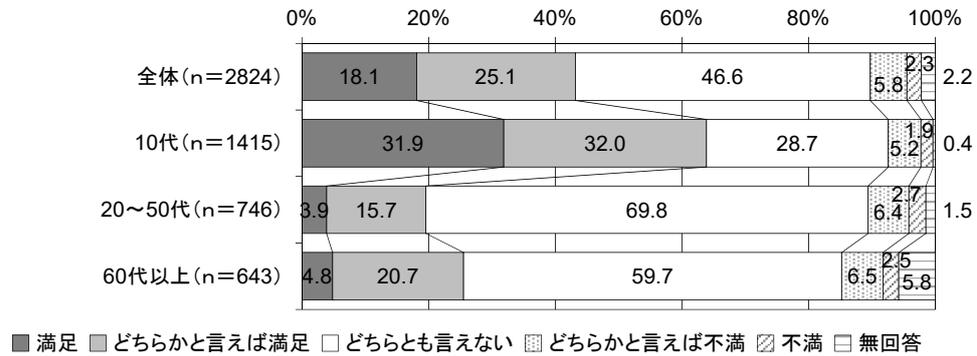
1-⑫ 市民_28 幼稚園、小・中学校の教育の充実
 中高生_10 学校の教育や施設が充実している



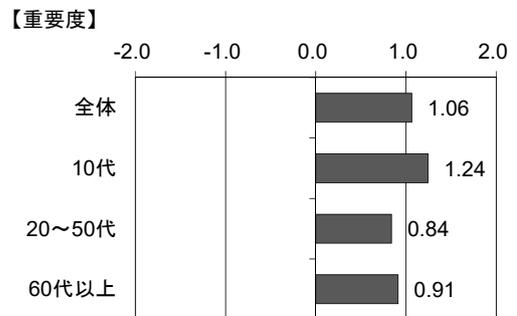
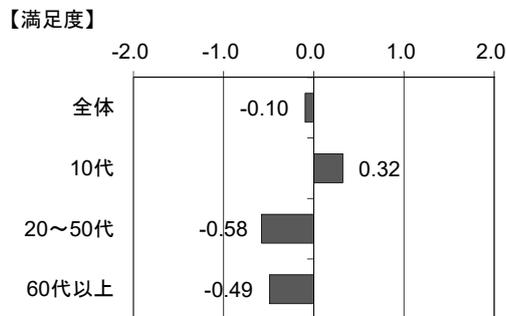
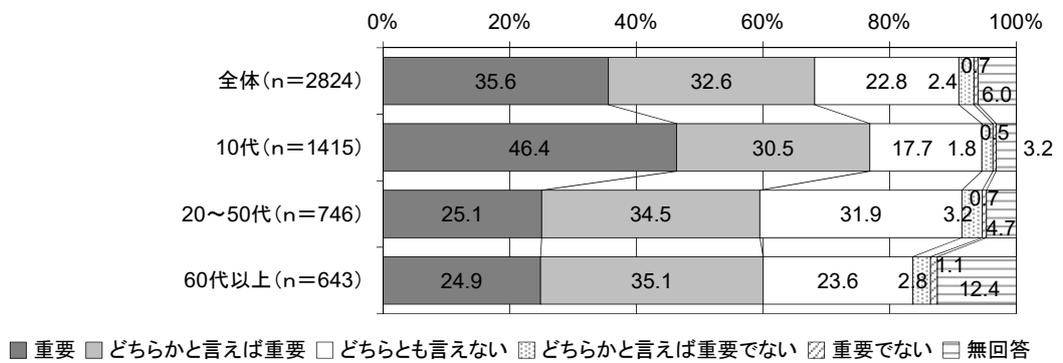
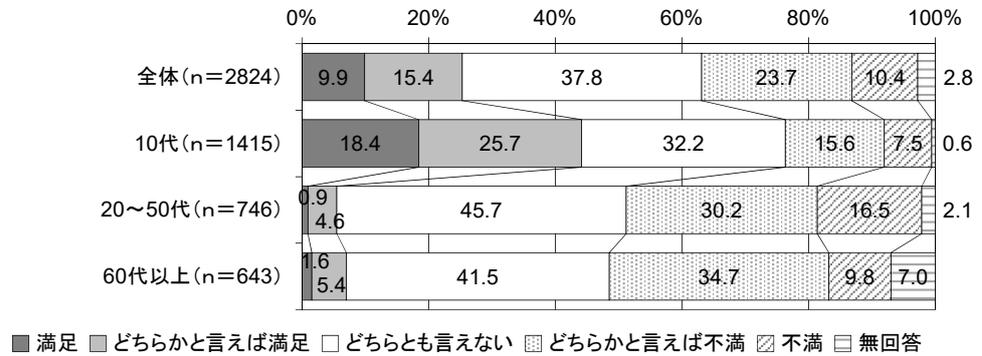
1-⑬ 市民_29 幼稚園、小・中学校の施設の充実
 中高生_10 学校の教育や施設が充実している



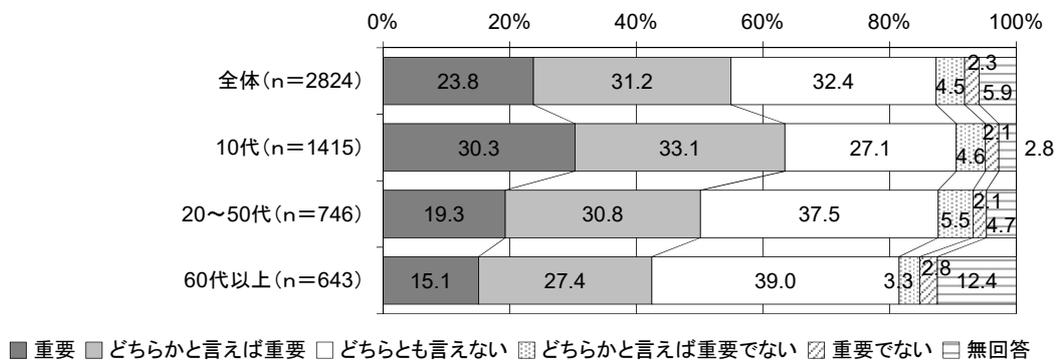
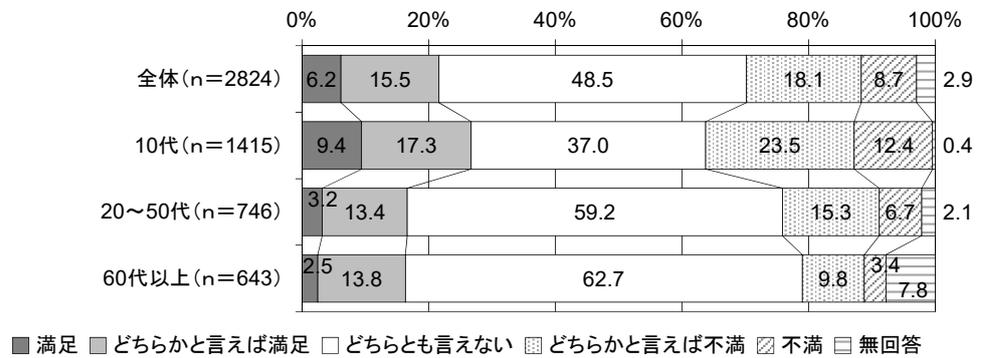
1-⑭ 市民_32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
 中高生_11 地域の祭など伝統文化が豊かである



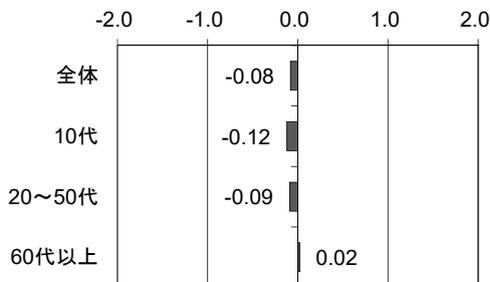
1-⑮ 市民_ 36 商店街の活性化と商業の振興
 中高生_ 12 日々の買い物が便利である



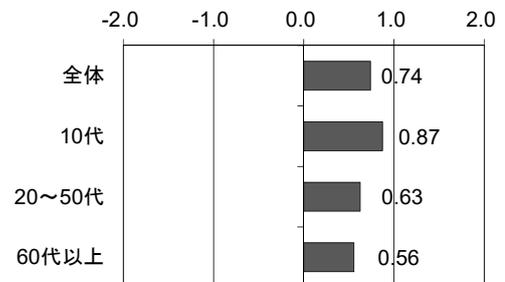
1-⑩ 市民_ 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
 中高生_ 13 観光地やレジャー施設が充実している



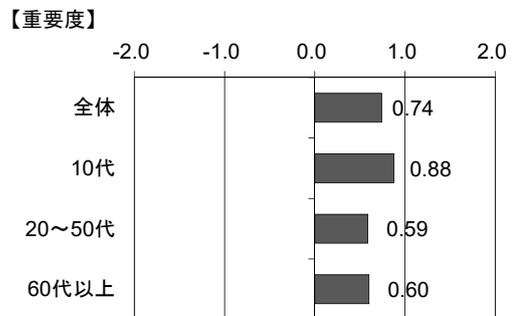
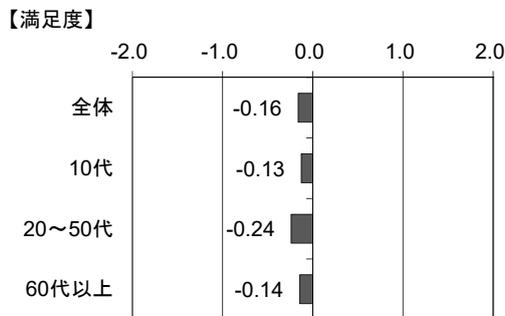
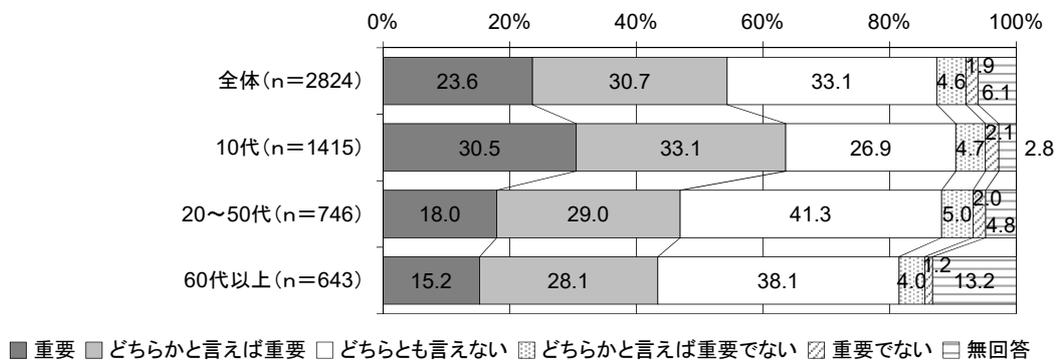
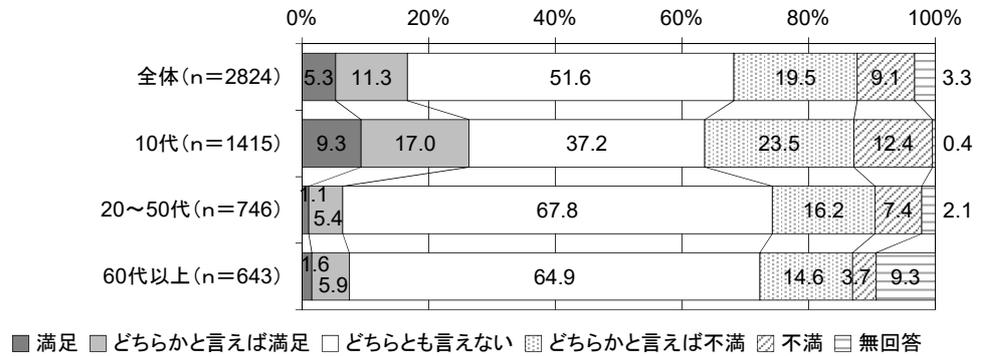
【満足度】



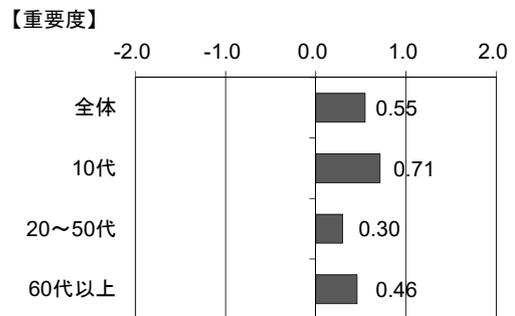
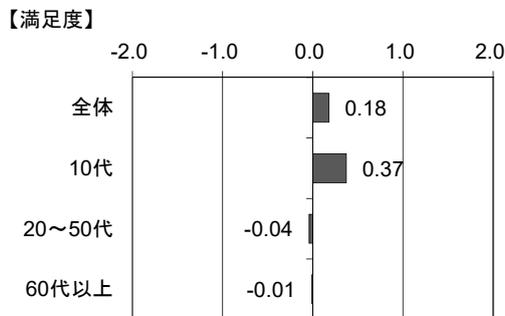
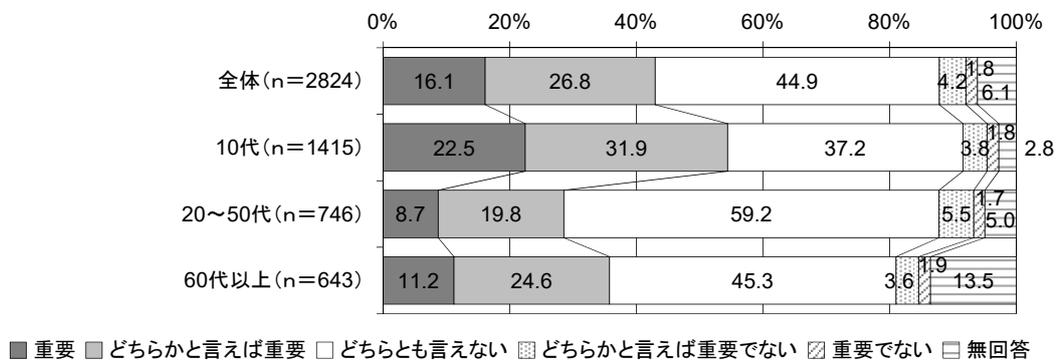
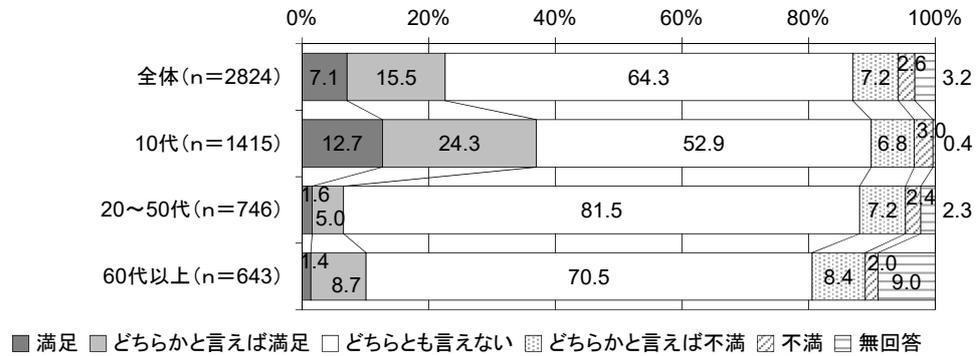
【重要度】



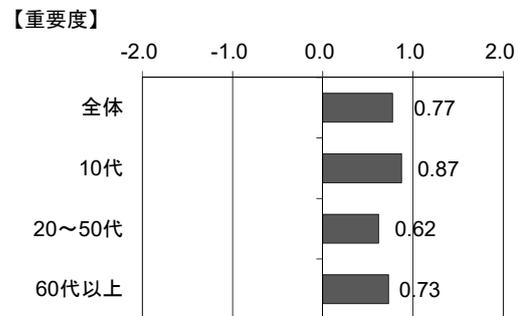
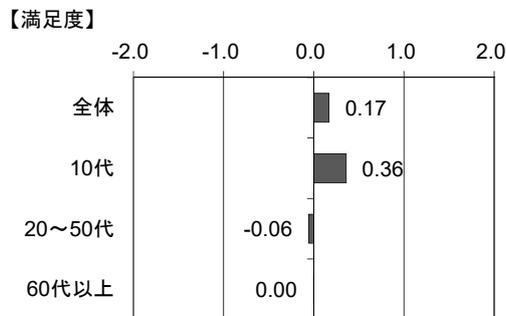
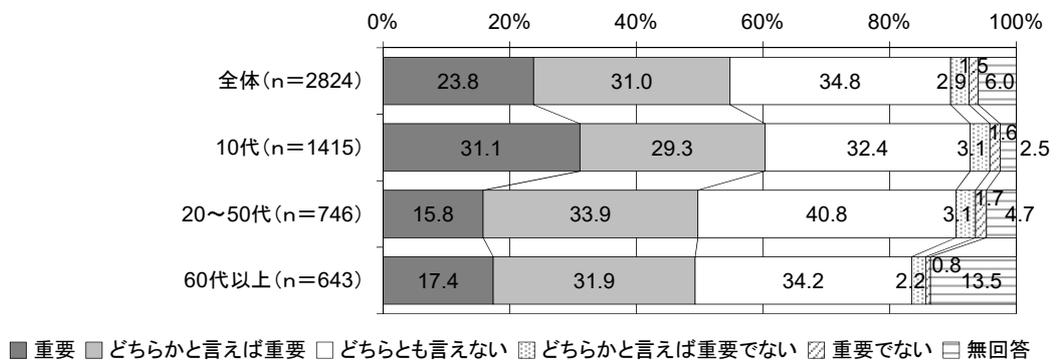
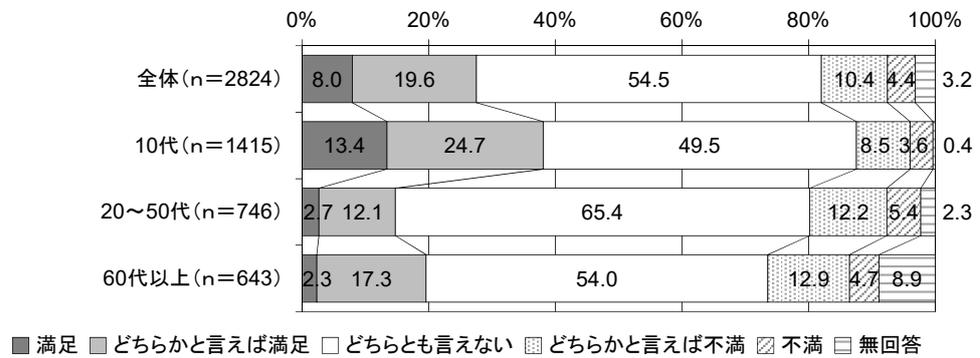
1-⑰ 市民_ 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発
 中高生_ 13 観光地やレジャー施設が充実している



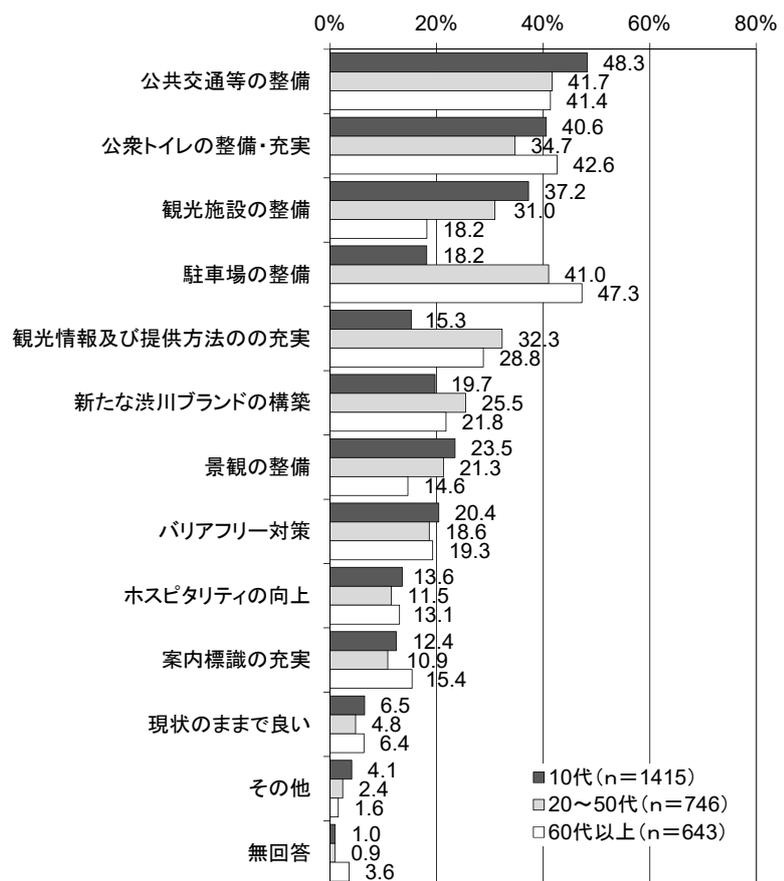
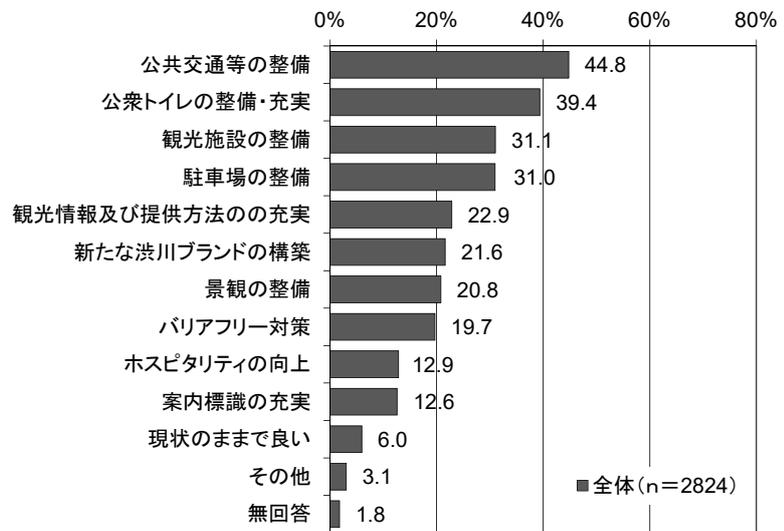
1-⑩ 市民_ 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化
 中高生_ 14 地域のボランティア団体などが充実している



1-⑱ 市民_ 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
 中高生_ 15 市からの情報が充実している



No.2 取り組むべき観光振興



平成29年度 渋川市市民意識調査

市民意識調査ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市の将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の実現に向けて、行財政運営を行っています。

この調査は、市内在住の18歳以上の方の中から無作為に抽出した4,000人を対象に、これまでの市の取組に対する評価や意見をいただき、これからのまちづくりにいかすため実施するものです。

なお、本調査の結果につきましては、各事業の見直しや改善、翌年度の予算編成等の参考とさせていただくとともに、ホームページ等で公表する予定です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成29年5月

渋川市長 阿久津貞司

ご記入に当たって

- 1 お答えは、封筒の宛名のご本人様をお願いします。
- 2 お答えは、質問ごとに選び方が指定されていますので、該当する番号を選び○（丸印）で囲んでください。
- 3 「その他」を選んだ場合は、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
- 4 お答えいただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

平成29年6月12日（月）までにご投函ください。

- 4 回答は全て統計的に処理し、お答えいただいた方を特定することや目的以外に使用することは一切ありません。

（お問合せ先）

渋川市 企画部 企画課 政策係

電話：0279-22-2111（代表） FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-kikaku@city.shibukawa.lg.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

【2】あなたの年代は、どれですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 |
| 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代以上 | |

【3】あなたの主なご職業は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 派遣・嘱託・契約社員 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 自営業（農林水産関連） |
| 5. 自営業（商工関連） | 6. 家事専業 |
| 7. 学生 | 8. 無職 |
| 9. その他（ ） | |

【4】あなたの家族構成は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯同居 | 4. 三世帯同居 |
| 5. その他（ ） | |

【5】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 渋川地区 | 2. 伊香保地区 |
| 3. 小野上地区 | 4. 子持地区 |
| 5. 赤城地区 | 6. 北橋地区 |

【6】あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。
なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

市政との関わりについてお伺いします。

【問1】あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 進んだ | 2. どちらかと言えば進んだ |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば進んでいない |
| 5. 進んでいない | |

【問2】あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 向上している | 2. どちらかと言えば向上している |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば向上していない |
| 5. 向上していない | |

【問3】あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. わからない |

市の現状の評価についてお伺いします。

【問4】あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。次の1～49の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
(例)	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	生活に身近な道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	良好な市街地の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	公共下水道整備や水洗化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	災害などの発生に備える防災機能の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
15	移住・定住環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	市街地のバリアフリー化の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	安心して暮らせる防犯体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	身近な公園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	幼稚園、小・中学校の教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	幼稚園、小・中学校の施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	豊かな自然を活かした農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	創業・活性化支援による工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	商店街の活性化と商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40	地域づくり団体などの活動基盤の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41	国内外の交流都市との交流連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42	あらゆる分野での男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
43	人権意識の向上と平和な社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
45	公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47	無駄のないスリムな行財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48	周辺自治体との連携による業務の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
49	住宅などの耐震化への取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

都市の整備についてお伺いします。

【問5】あなたは、道路の機能について、どのようなことが重要だと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 目的地まで短時間で移動できる | 2. 歩行者や自転車が安全に通行できる |
| 3. 沿道の施設への出入りがしやすい | 4. 主要施設などへのアクセスが良い |
| 5. 街路樹など沿道の良好な景観が形成される | 6. 災害時に支援物資の運搬ができる |
| 7. 火災時に被害を最小限に留めることができる | 8. 生活の利便性を高めるバスが運行できる |
| 9. 上下水道などのインフラが効率的に設置できる | 10. 街灯や案内板などが効果的に配置できる |
| 11. 沿道に適正な施設を誘導できる | 12. 秩序ある街並みが形成される |
| 13. 日常生活のコミュニティ空間が創出される | |

【問6】あなたは、将来どのような場所に住みたいと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 病院や診療所などの医療施設が近い場所 | 2. 老人デイサービスセンターなどの社会福祉施設が近い場所 |
| 3. 幼稚園や保育所などの子育て支援施設が近い場所 | 4. 小学校や中学校の教育施設が近い場所 |
| 5. 図書館や美術館などの文化施設が近い場所 | 6. スーパーマーケットなどの商業施設が近い場所 |
| 7. 市役所などの行政施設が近い場所 | 8. 公民館や住民センターなどのコミュニティ施設が近い場所 |
| 9. バスや鉄道などの公共交通機関を利用しやすい場所 | 10. 道路や公園が十分に整備されている場所 |
| 11. 自然環境が良い場所 | 12. 災害の危険性が低い場所 |

観光への取組についてお伺いします。

【問7】あなたは、観光振興対策としてどのようなことに取り組んだ方が良いと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 公共交通等の整備 | 2. 駐車場の整備 |
| 3. 公衆トイレの整備・充実 | 4. 景観の整備 |
| 5. 案内標識の充実 | 6. ホスピタリティ*の向上 |
| 7. 観光情報及び提供方法の充実 | 8. 観光施設の整備 |
| 9. バリアフリー対策 | 10. 新たな渋川ブランドの構築 |
| 11. 現状のままで良い | 12. その他 [] |

※ホスピタリティ：手厚いおもてなしのこと

市政についてお伺いします。

【問8】あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。
平成29年6月12日（月）までにご投函ください。